

(仮称) 長崎市 地域コミュニティ推進
計画策定に係るアンケート調査
報告書

長崎市

令和2年2月

目次

I 調査概要

1 調査概要

(1) 調査目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査方法	1
(4) 回収状況	1
(5) 調査期間	1
(6) 調査主体	1
(7) 報告書の見方	1
(8) [参考]アンケート回収数の信頼性について	1

II 調査結果(共通調査項目)

1. 属性	3
(1) 年齢	3
(2) 職業	3
(3) 同居者	3
(4) 居住区域	4
2. 日常生活について	
問5 あなたは、現在、日々の生活の中で、何か悩みや不安に感じることはありますか。	5
問6 あなたは、生活上の悩みや不安を主に誰(どこ)に相談していますか。	10
問7 あなたは、日々の生活に必要な情報を誰(どこ)から入手していますか。	15
3. 地域での生活について	
問8 「地域での支え合い」の「地域」とは、あなたにとって概ねどの程度の範囲ですか。	20
問9 あなたは、現在、どの程度「ご近所づきあい」をしていますか。	22
問10 あなたは、どの程度の「ご近所づきあい」を理想としますか。	24
問11 あなたは、生活の中で、となり近所の人に手助けや協力をしてほしいと思うことはありますか。	27
問12 あなたは、となり近所の人に対して手助けしたり、協力できることはありますか。	32
4. 地域活動について	
問13(1) 長崎市では、現在、次のような団体が各地域で活動しています。 あなたは、これらの活動に参加していますか。	40
問13(2) [(1)で、11. 以前参加していたが、現在は参加していない、 12. 参加していないと答えた方にお聞きします]その理由は何ですか。	45
問14 あなたは、今後、次のような地域での活動に参加したいと思いますか。	50
問15 どのような環境や条件があれば、地域の活動に参加しやすいと思いますか。	55
5. お住まいの地域について	
問16(1) あなたは、お住まいの地域に愛着がありますか。	60
問16(2) [(1)で、1. 愛着がある、2. どちらかという愛着がある、と答えた方にお聞きします] その理由は何ですか。	62
問17 あなたが住んでいる地域には、どのような問題や課題がありますか。	67
問18 問17のような問題や課題の中で、優先して解決に力を入れていくべきことはどれだと思いますか。 (1)地域として、優先すべきだと思うことについて、お答えください。	72
(2)行政として、優先すべきだと思うことについて、お答えください。	77
問19 あなたは、この「地域コミュニティ連絡協議会」について知っていますか。	83
問20 住民主体の地域におけるまちづくりに関しての意見・要望	85

I. 調查概要

1. 調査概要

(1) 調査目的

令和3年度を初年度とする地域福祉計画を包含した(仮称)地域コミュニティ推進計画の策定にあたり、複雑化・複合化している地域課題や地域コミュニティに対する市民の考え等を把握、分析し、その結果を計画に反映させるための基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査対象

18歳以上の長崎市民 2,000人 (無作為抽出)

(3) 調査方法

郵送方式(配布、回収ともに郵送で実施)

(4) 回収状況

回収数 944人 回収率 47.2%

(5) 調査期間

令和元年12月1日~12月27日(27日間)

(6) 調査主体

長崎市企画財政部地域コミュニティ推進室

(7) 報告書の見方

ア 比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の計が100%にならない場合がある。

イ 基数となる実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。

ウ 1人の回答者が複数回答を行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。

エ 図表中には、回答者数が非常に少ない場合がある。このような場合には、回答比率の数字が動きやすく、厳密な比較をすることが難しいので、回答の傾向を見る程度になる。

オ 図表の各項目は表示の関係上省略して表示する場合がある。

(8) [参考] アンケート回収数の信頼性について

アンケート票数と誤差との関係は、当然アンケート票数が少ないと誤差は大きく、アンケート票数が高いと誤差は少なくなる。しかし、統計学的にその関係は一定ではなく、一定の数を超えると、票数を大幅に増やしても誤差はほとんど変わらなくなる。

統計学的には、この「一定の数」は、通常、信頼率：95%、目標誤差：3~5%以内であれば良いとされており、それを下記の計算式で逆算すると概ね400~1,100票程度と算出される。つまり、今回の有効回答票の回収数は、対象者の意向の把握として十分信頼できる数字であるといえる。

$$\sigma = k \sqrt{\frac{(M-n)}{(M-1)} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

M : 母集団 n : 有効回答数 p : 結果の比率
 k : 信頼率による定数 σ : 標本誤差
 ※ k は信頼率を決めると自動的に決まる定数で、信頼率に対応する標準正規分布の % 点である。信頼率は、統計的な慣習として 95% とすることが多く、信頼率 95% ならば k は 1.96 となる。

但し、全体把握の場合において有効という意味であり、詳しくは各設問の対象となる母数をもとにサンプル数が決まるため、付問等により回答数が少なくなった場合は参考程度にとどめておく必要がある。※母集団におけるサンプル数については下表を参照。

母集団の人数	要求精度10%	要求精度5%	要求精度5%	母集団の人数	要求精度10%	要求精度5%	要求精度5%
	信頼率95%	信頼率95%	信頼率99%		信頼率95%	信頼率95%	信頼率99%
10人	10人	10人	10人	3,000人	94人	341人	544人
100人	50人	80人	88人	5,000人	95人	357人	586人
500人	81人	218人	286人	10,000人	96人	370人	623人
1,000人	88人	278人	400人	15,000人	96人	375人	636人
1,500人	91人	306人	461人	100,000人	96人	383人	660人
2,000人	92人	323人	499人	1,000,000人	97人	384人	664人
2,500人	93人	334人	525人	10,000,000人	97人	385人	664人

II. 調查結果

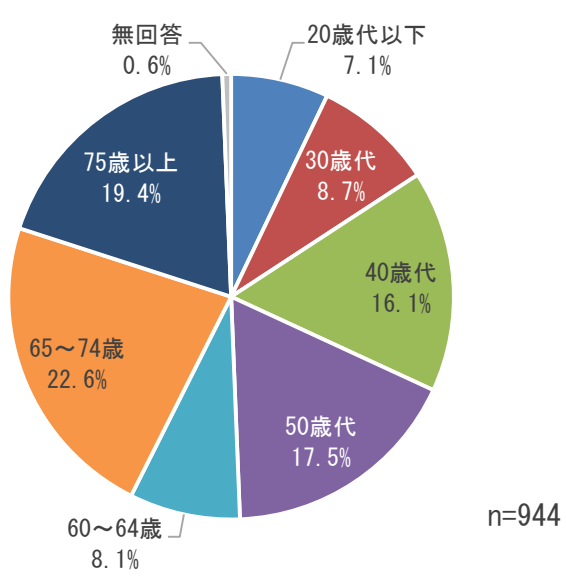
1. 属性

回答者の属性のうち年齢は「65～74歳」が22.6%で最も多く、次いで「75歳以上」が19.4%、「50歳代」が17.5%と続いており、50歳以上が約7割を占めている。

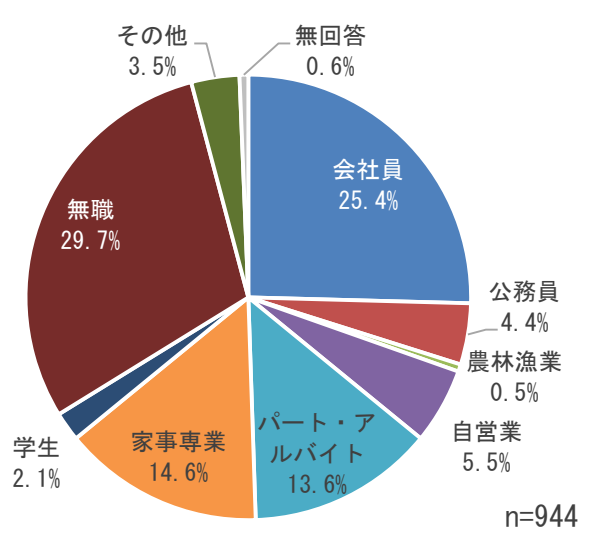
また、職業は「無職」が29.7%で最も多く、次いで「会社員」が25.4%、「家事専業」が14.6%で続いている。

同居者は「配偶者」が63.6%で最も多く、次いで「子ども」が40.4%、「父母」が15.8%と続き、これを世帯構成で区分すると「二世帯世帯」が46.6%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が29.4%、「一人暮らし」が14.2%、「三世帯世帯」が5.9%、「その他」が3.4%となっている。

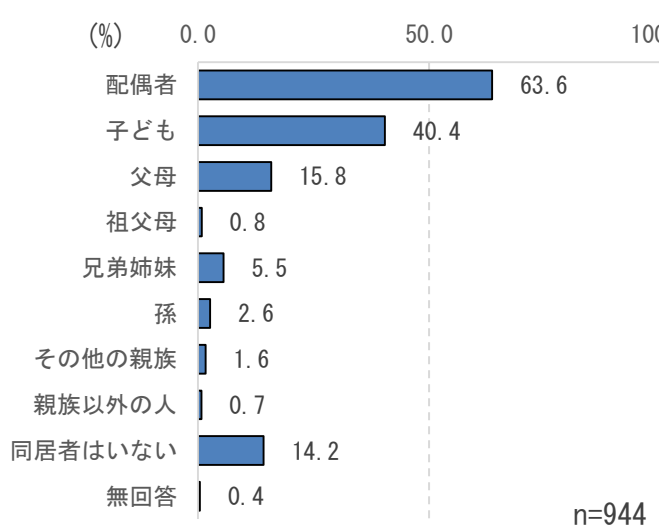
(1) 年齢



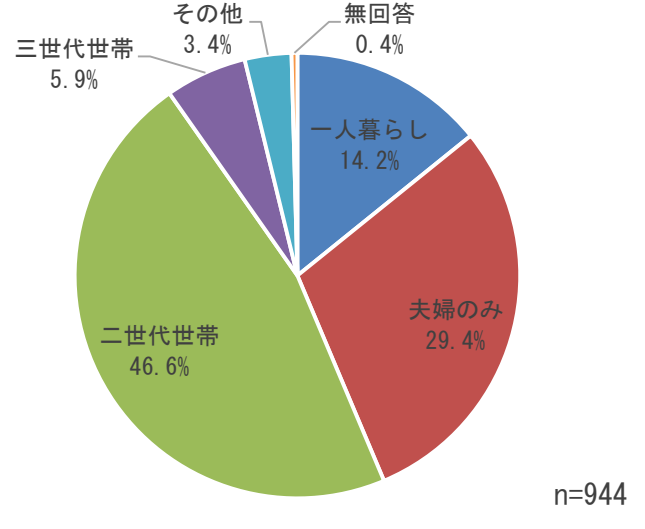
(2) 職業



(3) 同居者

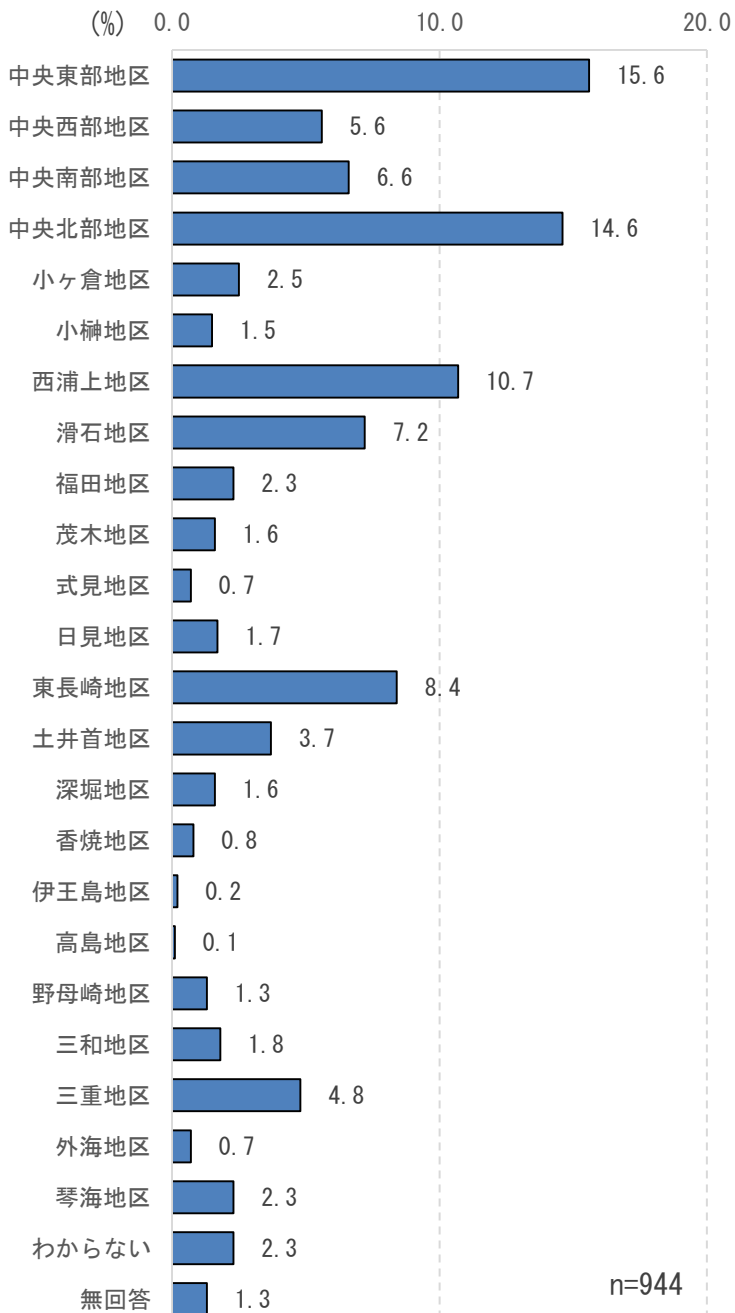


(世帯構成)



回答者の属性のうち居住区域は「中央東部地区」が15.6%で最も多く、次いで「中央北部地区」が14.6%、「西浦上地区」が10.7%と続いており、区域の回答割合と区域の人口比はほぼ一致している。

(4) 居住区域



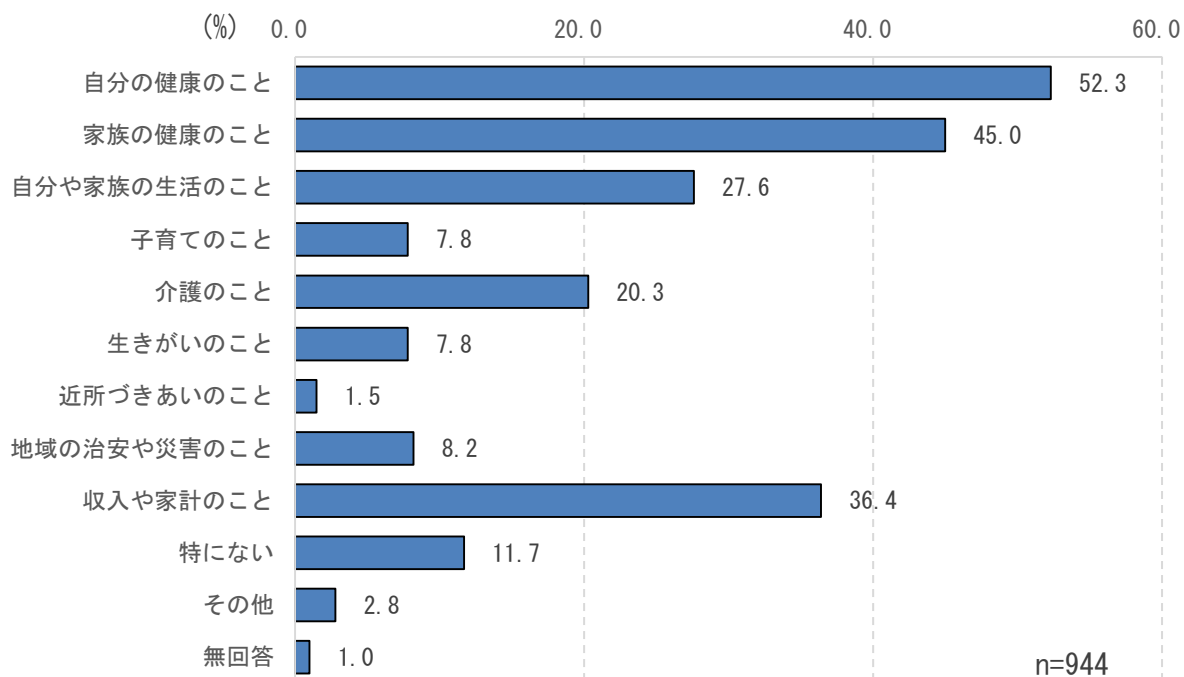
カテゴリ	総合事務所 所管区域	[参考] 地域別 人口 H30・12.31時点	人口 比率	
中央東部地区	中央	57,893	16.1	
中央西部地区		19,248	5.3	
中央南部地区		29,863	8.3	
中央北部地区		54,027	15.0	
小ヶ倉地区		7,543	2.1	
小榊地区		5,999	1.7	
西浦上地区		40,869	11.3	
滑石地区		26,327	7.3	
福田地区		7,973	2.2	
茂木地区		5,381	1.5	
式見地区		2,701	0.7	
日見地区		東	6,687	1.9
東長崎地区			30,815	8.5
土井首地区		南	13,073	3.6
深堀地区	4,843		1.3	
香焼地区	3,122		0.9	
伊王島地区	626		0.2	
高島地区	333		0.1	
野母崎地区	4,757		1.3	
三和地区	北	8,879	2.5	
三重地区		15,892	4.4	
外海地区		3,261	0.9	
琴海地区	10,575	2.9		
合計		360,687	100.0	

2. 日常生活について

問5 あなたは、現在、日々の生活の中で、何か悩みや不安を感じることはありますか。
【〇はあてはまるもの3つまで】

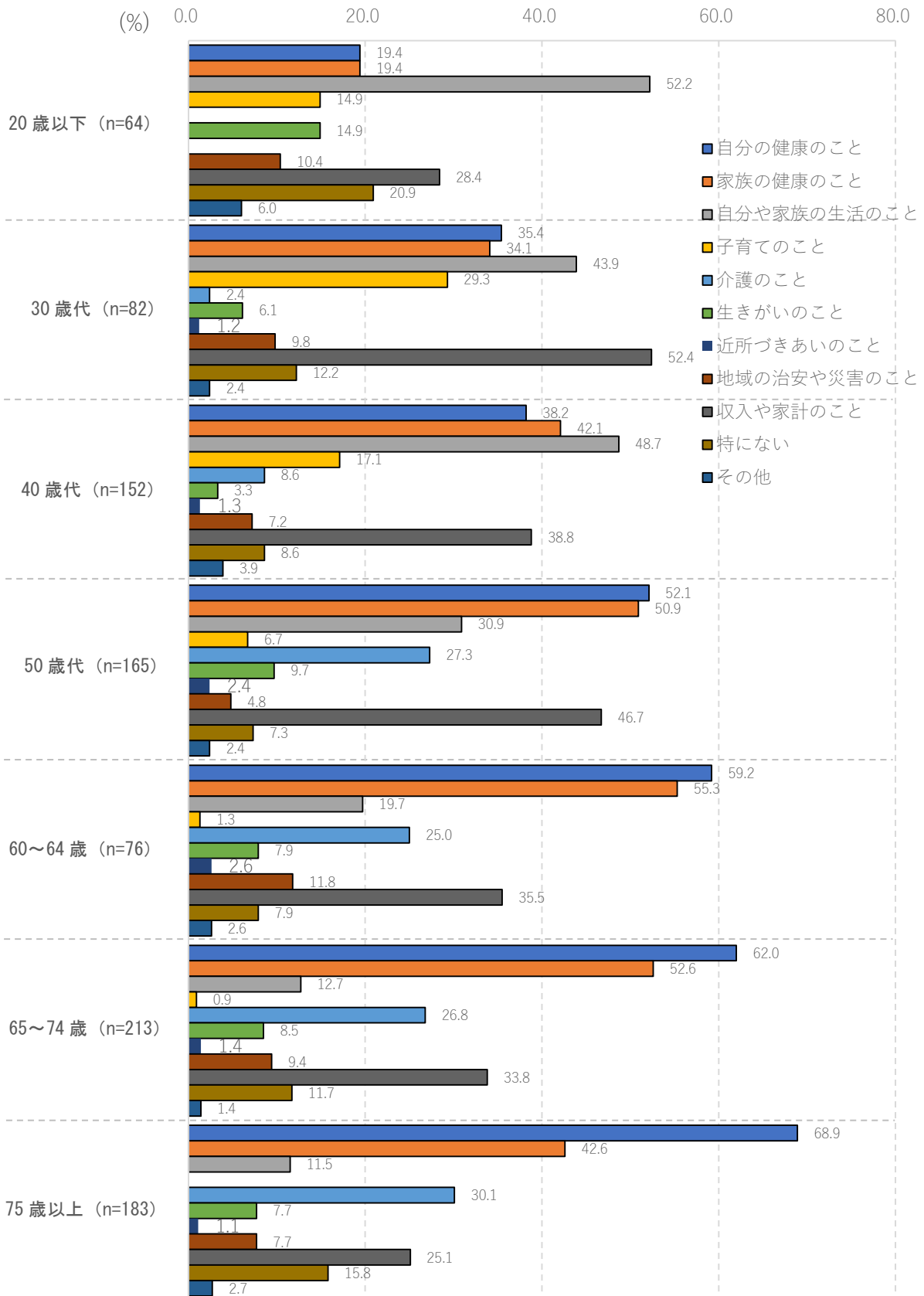
日々の生活の中の悩みや不安は「自分の健康のこと」が52.3%で最も多く、次いで「家族の健康のこと」が45.0%、「収入や家計のこと」が36.4%と続いている。

(1) 全体



全体での上位項目を年齢区分で見ると「自分の健康のこと」は年齢の上昇とともに増加傾向が見られ、「家族の健康のこと」は、60～64歳をピークに、「収入や家計のこと」は30歳代をピークにおおむね減少傾向が見られる。また、20歳代以下、40歳代では「自分や家族の生活のこと」が、30歳代では「収入や家計のこと」が1位項目となっている。

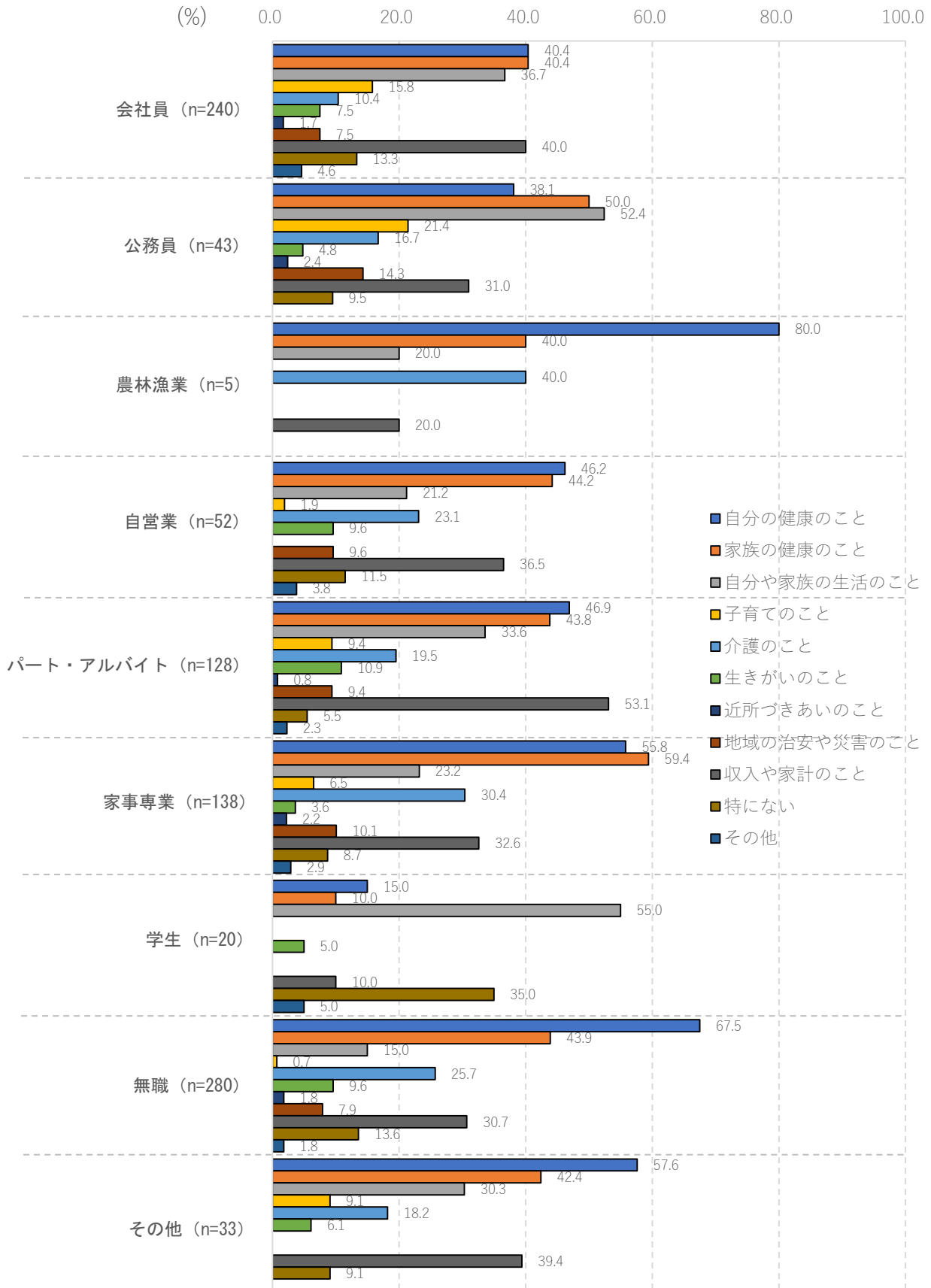
(2) 年齢



※無回答を除く

全体での上位項目を職業区分で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、振れ幅が大きくなっているが、一定母数のある区分で、全体との傾向に相違が見られるのは「パート・アルバイト」で「収入や家計のこと」が53.1%で1位項目となっている。

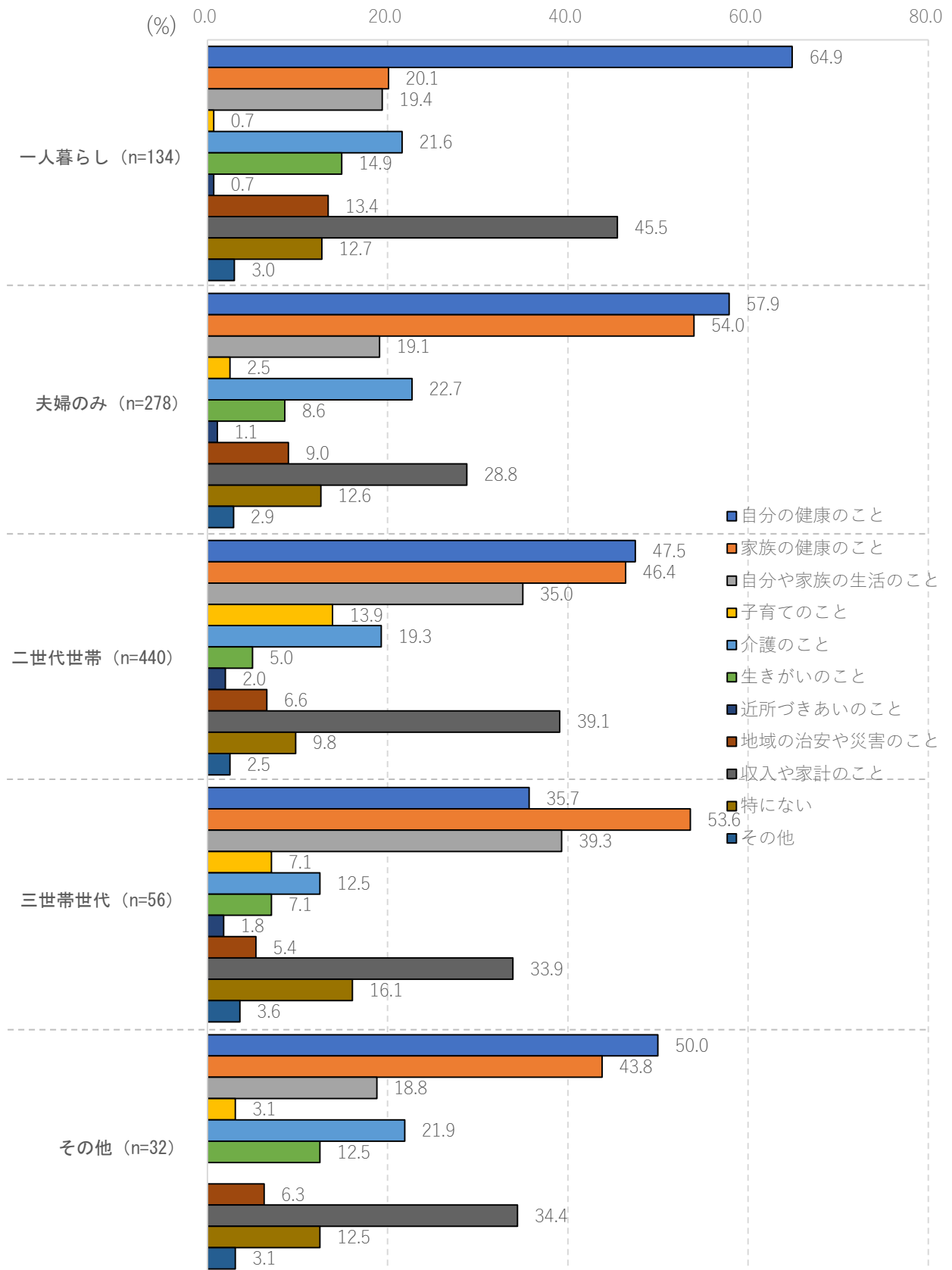
(3) 職業



※無回答を除く

全体での上位項目の世帯構成区分でも母数が少ないものもあるため、一定母数のある区分で全体との傾向に相違が見られるのは、「一人暮らし」で「収入や家計のこと」が45.5%で2位項目となっている。

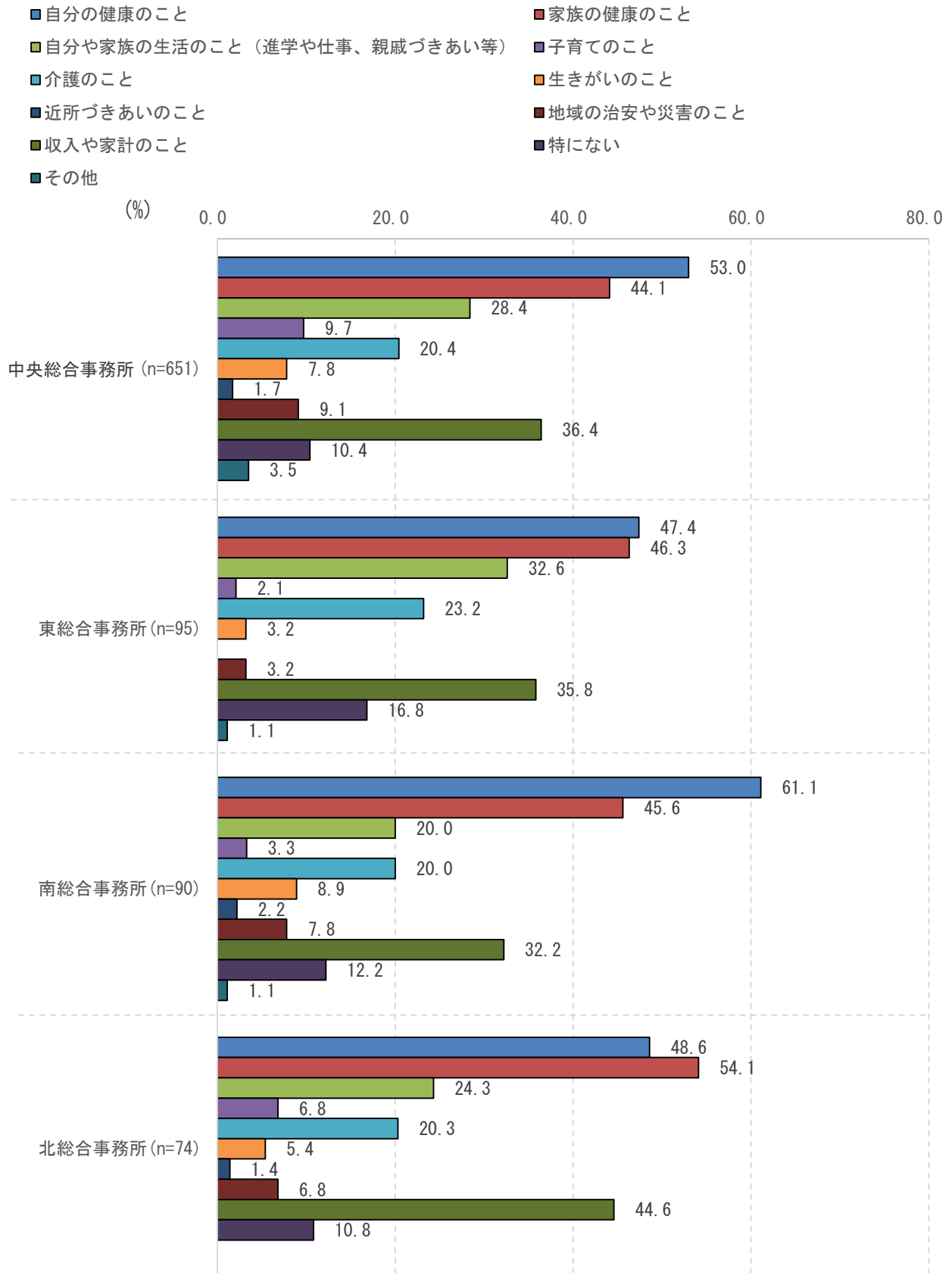
(4) 世帯構成



※無回答を除く

全体での上位項目を居住区域で見ると、全体との傾向に相違が見られるのは、「北総合事務所」所管区域において「家族の健康のこと」が 54.1%で 1 位項目、「自分の健康のこと」が 48.6%で 2 位項目となっている。

(5) 居住区域



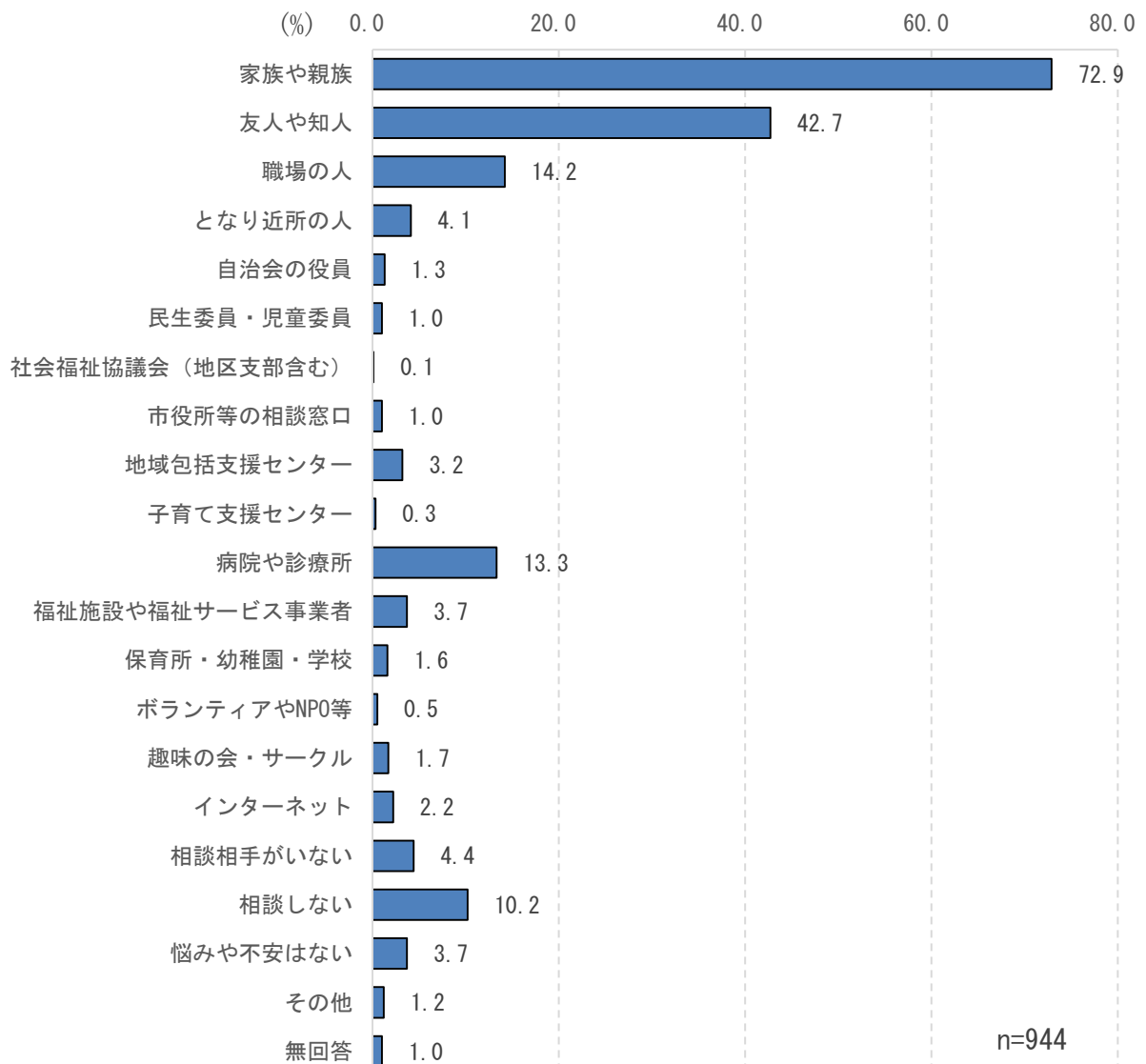
※無回答を除く

問6 あなたは、生活上の悩みや不安を主に誰（どこ）に相談していますか。

【〇はあてはまるものすべて】

日々の生活の中の悩みや不安の相談相手は「家族や親族」が72.9%で最も多く、次いで「友人や知人」が42.7%、「職場の人」が14.2%と続いている一方、「相談相手がいない」が4.4%、「相談しない」が10.2%となっている。

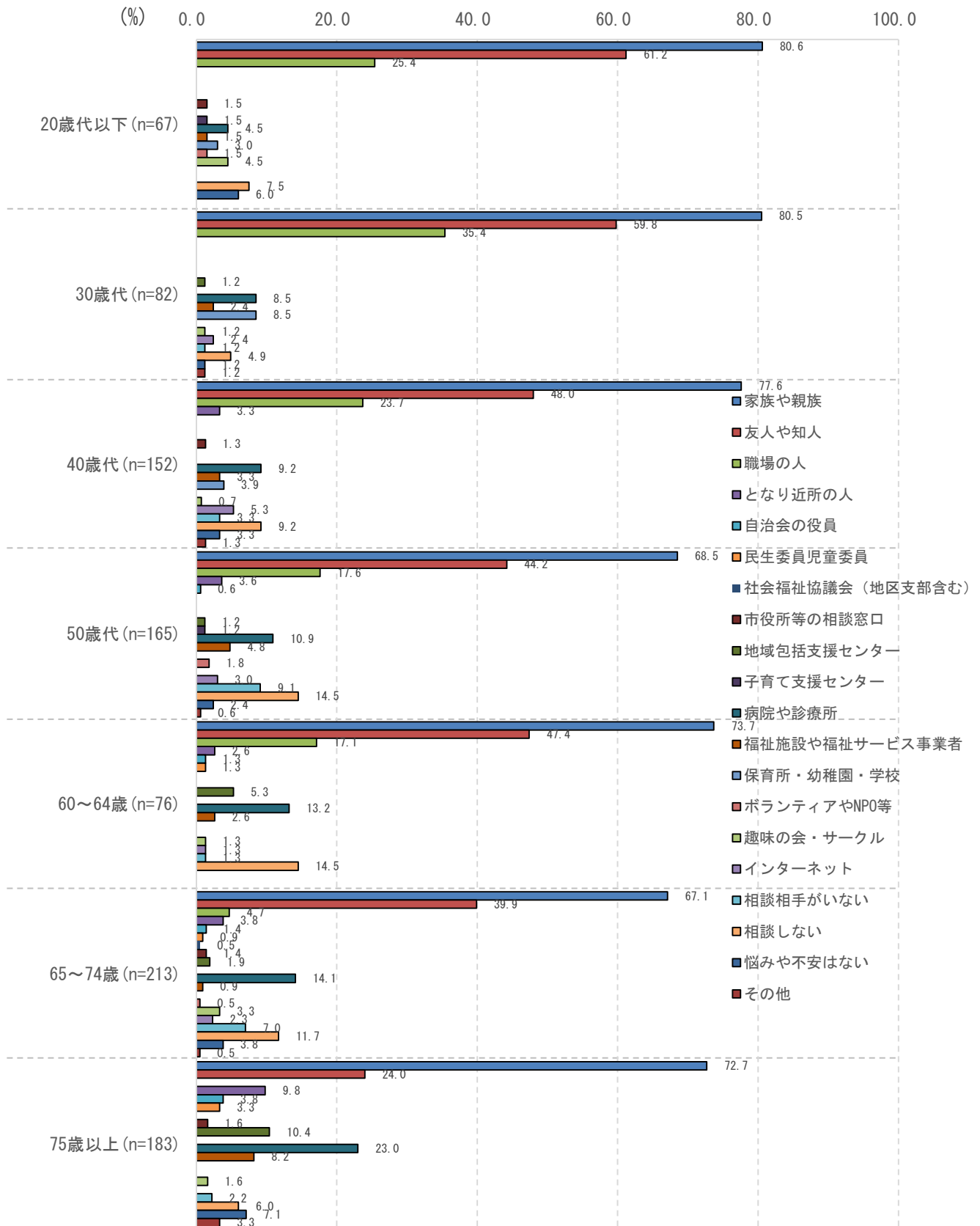
(1) 全体



全体での上位項目を年齢区分で見ると「家族や親族」・「友人や知人」は年齢の上昇とともにおおむね減少傾向が見られ、「職場の人」は30歳代をピークに減少傾向が見られる。また、「病院や診療所」は年齢の上昇とともに増加している。

一方、「相談相手がない」は50歳代、「相談しない」は50・60歳代が最も多くなっている。

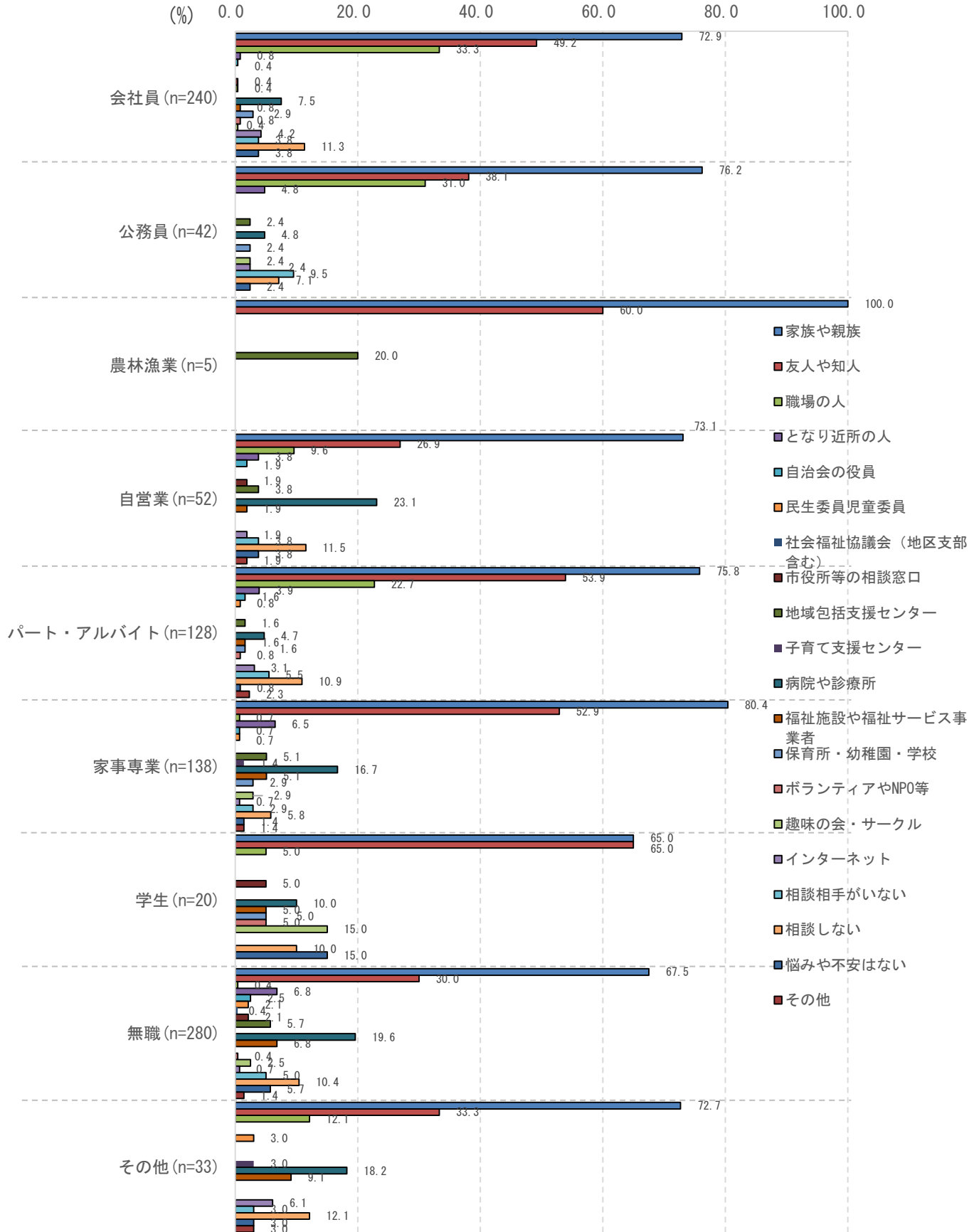
(2) 年齢



※無回答を除く

全体での上位項目を職業区分で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、振れ幅が大きくなっているが、一定母数のある区分で、上位項目の全体との傾向に相違が見られるのは「無職」で「病院や診療所」が19.6%で3位項目となっている。

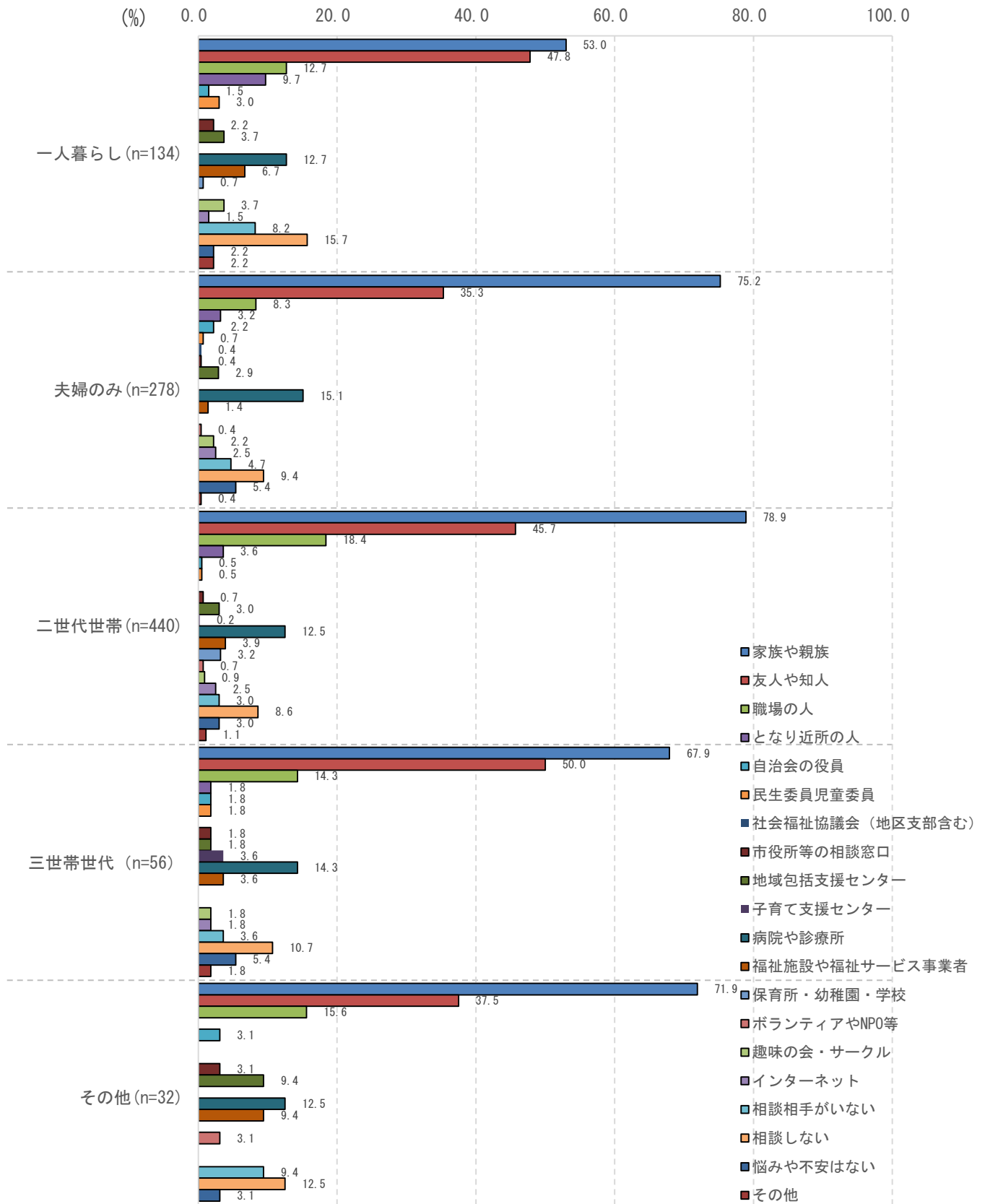
(3) 職業



※無回答を除く

全体での上位項目の世帯構成区分でも母数が少ないものもあるため、一定母数のある区分で、全体との傾向に相違が見られるのは「夫婦のみ」で「病院や診療所」が15.1%、「一人暮らし」で「相談しない」が15.7%で3位項目となっている。

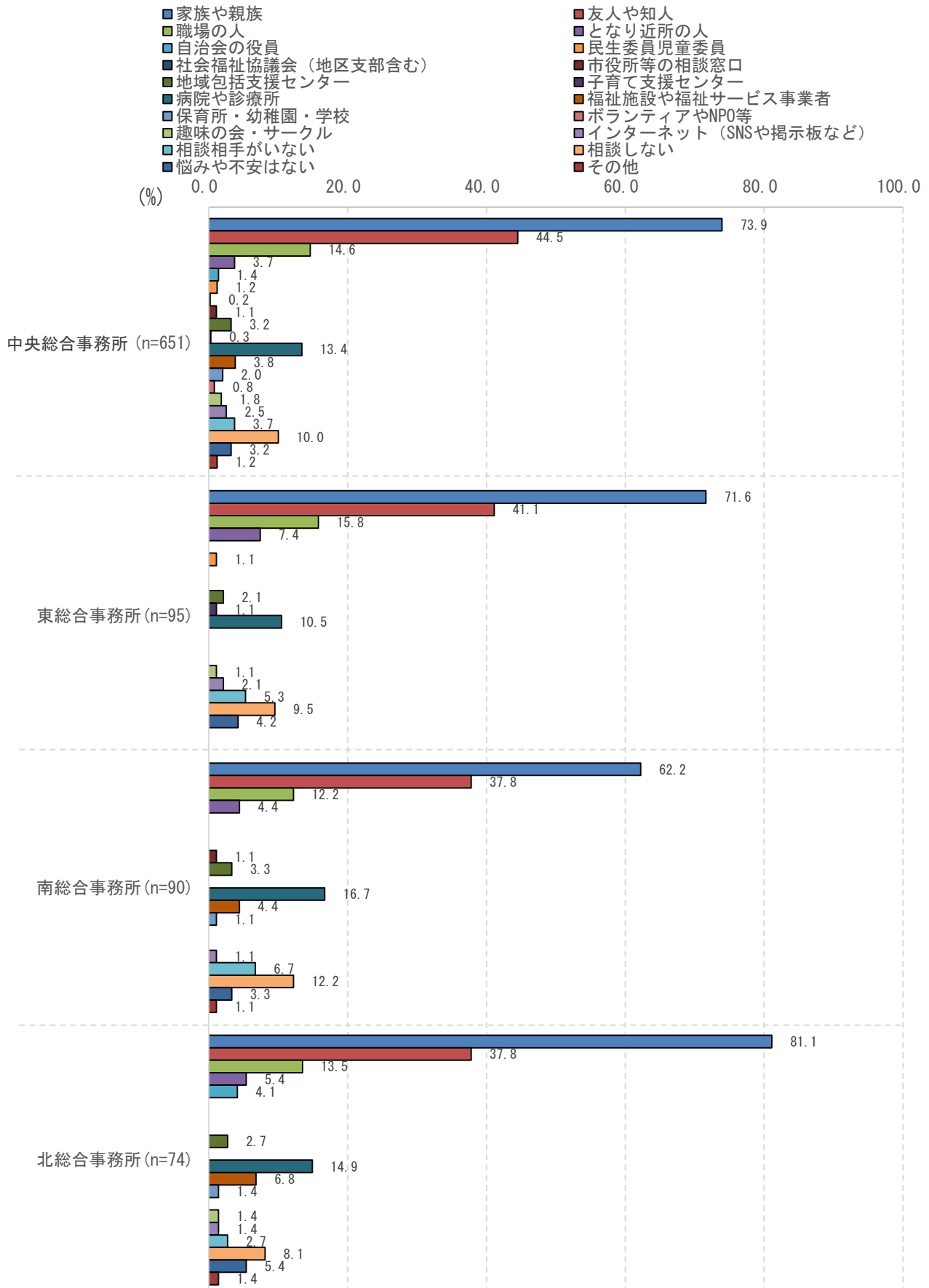
(4) 世帯構成



※無回答を除く

全体での上位項目を居住区域で見ると、全体との傾向に相違が見られるのは、「南総合事務所」所管区域と「北総合事務所」所管区域で「病院や診療所」が3位項目になっている。また、「南総合事務所」は「相談相手がない」が6.7%、「相談しない」が12.2%で、4区分の中でともに最も多くなっている。

(5) 居住区域



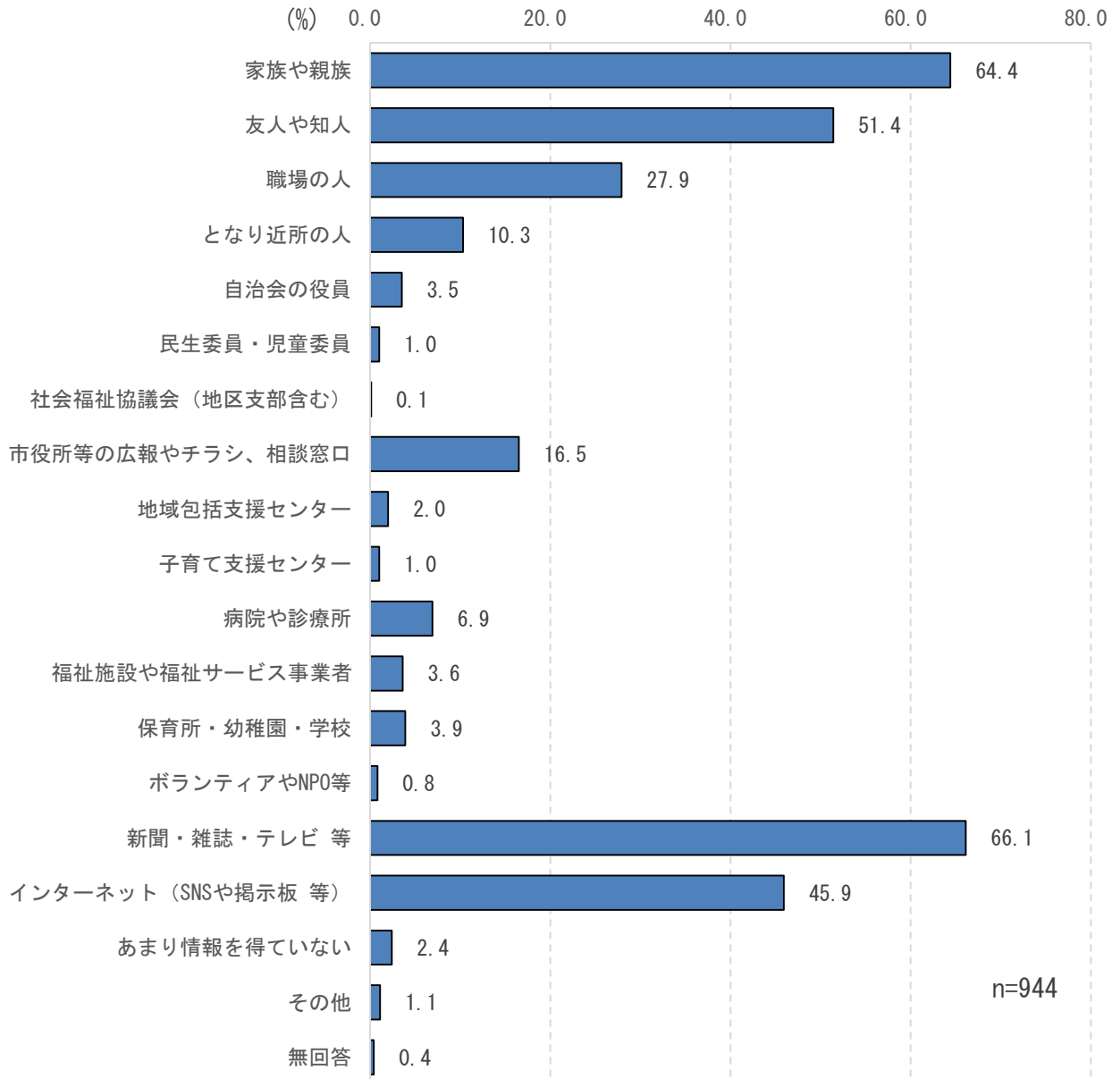
※無回答を除く

問7 あなたは、日々の生活に必要な情報を誰（どこ）から入手していますか。

【〇はあてはまるものすべて】

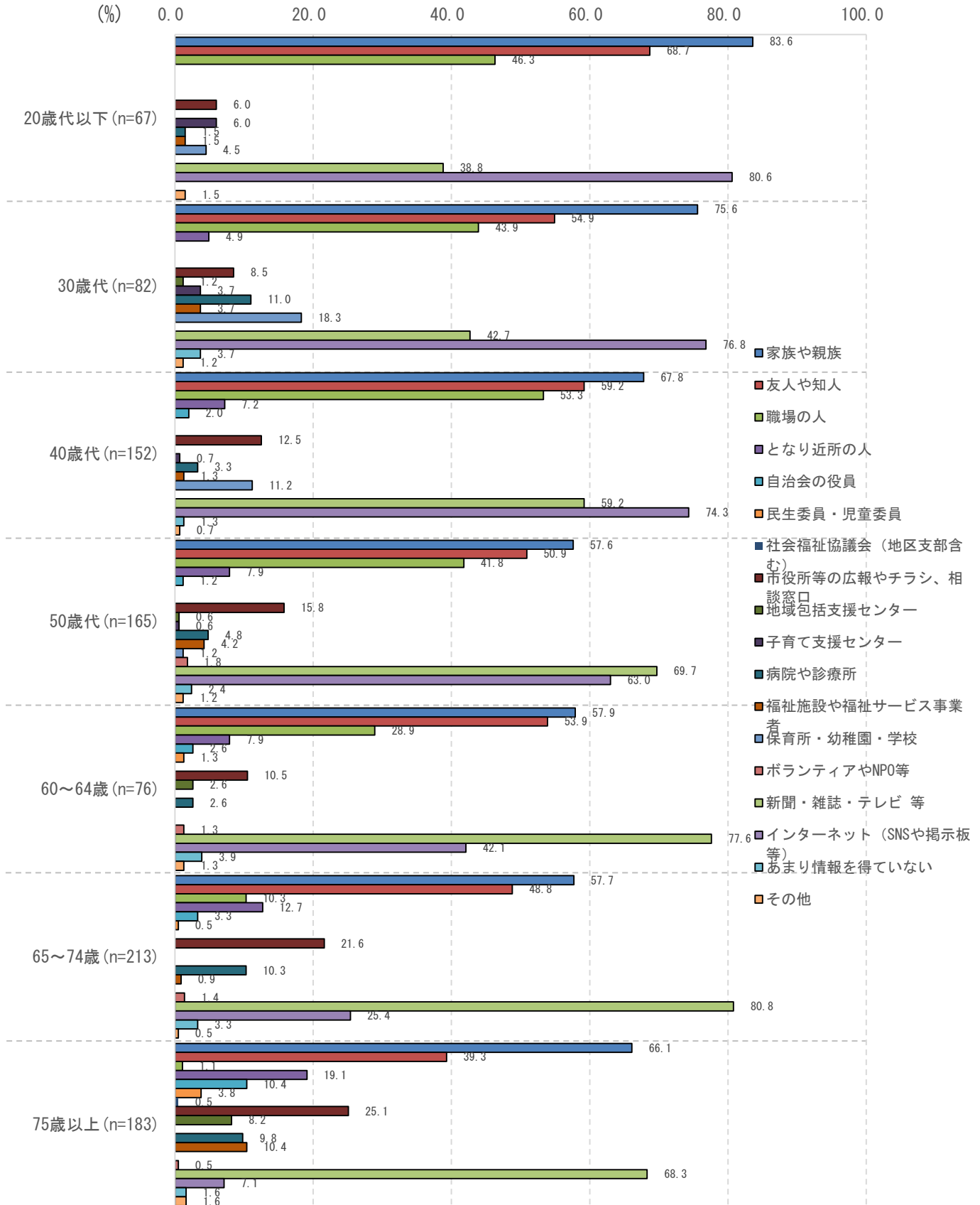
日々の生活に必要な情報の入手方法は「新聞・雑誌・テレビ等」が66.1%で最も多く、次いで「家族や親族」が64.4%、「友人や知人」が51.4%と続いている一方、「あまり情報を得ていない」が2.4%となっている。

(1) 全体



全体での上位項目を年齢区分で見ると「新聞・雑誌・テレビ等」は年齢の上昇とともにおおむね増加傾向が見られ、「家族や親族」・「友人や知人」は年齢の上昇とともにおおむね減少傾向が見られる。また、全体の上位項目で相違が見られるのは、「インターネット」が30歳代・40歳代で1位項目、20歳代以下と50歳代で2位項目となっている。

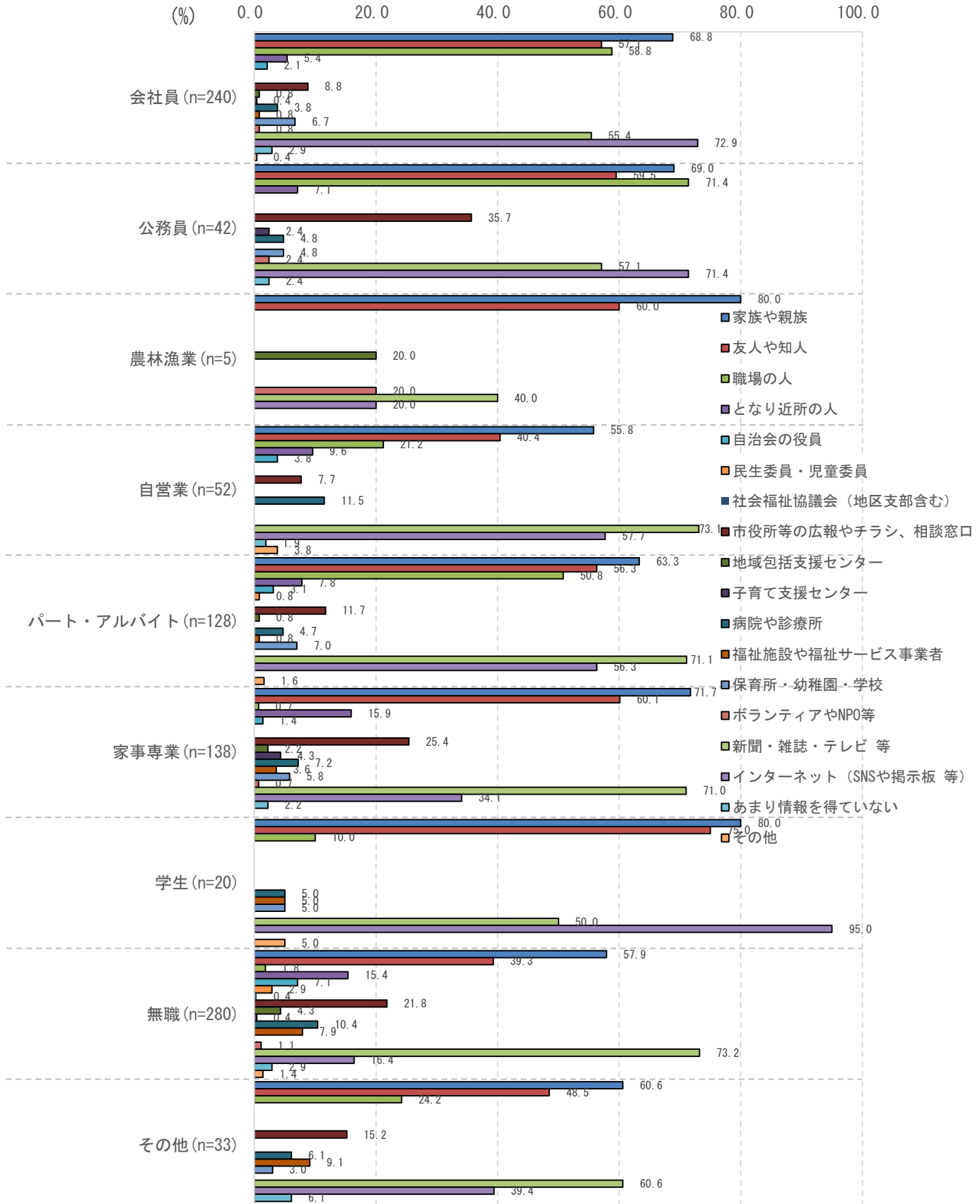
(2) 年齢



※無回答を除く

全体での上位項目を職業区分で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、振れ幅が大きくなっているが、一定母数のある区分で、上位項目の全体との傾向に相違が見られるのは「会社員」は「インターネット」が1位項目、「家族や親族」が2位項目、「家事専業」は「家族や親属」が1位項目、「新聞・雑誌・テレビ等」が2位項目となっている。

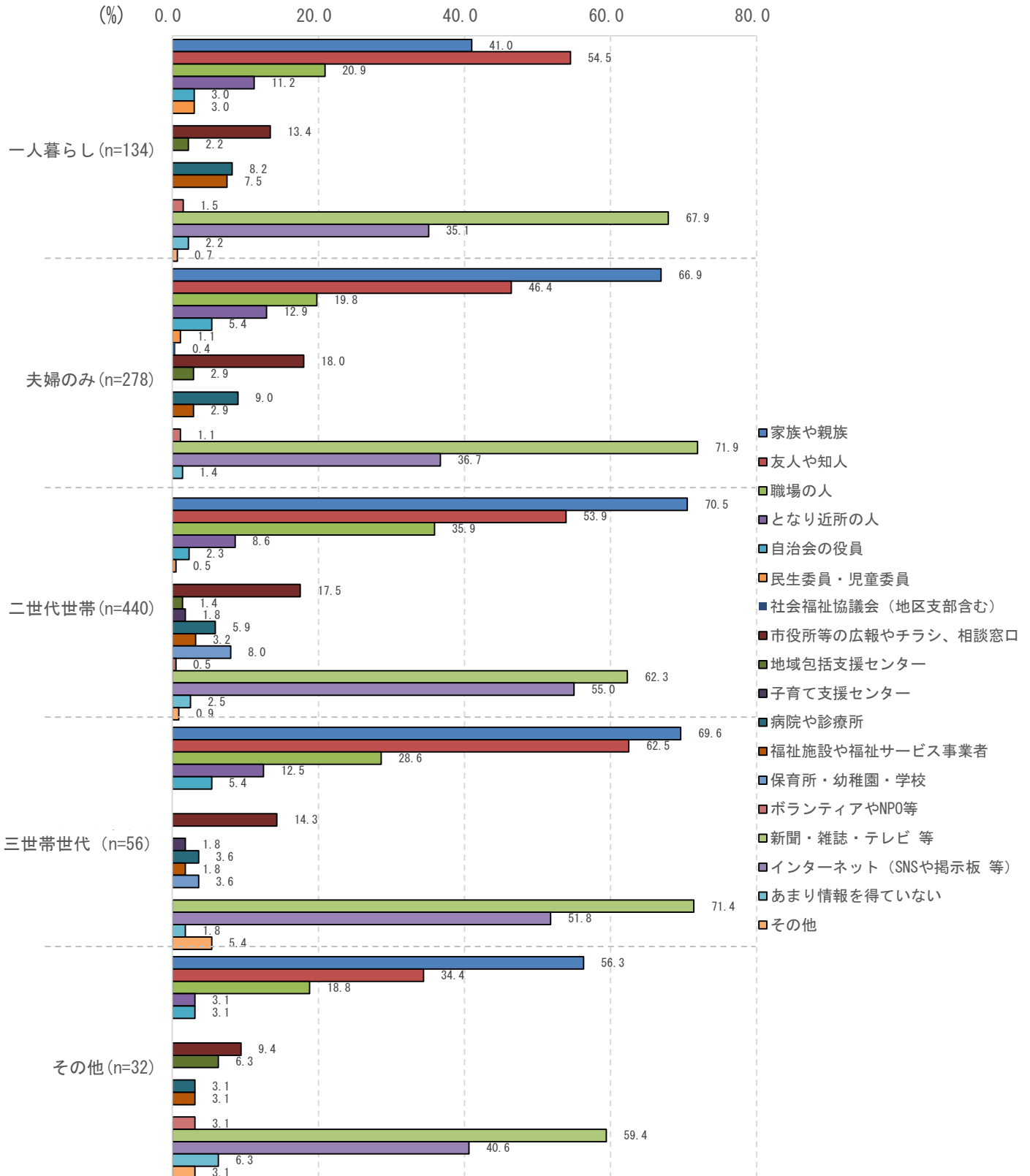
(3) 職業



※無回答を除く

全体での上位項目の世帯構成区分でも母数が少ないものもあるため、一定母数のある区分で、全体との傾向に相違が見られるのは「二世帯世帯」で「家族や親族」が1位項目、「新聞・雑誌・テレビ等」が2位項目、「インターネット」が3位項目となり、「一人暮らし」で「友人や知人」が2位項目となっている。

(4) 世帯構成

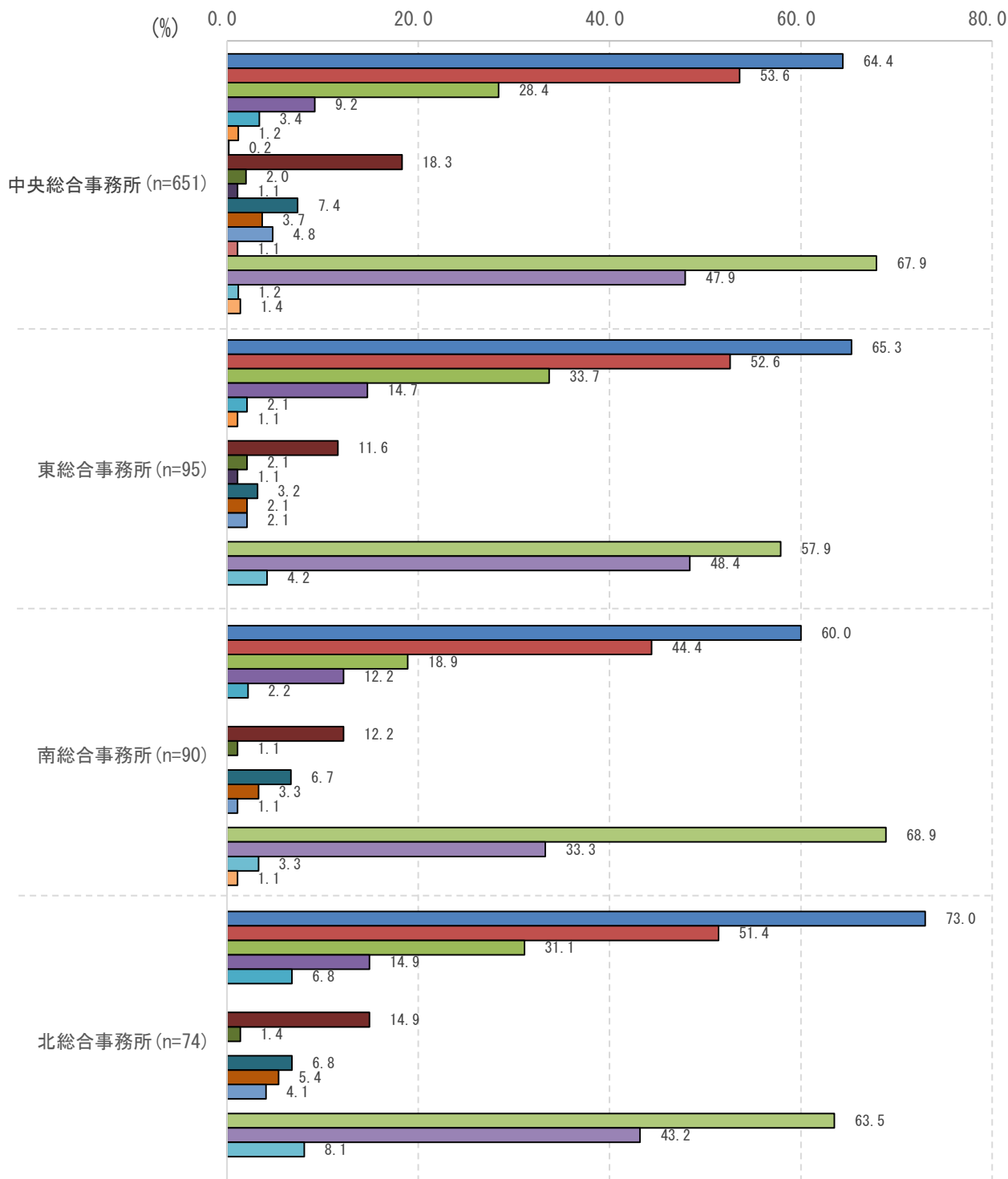


※無回答を除く

全体での上位項目を居住区域で見ると、全体との傾向に相違が見られるのは「東総合事務所」所管区域で「家族や親族」が65.3%で1位項目、「北総合事務所」所管区域で「家族や親族」が73.0%で1位項目となっている。

(5) 居住区域

- 家族や親族
- となり近所の人
- 社会福祉協議会（地区支部含む）
- 子育て支援センター
- 保育所・幼稚園・学校
- インターネット（SNSや掲示板 等）
- 友人や知人
- 自治会の役員
- 市役所等の広報やチラシ、相談窓口
- 病院や診療所
- ボランティアやNPO等
- あまり情報を得ていない
- 職場の人
- 民生委員児童委員
- 地域包括支援センター
- 福祉施設や福祉サービス事業者
- 新聞・雑誌・テレビ 等
- その他



※無回答を除く

3. 地域での生活について

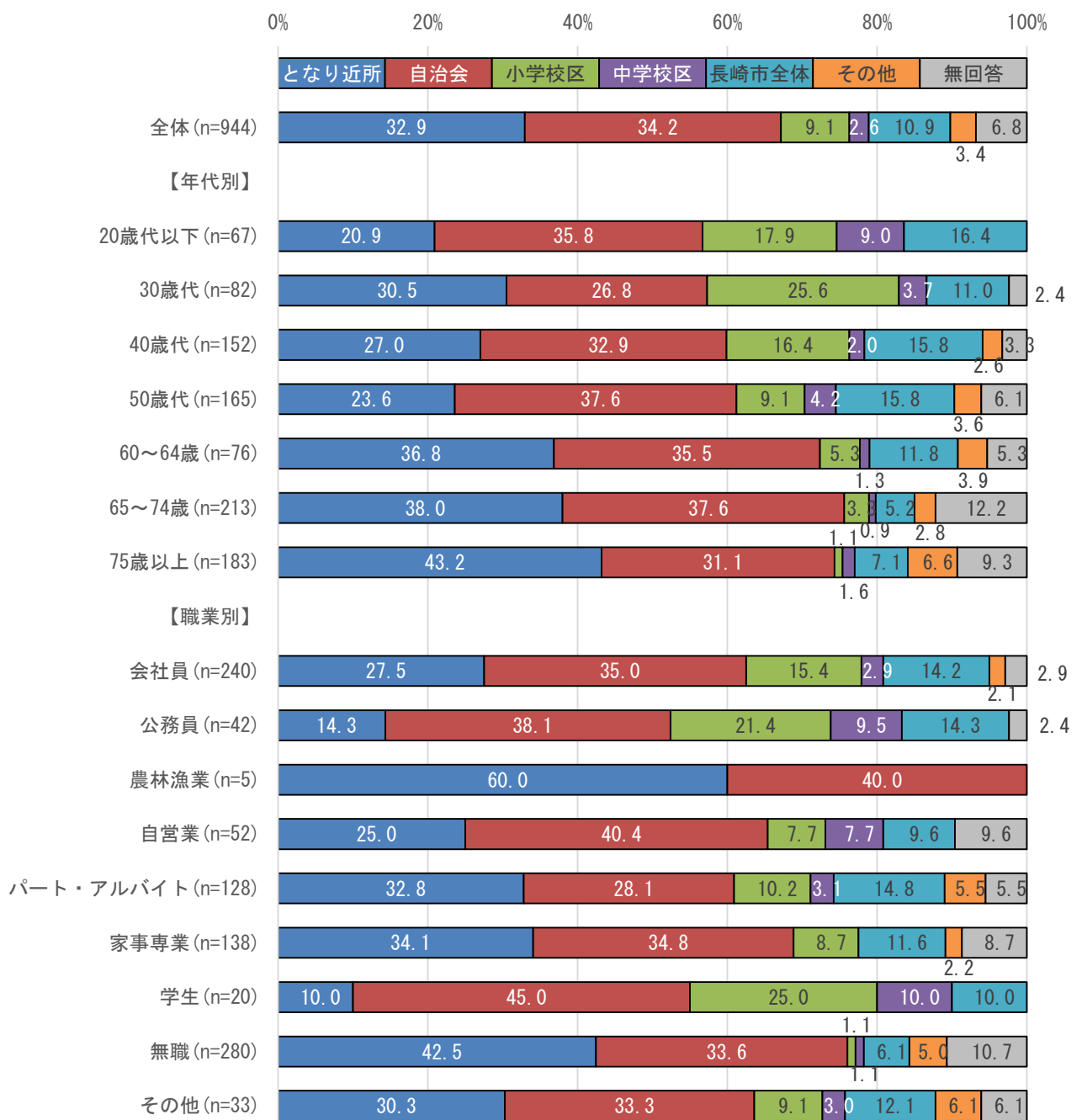
問8 「地域での支え合い」の「地域」とは、あなたにとって概ねどの程度の範囲ですか。

【〇は1つだけ】

全体では「自治会」が34.2%で最も多く、次いで「となり近所（10世帯程度の身近な集まり）」が32.9%、「長崎市全体」が10.9%で続いている。

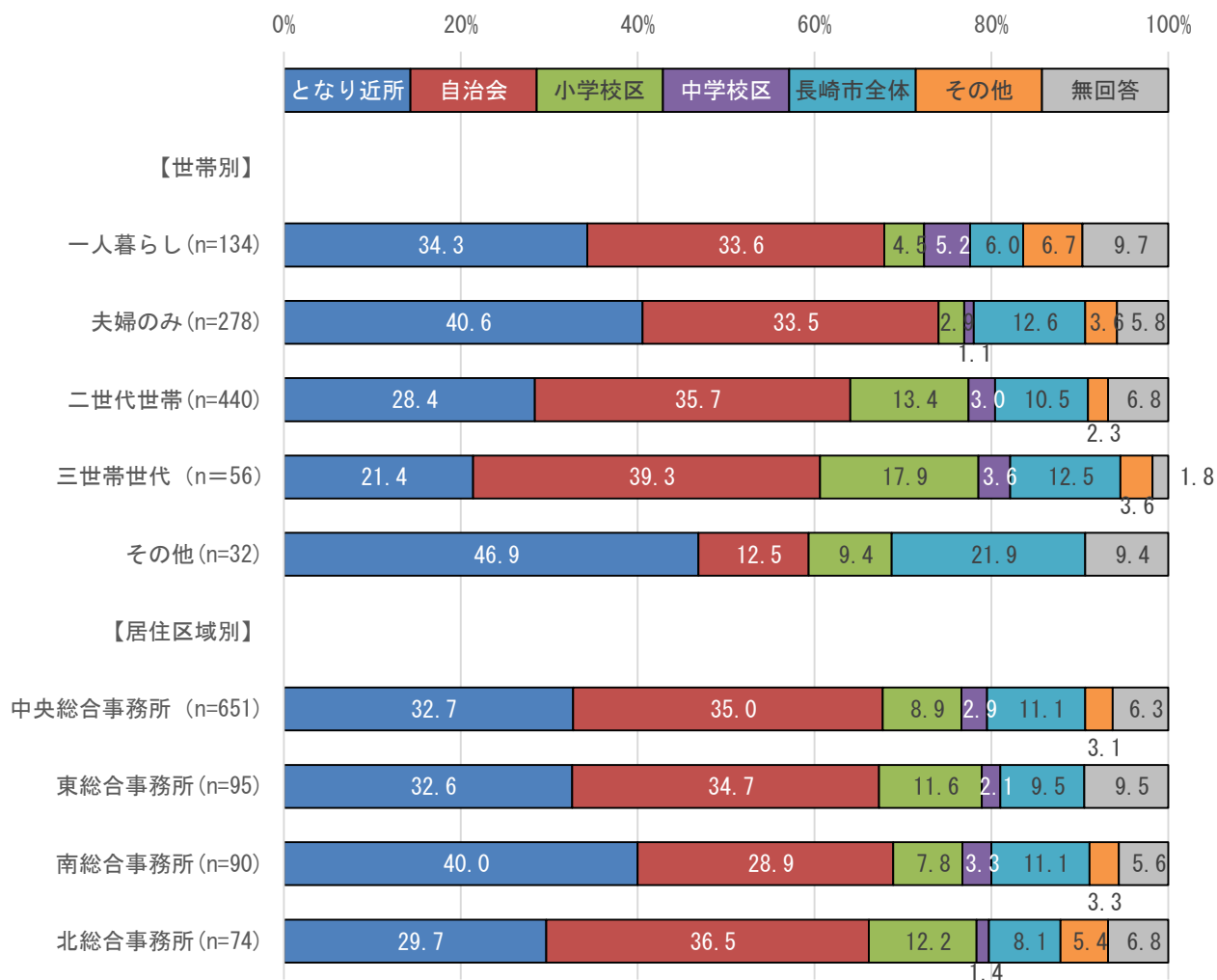
年齢別での相違は「30歳代」で「となり近所（10世帯程度の身近な集まり）」が30.5%で1位項目、「小学校区」が25.6%で3位項目となっており、「長崎市全体」は年齢の上昇に伴い選択割合は低くなっている。

職業別で一定数の母数を持つものの中で「家事専業」「無職」は「となり近所（10世帯程度の身近な集まり）」が全体平均以上となっている。



世帯構成では「一人暮らし」・「夫婦のみ」で「となり近所（10世帯程度の身近な集まり）」が1位項目となっている。また、世帯別の傾向が表れているのは「小学校区」で「二世帯世帯」・「三世帯世帯」と「一人暮らし」・「夫婦のみ」の乖離が大きくなっている。

居住区域での相違は「南総合事務所」所管区域で「となり近所（10世帯程度の身近な集まり）」が40.0%で1位項目となっており、「小学校区」が「東総合事務所」所管区域で11.6%、「北総合事務所」所管区域で12.2%と3位項目となっている。

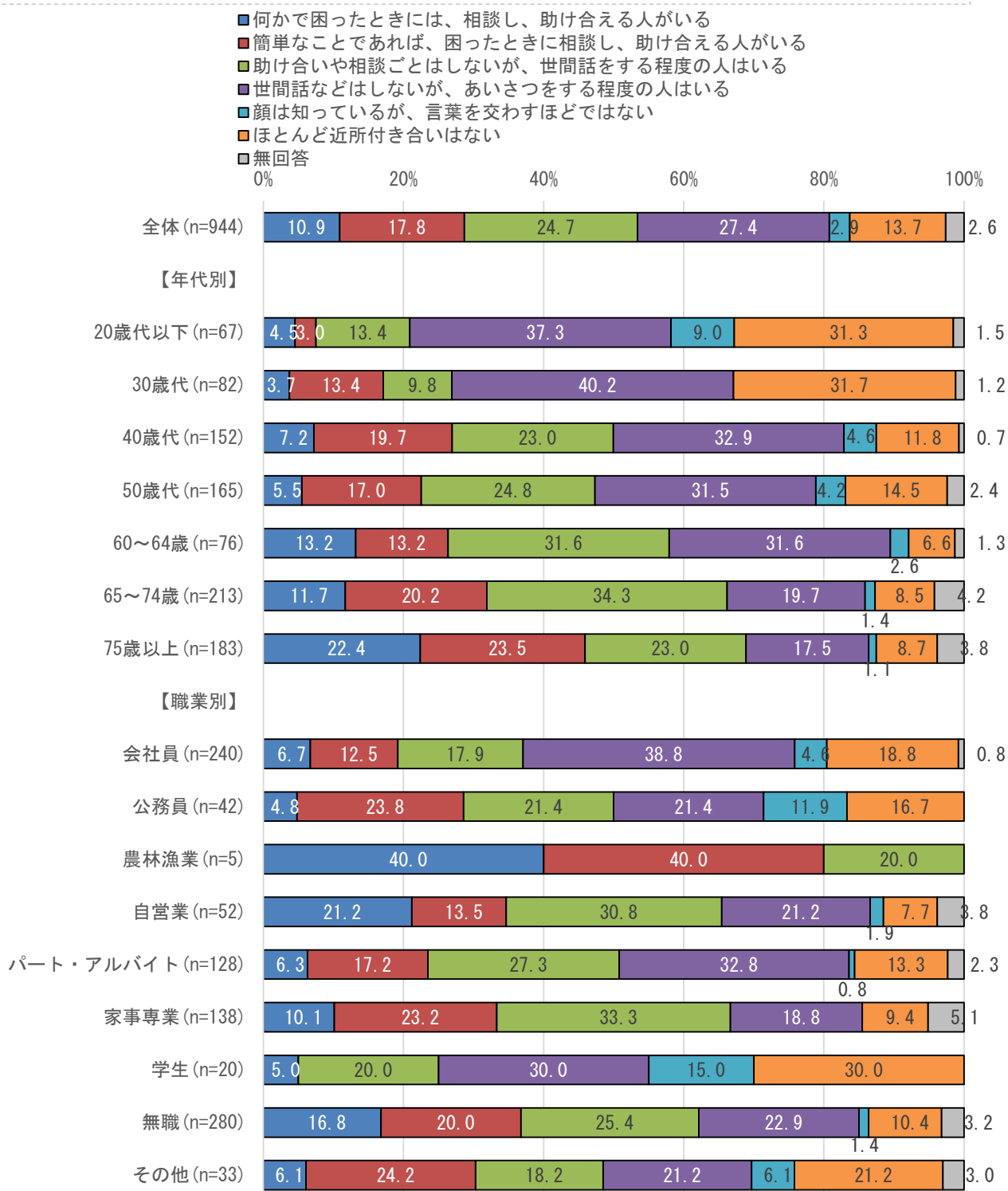


問9 あなたは、現在、どの程度「ご近所づきあい」をしていますか。【〇は1つだけ】

現状としては、全体で「世間話などはしないが、あいさつをする程度の人はいる」が27.4%で最も多く、次いで「助け合いや相談ごとはしないが、世間話をする程度の人はいる」が24.7%、「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える人がある」が17.8%で続いており、「近所づきあいがある（「何かで困ったときには、相談し、助け合える人がある」+「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える人がある」）」は28.7%であった。

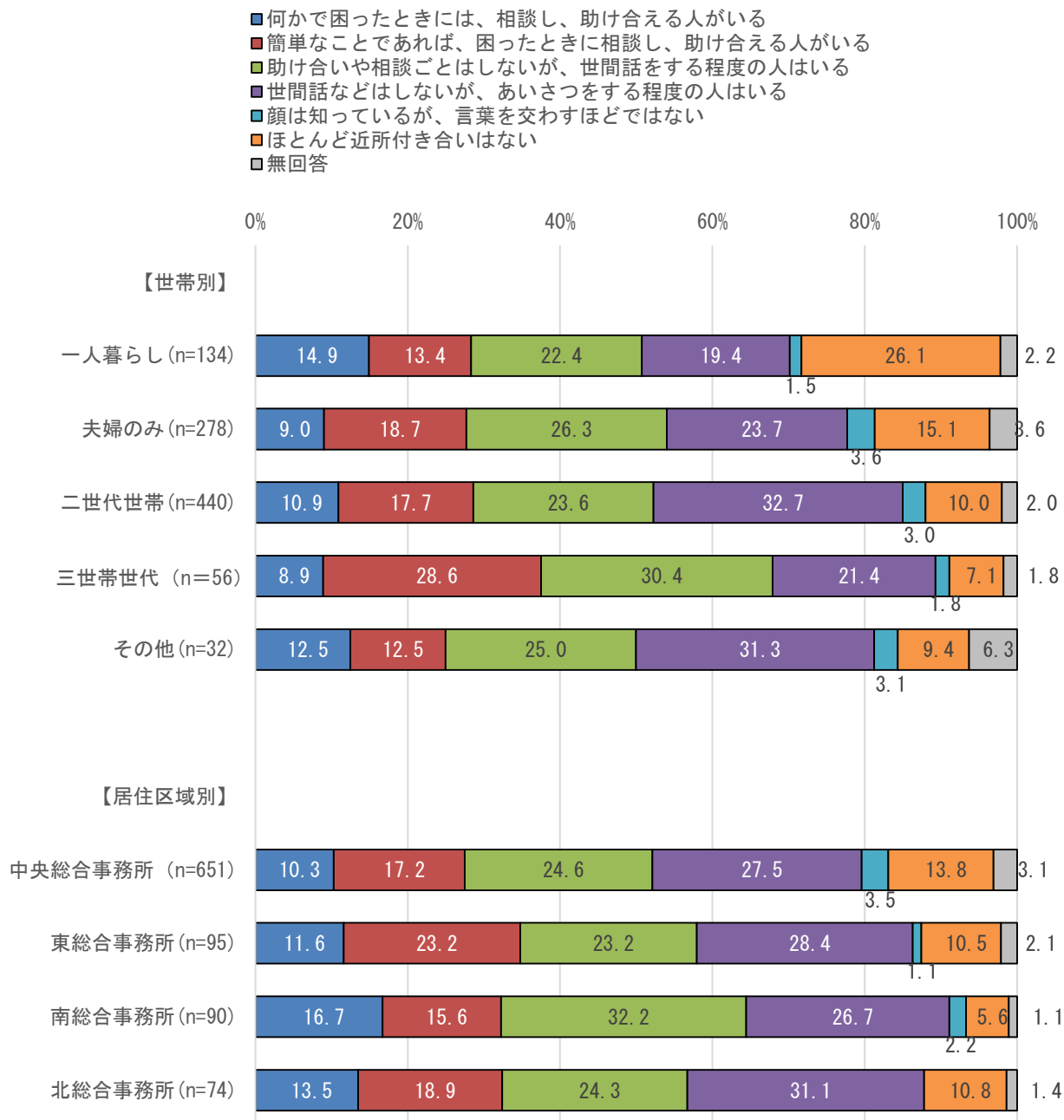
年齢別で「近所づきあいがある」が最も多いのは「75歳以上」の45.9%で、最も少ないのは「20歳代以下」の7.5%であり、年齢の上昇に伴いご近所づきあいはおおむね多くなる傾向にある。

職業別で一定数の母数を持つものの中で見ると「近所づきあいがある」が最も多いのは「無職」の36.8%、最も少ないのは「会社員」の19.2%となっている。



また、世帯構成で一定数の母数を持つものの中で見ると「近所づき合いがある」のは「二世
 世帯」が28.6%で1位となっている。

全体との上位項目を居住区域で見ると、「南総合事務所」所管区域で「助け合いや相談ごとは
 しないが、世間話をする程度の人はいる」が1位項目となっている。また、「ほとんど近所付き
 合いがない」は「中央総合事務所」所管区域が13.8%で最も多くなっている。

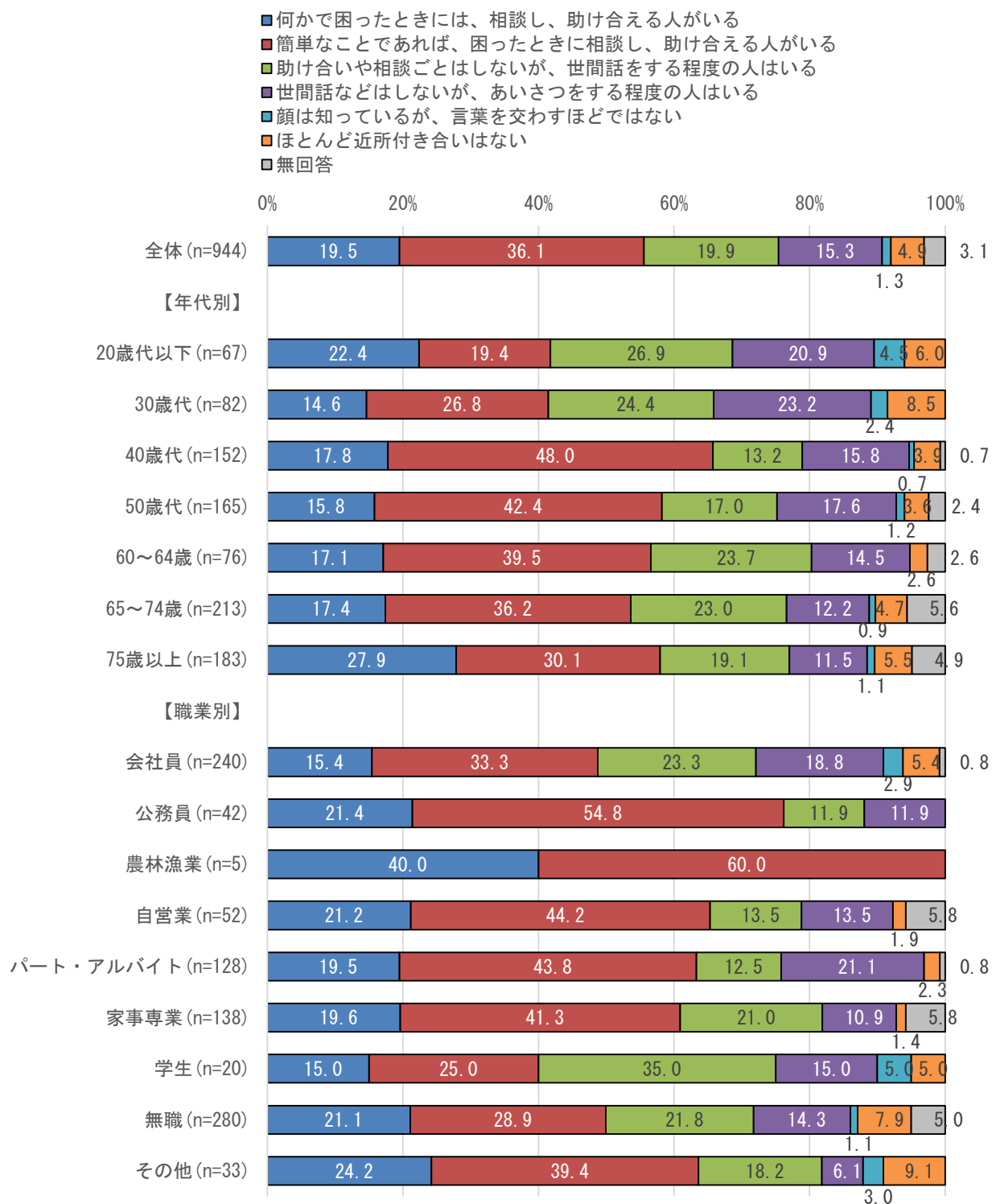


問10 あなたは、どの程度の「ご近所づきあい」を理想としますか。【〇は1つだけ】

理想としては、全体で「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える人がいる」が36.1%で最も多く、次いで「助け合いや相談ごとはしないが、世間話をする程度の人はいる」が19.9%、「何かで困ったときには、相談し、助け合える人がいる」が19.5%で続いており、「近所づき合いがある（何かで困ったときには、相談し、助け合える人がいる）+「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える人がいる」」は55.6%であった。

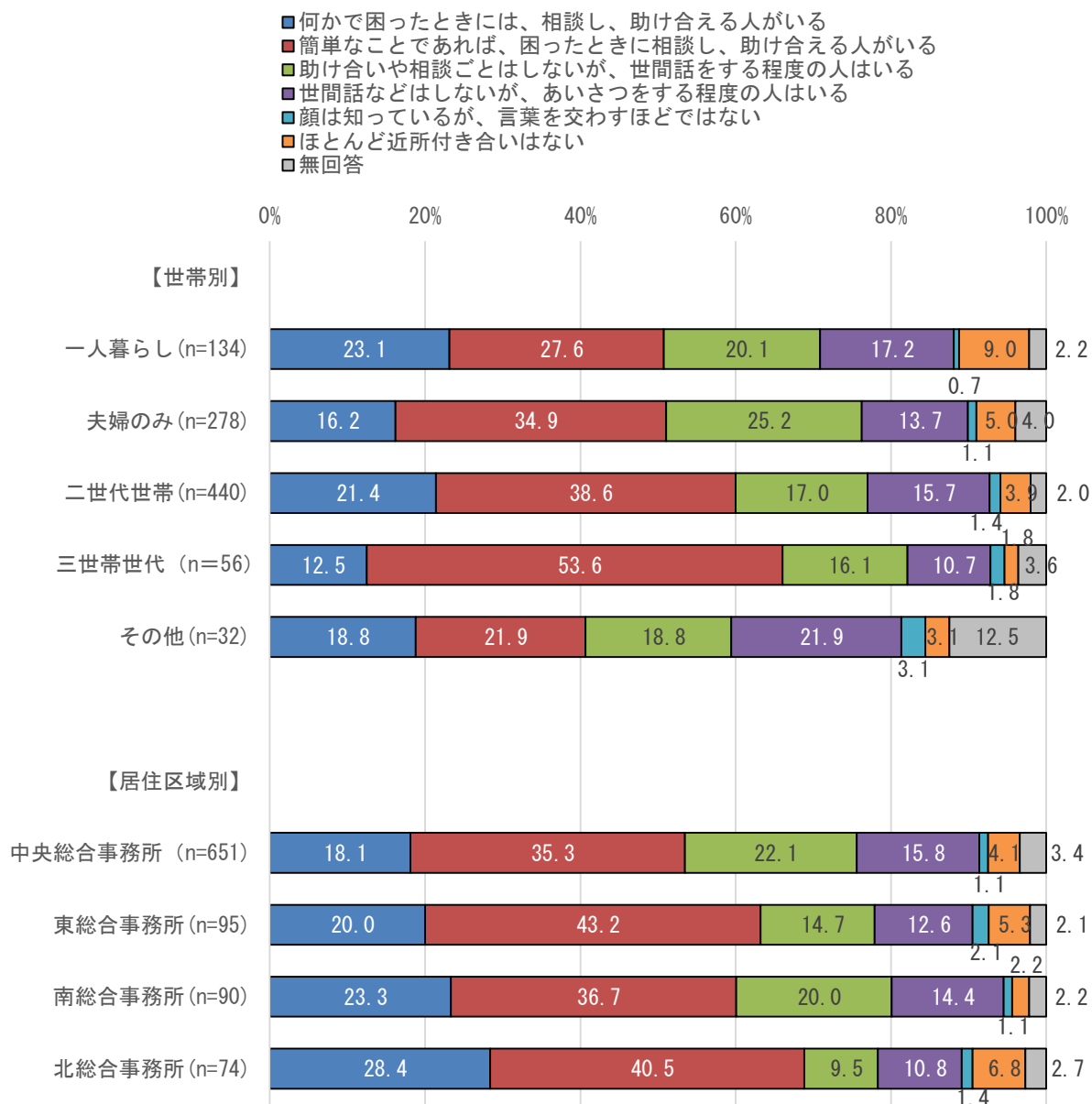
年齢別で「近所づき合いがある」が最も多いのは「40歳代」の65.8%で、最も少ないのは「30歳代」の41.4%となっている。

職業別で一定数の母数を持つものの中で見ると「近所づき合いがある」が最も多いのは「パート・アルバイト」の63.3%、最も少ないのは「会社員」の48.7%となっている。



世帯構成で一定数の母数を持つものの中で見ると「近所づき合いがある」のを理想としているのは、「二世帯世帯」が60.0%で1位となっている。

全体との上位項目を居住区域で見ると、「中央総合事務所」所管区域以外では相違が見られ、「何かで困ったときには、相談し、助け合える人がある」は「東総合事務所」所管区域で20.0%、「南総合事務所」所管区域で23.3%、「北総合事務所」所管区域で28.4%と2位項目になっている。

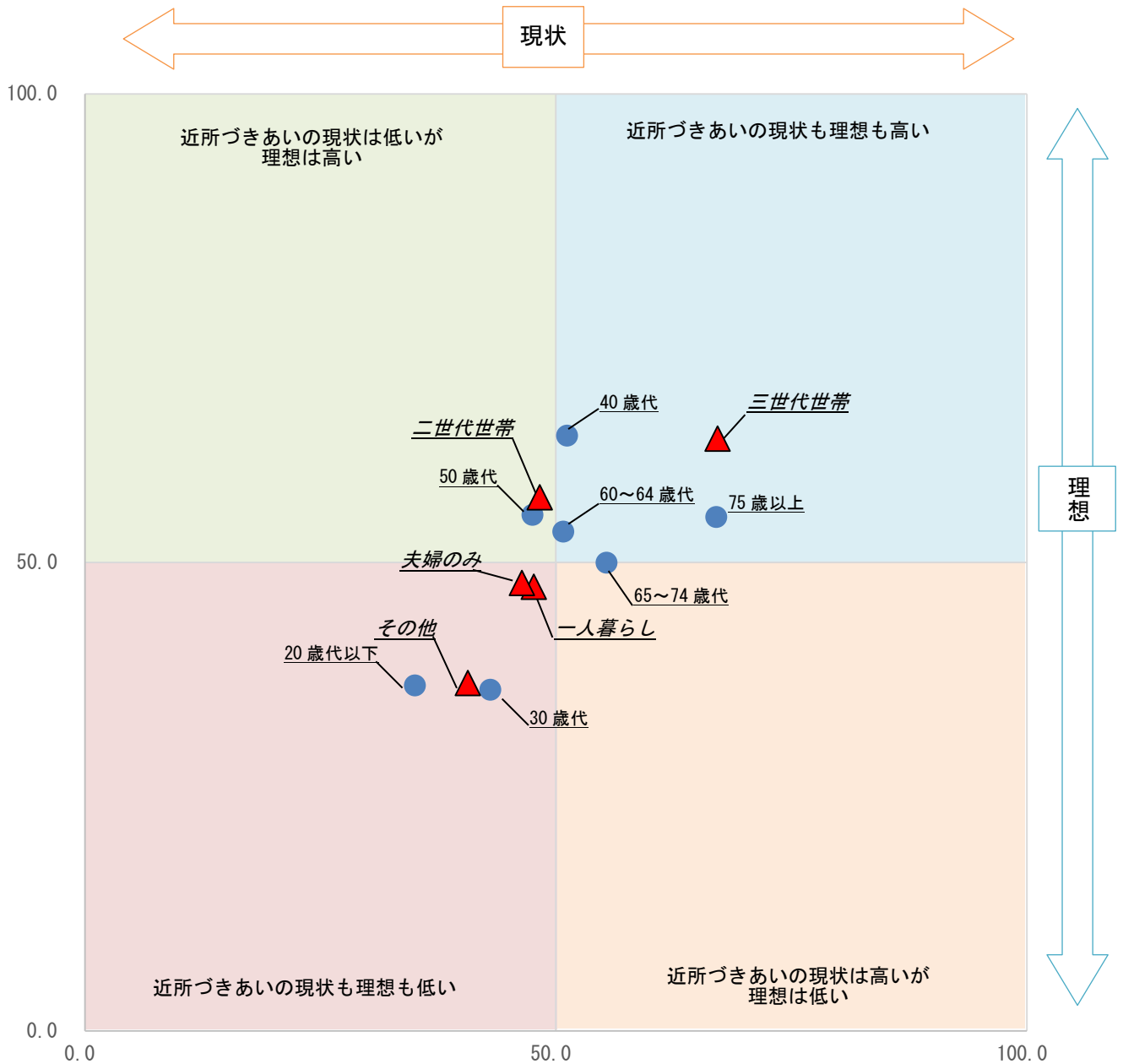


【近所づきあいの現状と理想】

〔年代別・世帯構成〕

「近所づき合いがある」の現実と理想を偏差値にて図に表すと下記のとおりとなった。年代で「近所づき合いの現状も理想も低い」分野に「20歳代以下」「30歳代」が入り、世帯構成では「一人暮らし」「夫婦のみ」「その他」が入っている。

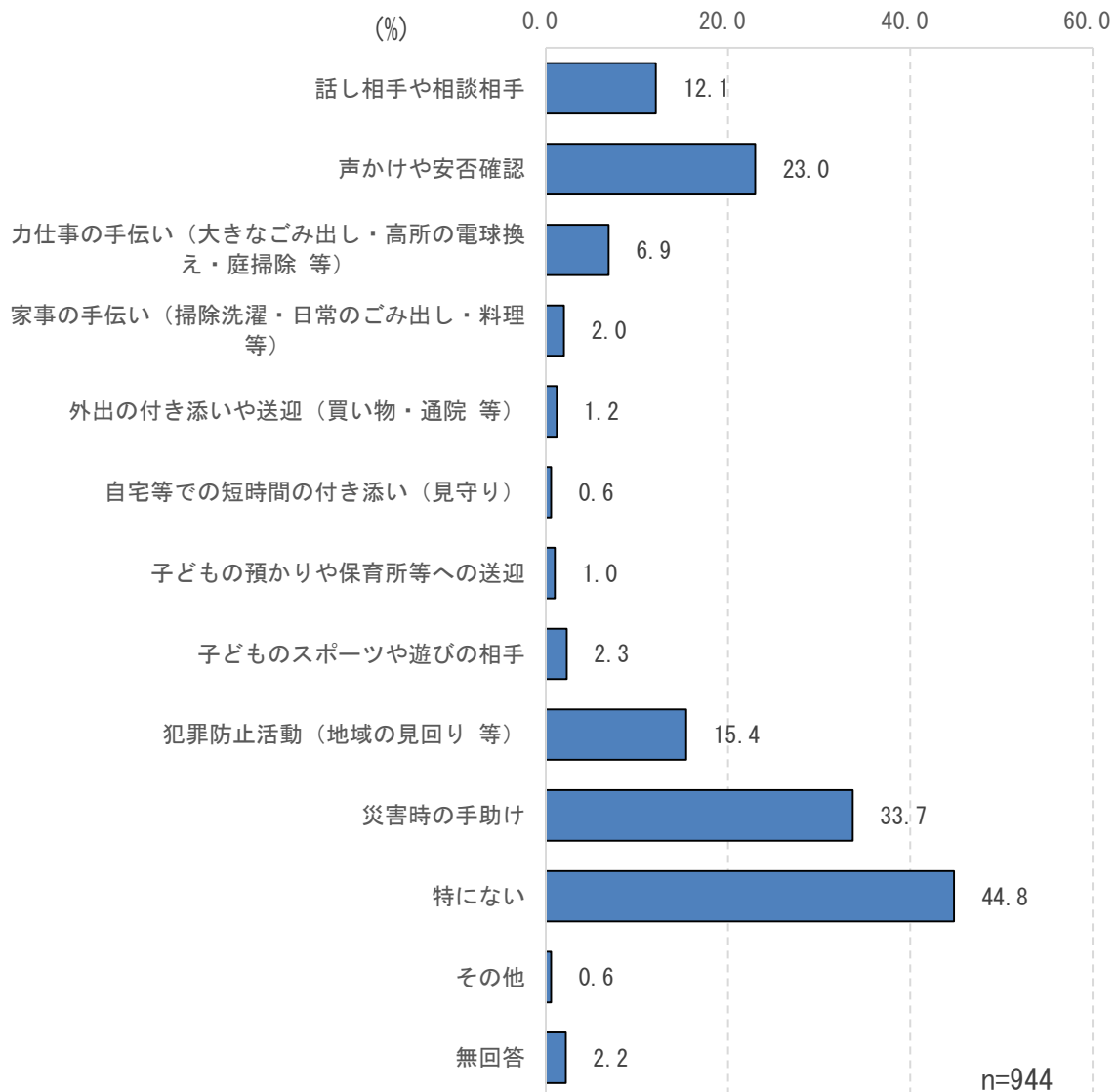
※近所づき合いがある＝「何かで困ったときには、相談し、助け合える人がいる」＋「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える人がいる」で算出している。



問 1 1 あなたは、生活の中で、となり近所の人に手助けや協力をしてほしいと思うことはありますか。【〇はあてはまるものすべて】

生活の中で、となり近所の人に手助けや協力をしてほしいと思うことは、「災害時の手助け」が 33.7%で最も多く、次いで「声かけや安否確認」が 23.0%、「犯罪防止活動（地域の見回り等）」が 15.4%と続いている一方、「特にない」が 44.8%と最も多くなっている。

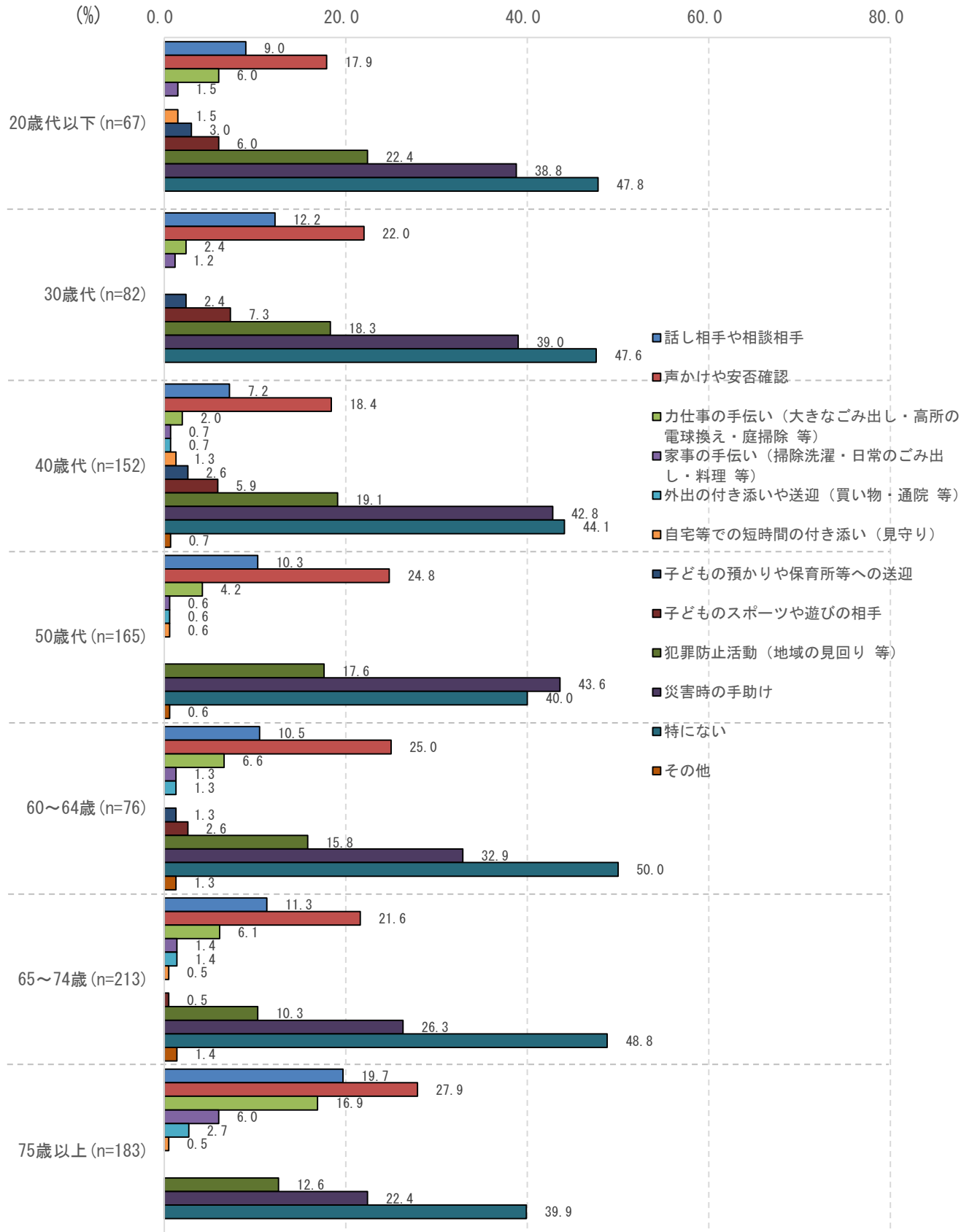
(1) 全体



全体での上位項目を年齢区分で見ると「災害時の手助け」は50歳代をピークに年齢の上昇とともに増加し、以降年齢の上昇に伴い減少しており、「声かけや安否確認」は年齢の上昇とともに増加傾向にある。逆に「犯罪防止活動（地域の見回り等）」は年齢の上昇に伴い減少傾向が見られる。

一方、「特にない」は年齢がまちまちとなるものの、おおよそ4~5割となっている。

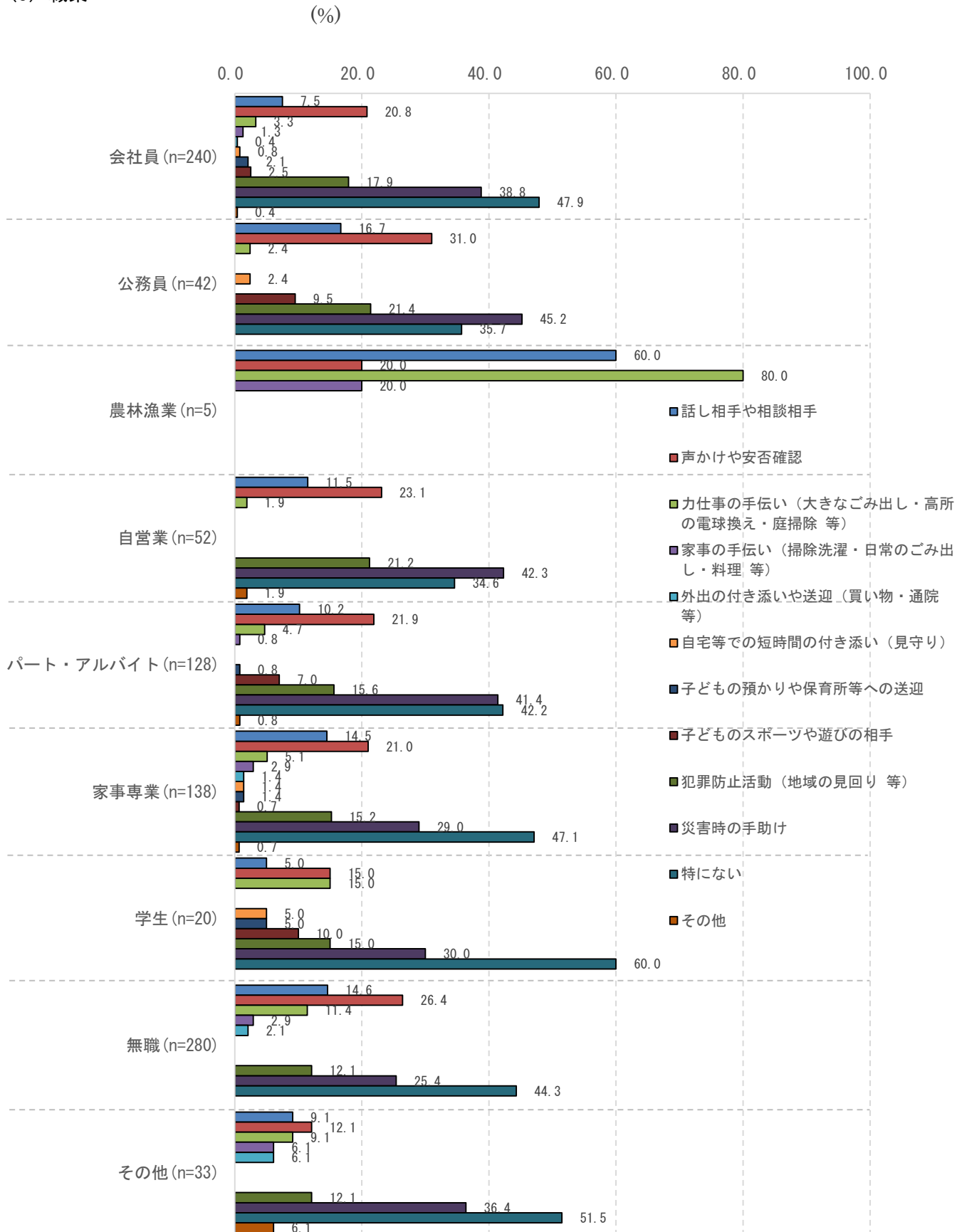
(2) 年齢



※無回答を除く

全体での上位項目を職業区分で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、振れ幅が大きくなっているが、一定母数のある区分では、上位項目の全体との傾向に相違はみられない。

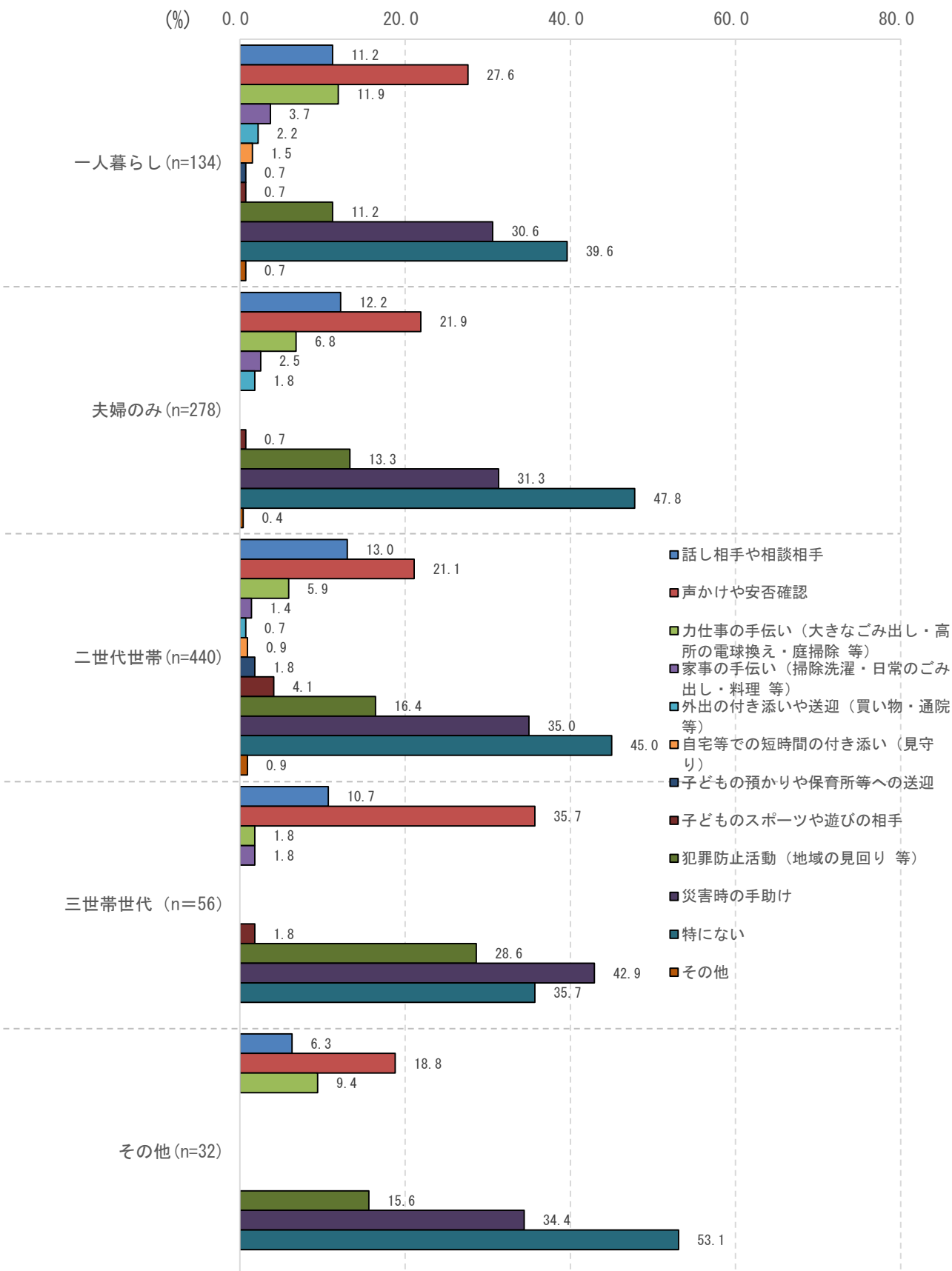
(3) 職業



※無回答を除く

全体での上位項目の世帯構成区分で一定母数のある区分で見ると、「災害時の手助け」・「犯罪防止活動（地域の見回り 等）」は世帯人数の上昇とともに増加している。逆に「声かけや安否確認」は世帯人数の増加に伴い減少している。

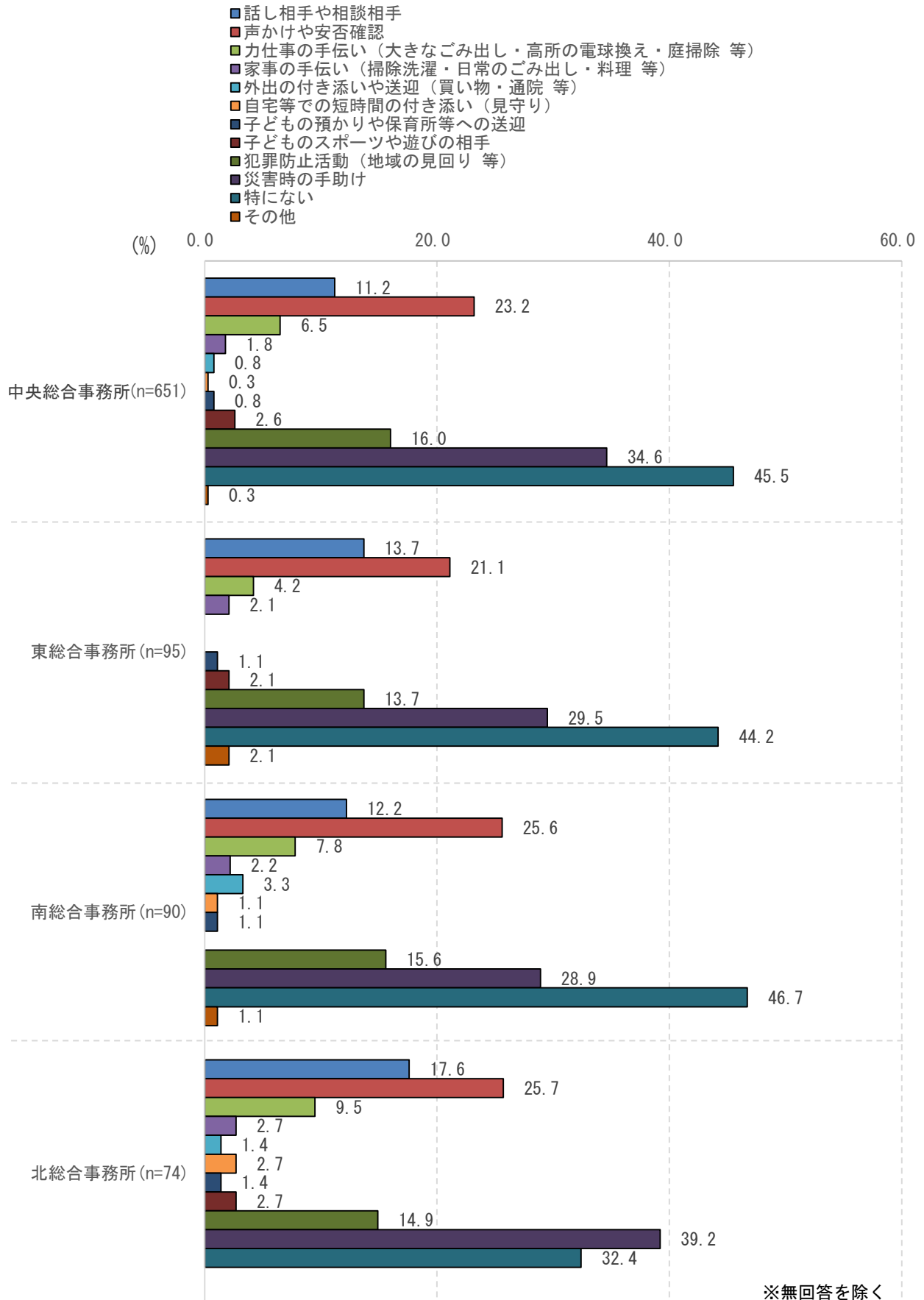
(4) 世帯構成



※無回答を除く

全体での上位項目と居住区域での上位項目と相違が見られるのは、「北総合事務所」所管区域で「話し相手や相談相手」が3位項目となっている。

(5) 居住区域

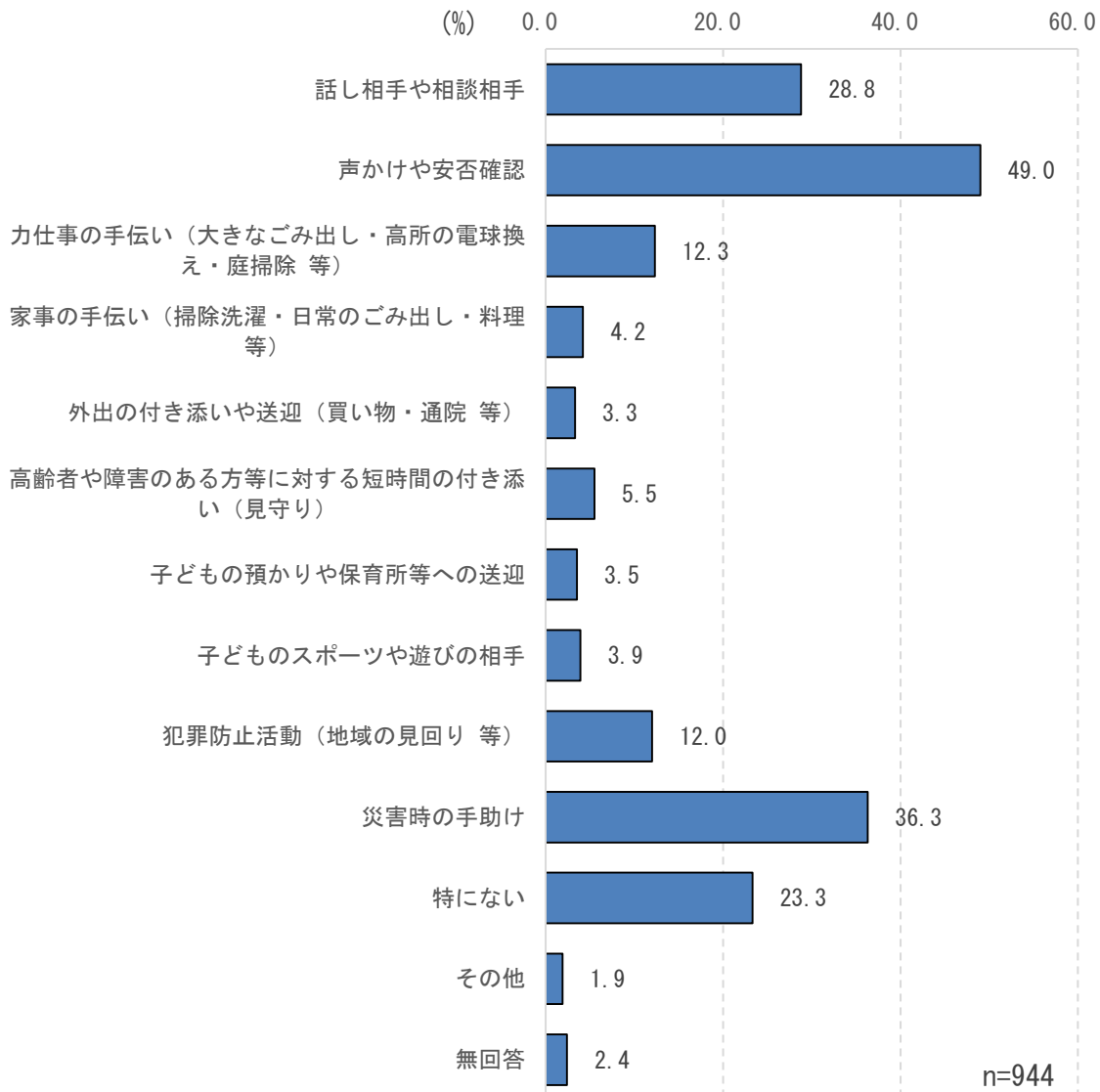


問12 あなたは、となり近所の人に対して手助けしたり、協力できることはありますか。

【〇はあてはまるものすべて】

となり近所の人に対して手助けしたり、協力できることは、「声かけや安否確認」が49.0%で最も多く、次いで「災害時の手助け」が36.3%、「話し相手や相談相手」が28.8%と続いている一方、「特にない」は23.3となっている。

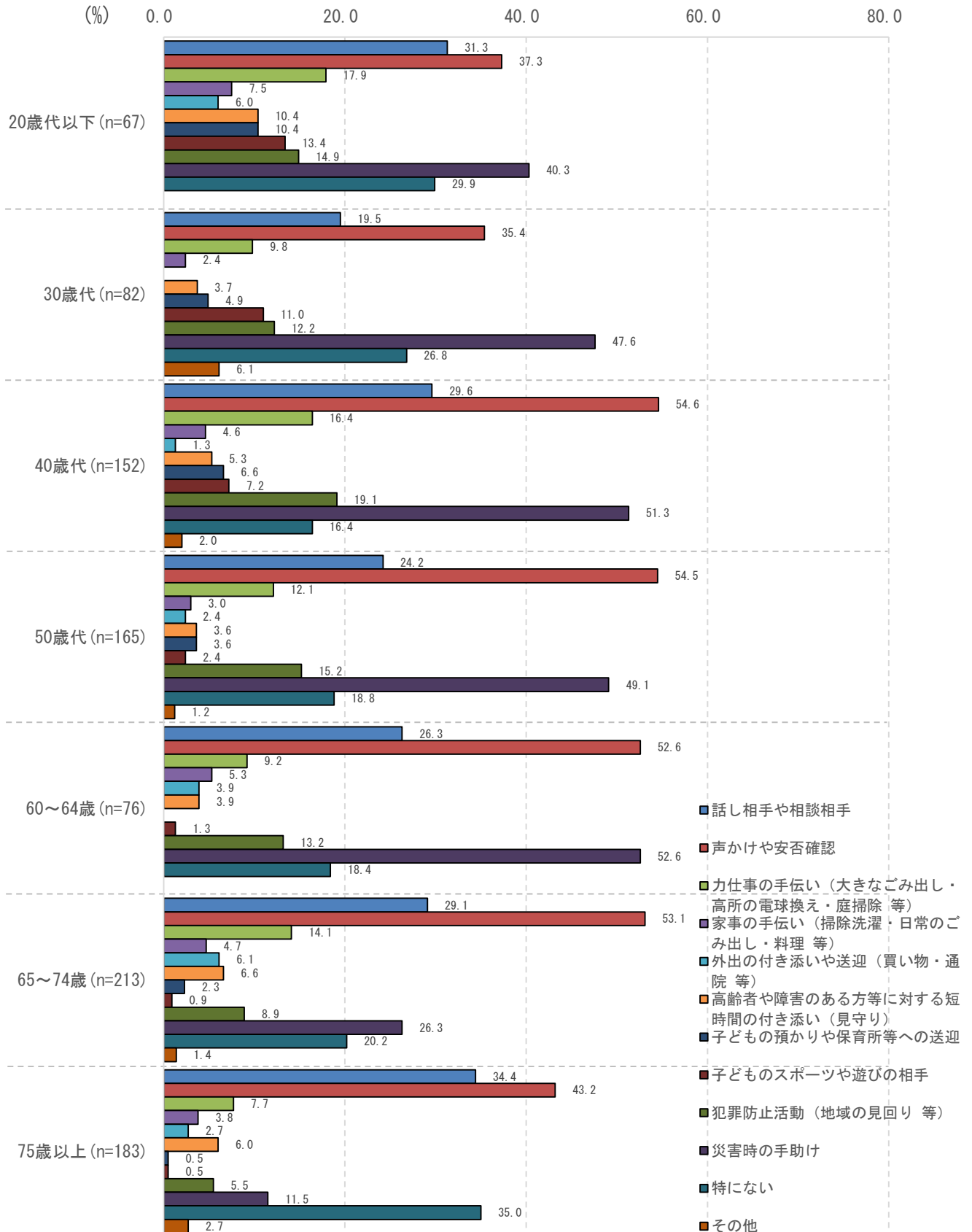
(1) 全体



全体での上位項目を年齢区分で見ると「災害時の手助け」は60～64歳までは増加傾向にあるが、以降減少している。また、「話し相手や相談相手」は年齢がまちまちとなるものの、おおむね2～3割となっている。

一方、「特にない」は年齢にバラツキが見られ「75歳以上」が35.0%で最も多くなっている。

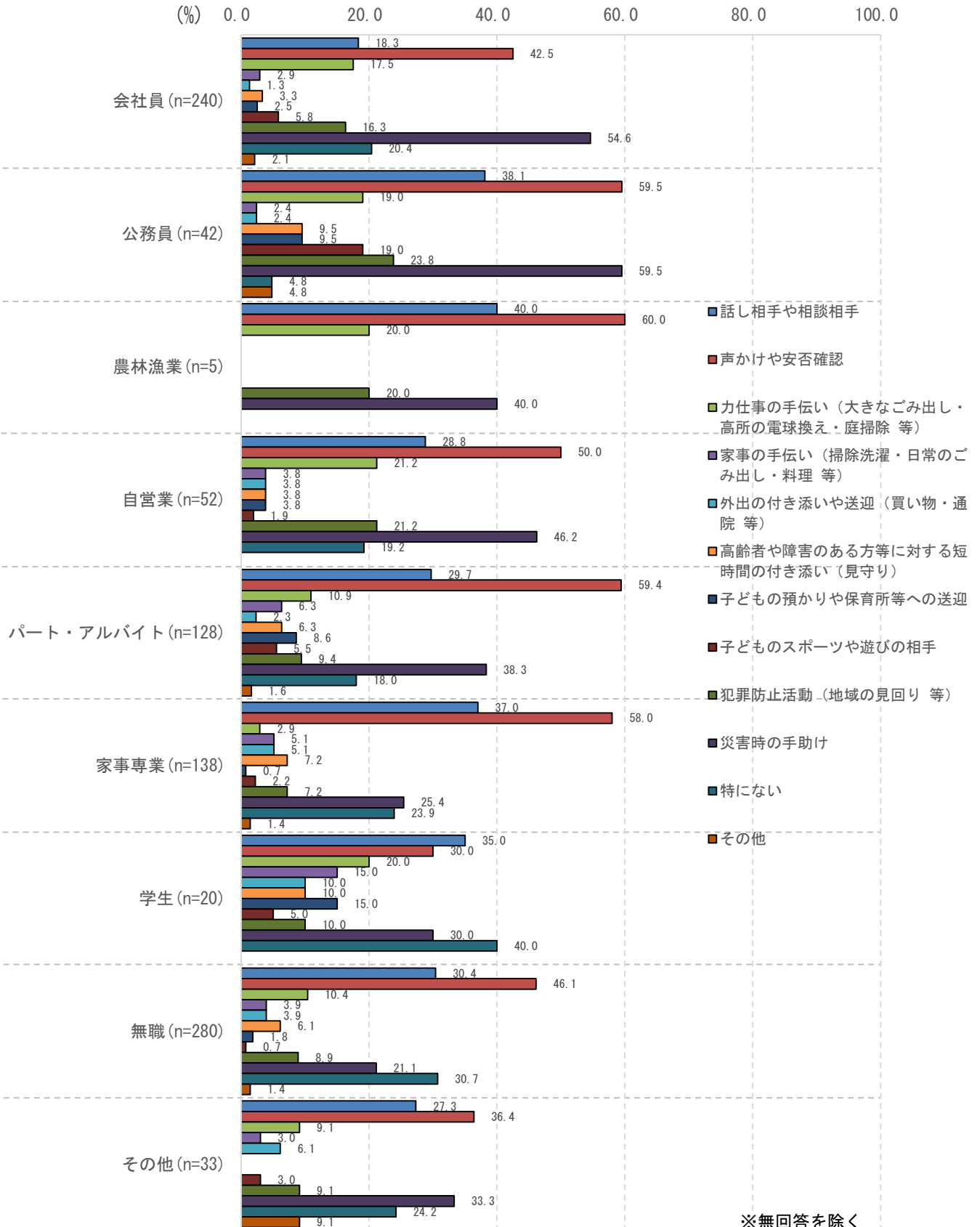
(2) 年齢



※無回答を除く

全体での上位項目を職業区分で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、振れ幅が大きくなっているが、一定母数のある区分で、上位項目の全体との相違は「会社員」は「災害時の手助け」が54.6%で1位項目となっており、「家事専業」・「無職」が「話し相手や相談相手」が2位項目となっている。

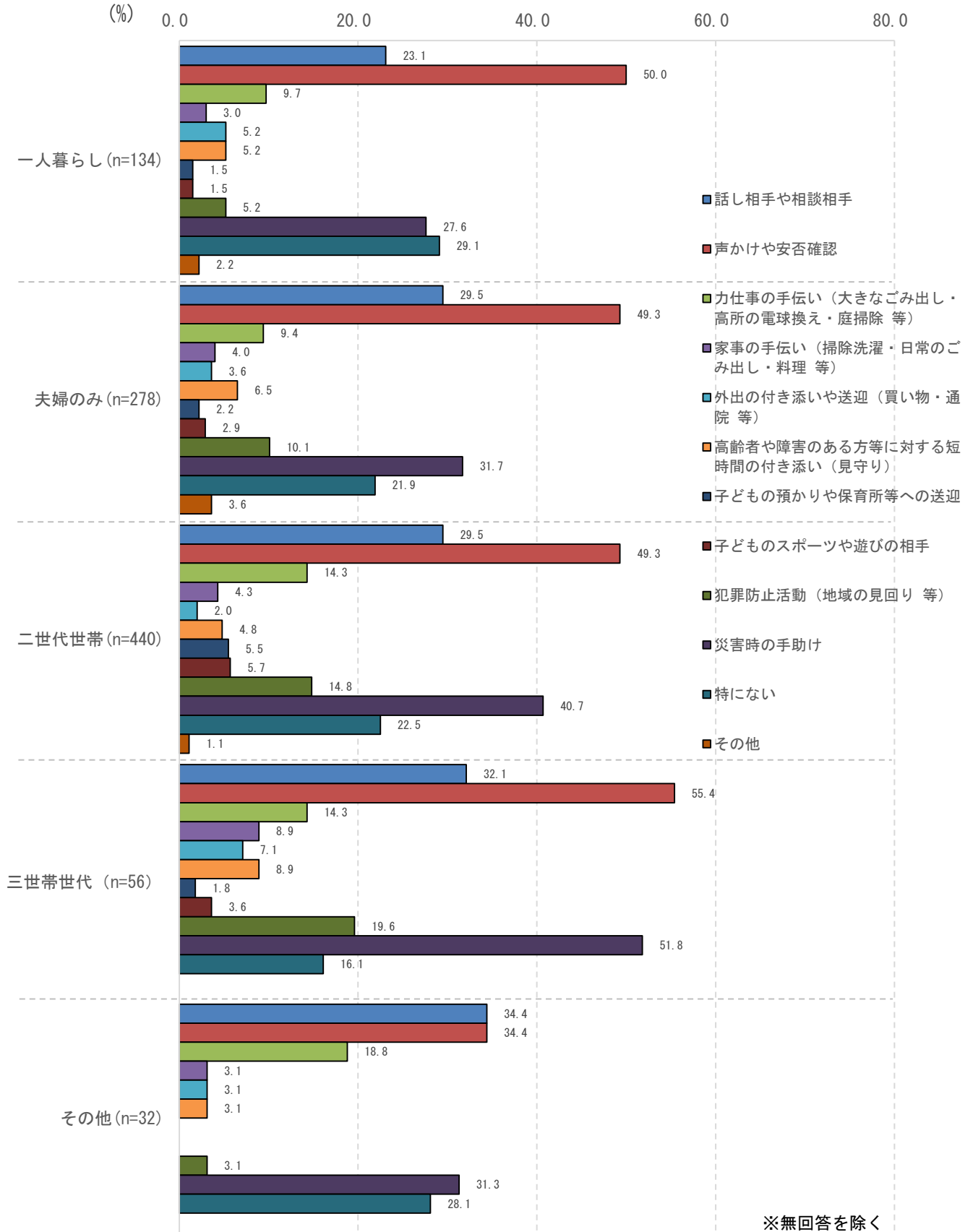
(3) 職業



※無回答を除く

全体での上位項目の世帯構成区分で一定母数のある区分で見ると、「声かけや安否確認」はややバラツキが見られるもののおおむね5割となっており、「災害時の手助け」・「話し相手や相談相手」は世帯人数の上昇とともに増加している。

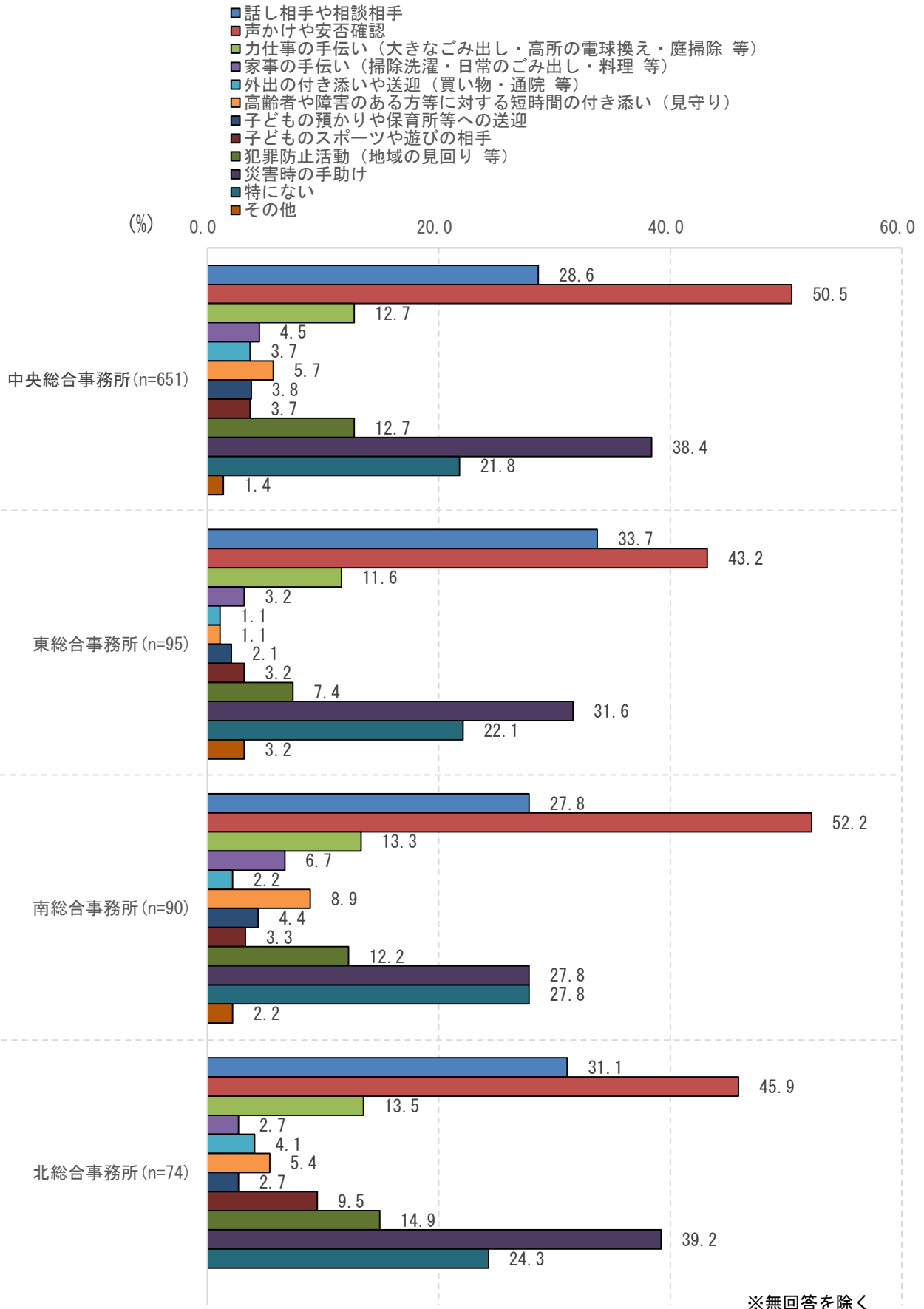
(4) 世帯構成



※無回答を除く

全体での上位項目を居住区域で見ると、全体の傾向との相違が見られるのは、「東総合事務所」所管区域で「話し相手や相談相手」が33.7%で2位項目となっている。

(5) 居住区域

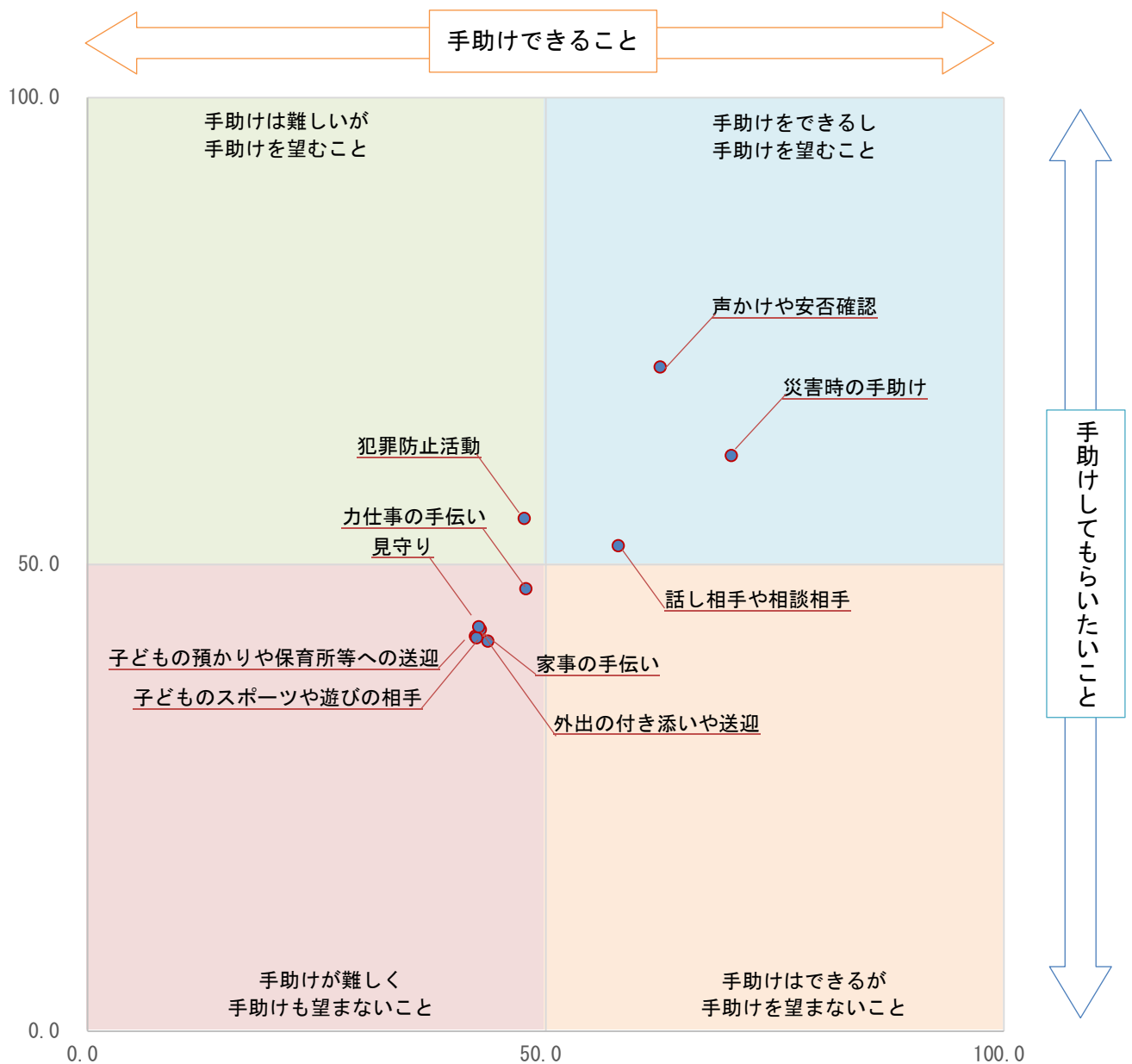


【手助けしてもらいたいこと・できること】

手助けしてもらいたいこと・できることを「その他」「特になし」を除き偏差値にて図に表すと下記のとおりとなった。「手助けをできるし手助けを望むこと」分野に「話し相手や相談相手」「声かけや安否確認」「災害時の手助け」が入り、「手助けが難しく手助けも望まないこと」では「力仕事の手伝い（大きなごみ出し・高所の電球換え・庭掃除 等）」「家事の手伝い（掃除洗濯・日常のごみ出し・料理 等）」「外出の付き添いや送迎（買い物・通院 等）」「見守り」「子どもの預かりや保育所等への送迎」「子どものスポーツや遊びの相手」が入っている。

※「見守り」は手助けしてもらいたいことの「自宅等での短時間の付き添い」手助けできることの「高齢者や障害のある方等に対する短時間の付き添い」を当てている。

(1) 全体



手助けしてもらいたいこと・できることを「その他」「特になし」を除き偏差値にて年齢・世帯構成別に表すと下表のとおりとなった。

※「見守り」は手助けしてもらいたいことの「自宅等での短時間の付き添い」手助けできることの「高齢者や障害のある方等に対する短時間の付き添い」を当てている。

(2) 年齢

	20歳代以下 (n=67)		30歳代 (n=82)		40歳代 (n=152)		50歳代 (n=165)		60～64歳 (n=76)	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
話し相手や相談相手	59.8	48.7	53.1	51.4	55.1	47.9	53.6	50.0	54.7	50.7
声かけや安否確認	64.5	55.9	63.4	59.1	67.9	56.2	69.0	60.0	67.6	63.4
力仕事の手伝い	49.2	46.3	46.9	43.6	48.4	44.0	47.5	45.9	46.2	47.3
家事の手伝い	41.0	42.6	42.1	42.7	42.3	43.0	42.9	43.4	44.3	42.6
外出の付き添いや送迎	39.8	41.4	40.5	41.8	40.6	43.0	42.6	43.4	43.6	42.6
見守り	43.2	42.6	42.9	41.8	42.7	43.5	43.2	43.4	43.6	41.5
子どもの預かりや保育所等への送迎	43.2	43.8	43.7	43.6	43.3	44.4	43.2	43.0	41.7	42.6
子どものスポーツや遊びの相手	45.6	46.3	47.6	47.5	43.6	46.9	42.6	43.0	42.4	43.8
犯罪防止活動	46.8	59.6	48.4	56.1	49.7	56.7	49.1	55.1	48.2	55.3
災害時の手助け	66.9	72.9	71.3	72.4	66.2	74.4	66.3	72.9	67.6	70.3
	65～74歳 (n=213)		75歳以上 (n=183)							
	A	B	A	B						
話し相手や相談相手	58.5	53.6	65.4	58.5						
声かけや安否確認	73.1	64.5	71.3	66.4						
力仕事の手伝い	49.3	48.1	47.4	55.8						
家事の手伝い	43.6	43.1	44.8	45.3						
外出の付き添いや送迎	44.5	43.1	44.0	42.1						
見守り	44.8	42.1	46.2	40.0						
子どもの預かりや保育所等への送迎	42.1	41.6	42.5	39.6						
子どものスポーツや遊びの相手	41.3	42.1	42.5	39.6						
犯罪防止活動	46.2	52.5	45.9	51.7						
災害時の手助け	56.7	69.4	49.9	61.1						

(3) 世帯構成

	一人暮らし (n=134)		夫婦のみ (n=278)		二世帯 (n=440)		三世帯 (n=56)		その他 (n=32)	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
話し相手や相談相手	56.3	51.0	59.0	53.0	57.3	52.6	56.0	49.0	64.2	48.1
声かけや安否確認	73.3	65.9	71.3	62.1	69.1	59.7	67.9	63.9	64.2	59.0
力仕事の手伝い	47.8	51.6	46.6	47.9	48.3	46.4	46.9	43.7	53.8	50.8
家事の手伝い	43.5	44.1	43.2	43.9	42.4	42.4	44.2	43.7	43.3	42.7
外出の付き添いや送迎	44.9	42.8	43.0	43.2	41.1	41.8	43.2	42.7	43.3	42.7
見守り	44.9	42.1	44.8	41.5	42.7	42.0	44.2	42.7	43.3	42.7
子どもの預かりや保育所等への送迎	42.6	41.4	42.1	41.5	43.1	42.8	40.5	42.7	41.2	42.7
子どものスポーツや遊びの相手	42.6	41.4	42.6	42.2	43.3	44.8	41.5	43.7	41.2	42.7
犯罪防止活動	44.9	51.0	47.0	54.0	48.6	55.6	49.6	59.7	43.3	56.2
災害時の手助け	59.1	68.6	60.4	70.9	64.0	72.0	66.1	68.2	62.1	72.5

(4) 居住区域

	中央総合事務所 (n=651)		東総合事務所 (n=95)		南総合事務所 (n=90)		北総合事務所 (n=74)	
	A	B	A	B	A	B	A	B
話し相手や相談相手	57.2	51.2	62.4	54.8	57.6	52.3	58.9	54.6
声かけや安否確認	70.2	61.6	68.3	62.0	73.1	65.0	68.1	60.9
力仕事の手伝い	47.8	47.2	48.6	45.6	48.4	48.1	47.9	48.2
家事の手伝い	42.9	43.1	43.4	43.5	44.2	42.8	41.1	42.9
外出の付き添いや送迎	42.5	42.3	42.1	41.5	41.3	43.9	42.0	41.8
見守り	43.6	41.8	42.1	41.5	45.6	41.8	42.8	42.9
子どもの預かりや保育所等への送迎	42.5	42.3	42.7	42.6	42.7	41.8	41.1	41.8
子どものスポーツや遊びの相手	42.5	43.8	43.4	43.5	42.0	40.7	45.4	42.9
犯罪防止活動	47.8	55.4	46.0	54.8	47.7	55.5	48.8	52.5
災害時の手助け	63.0	71.4	61.1	70.2	57.6	68.1	63.9	71.5

※A：手助けできること B：手助けしてほしいこと

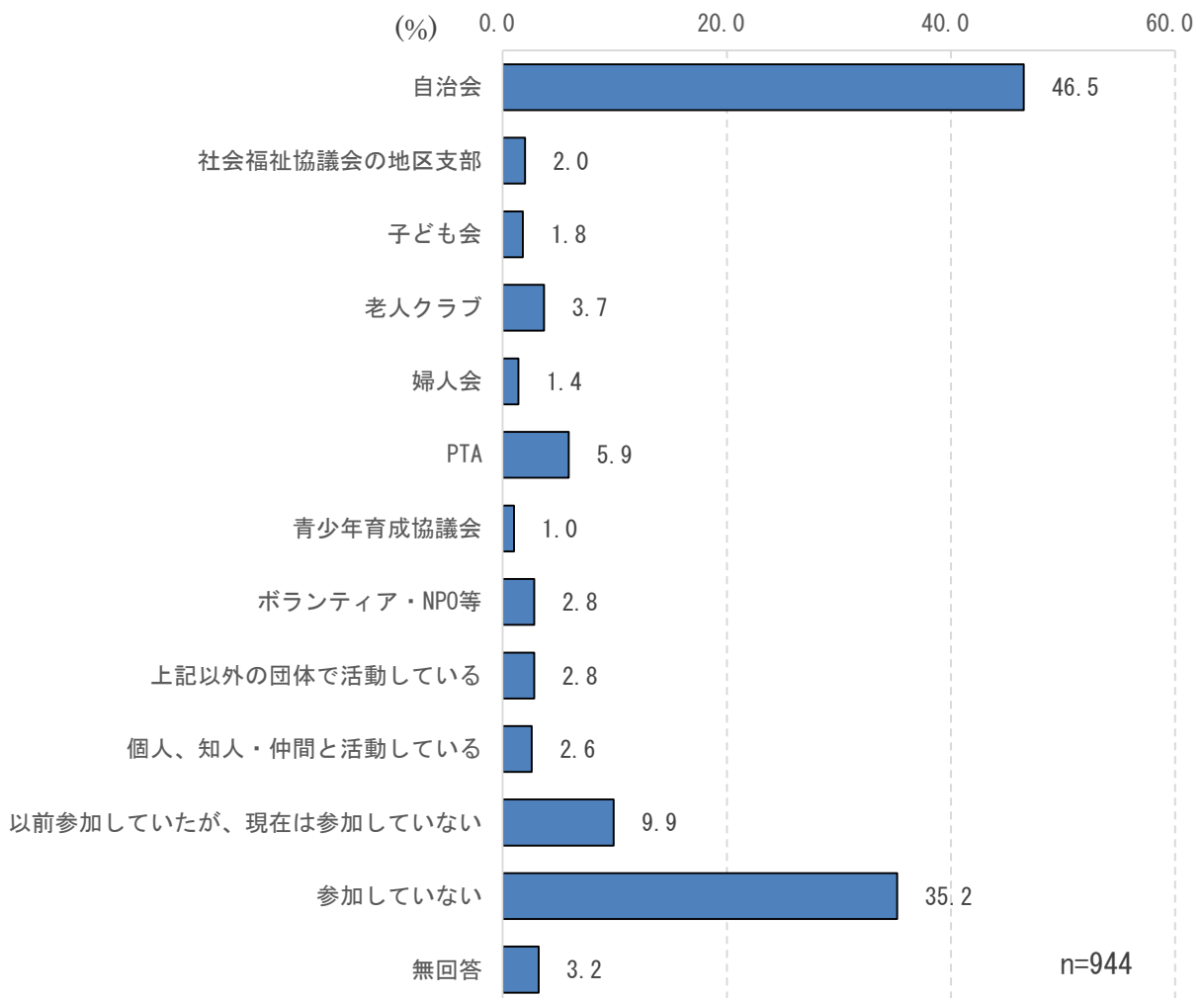
手助けは難しいが手助けを望むこと
 手助けをできるし手助けを望むこと
 手助けが難しく手助けも望まないこと
 手助けはできるが手助けを望まないこと

4. 地域活動について

問13(1) 長崎市では、現在、次のような団体が各地域で活動しています。あなたは、これらの活動に参加していますか。【〇はあてはまるものすべて】

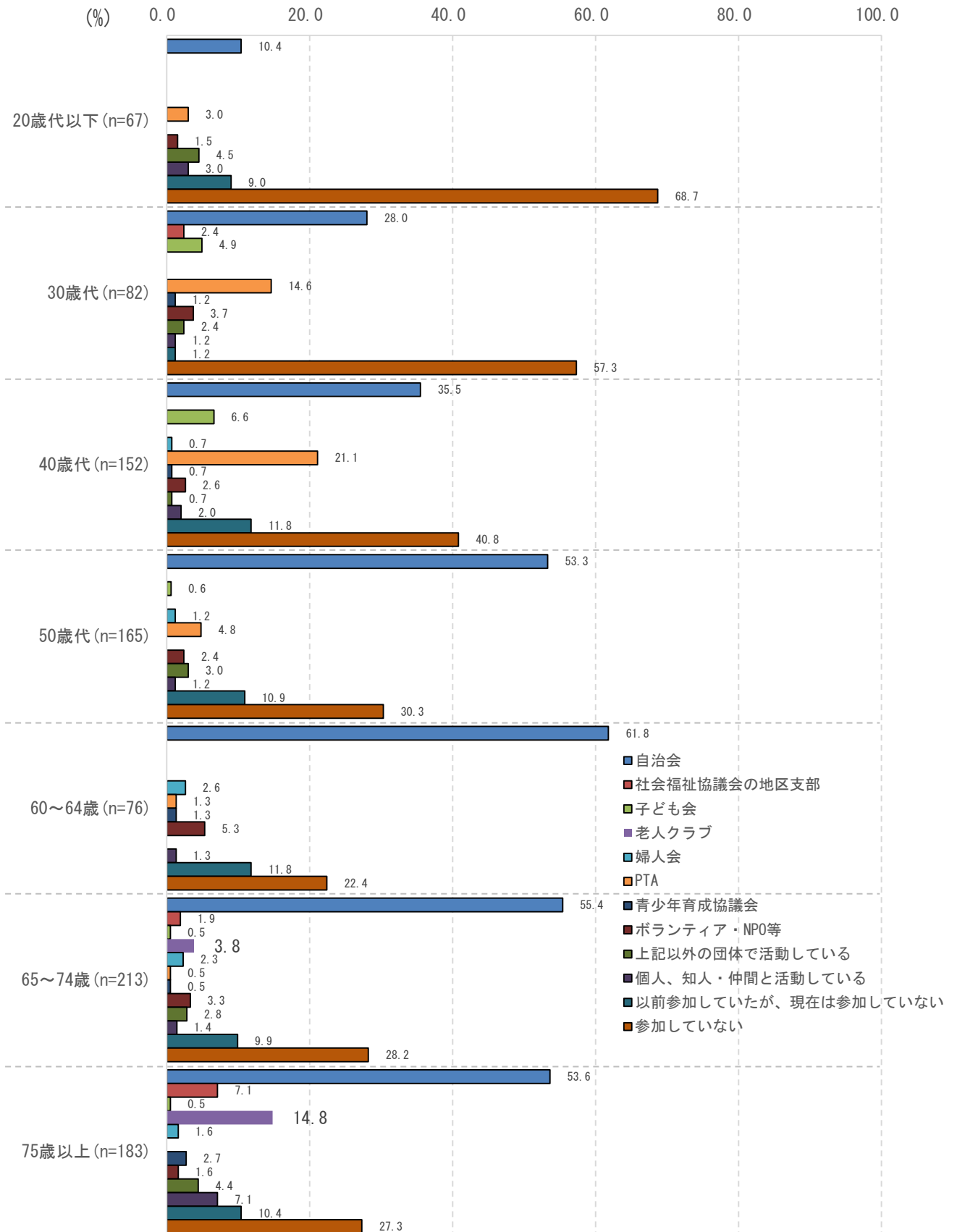
参加している活動は「自治会」が46.5%で最も多く、次いで「PTA」が5.9%、「老人クラブ」が3.7%と続いており、「参加していない」の35.2%と「以前参加していたが、現在は参加していない」の9.9%と無回答の3.2%をあわせた48.3%が現在活動に参加していないということになり、これを差し引くと、何らかの活動に参加している人は51.7%となる。

(1) 全体



全体での上位項目を年齢区分で見ると「自治会」参加は60～64歳をピークに増加し、以降減少している。また、「PTA」参加も40歳代をピークに増加し、以降減少となっている。一方、20・30歳代の5割以上が「参加していない」と回答している。

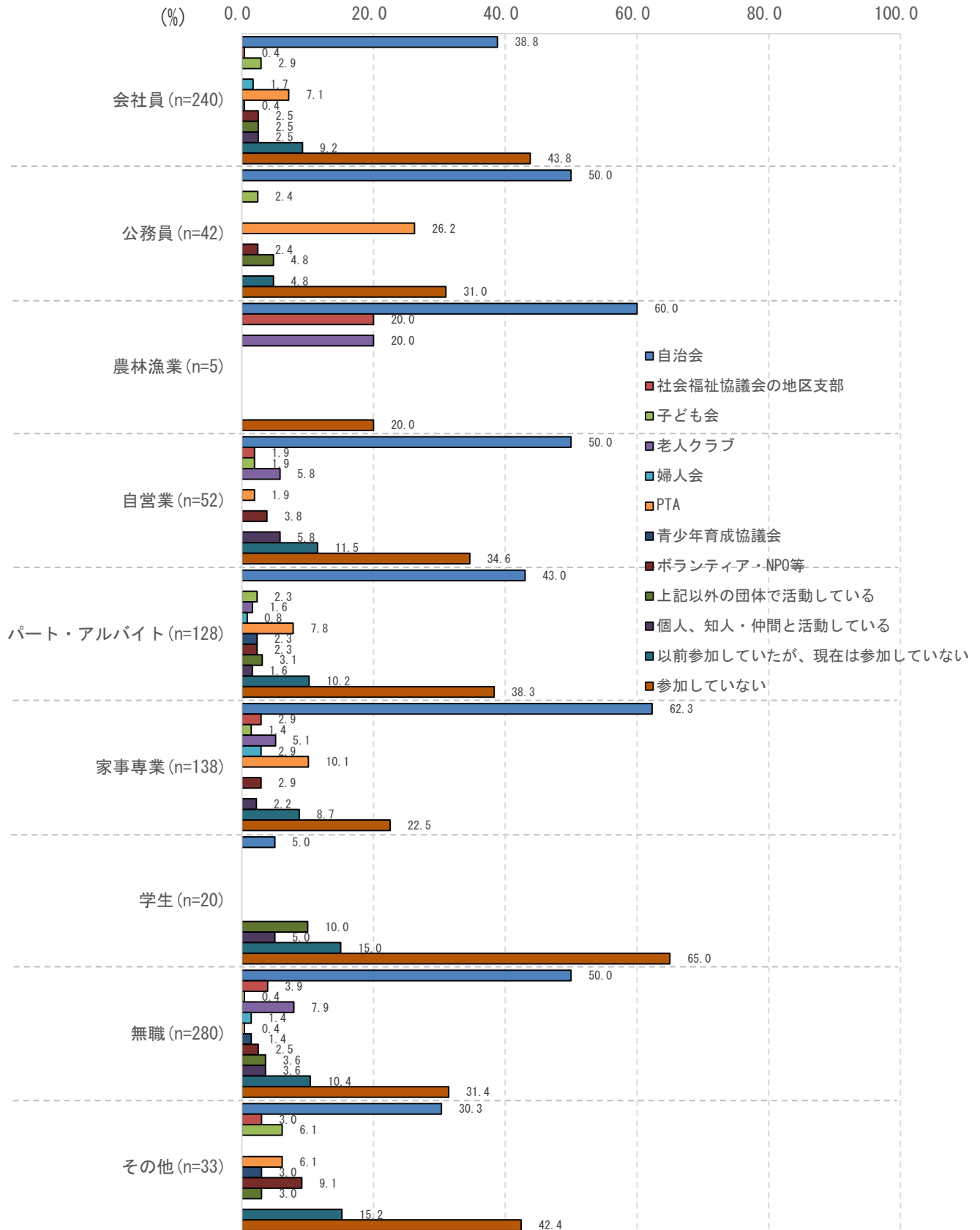
(2) 年齢



※無回答を除く

全体での上位項目を職業区分で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、振れ幅が大きくなっているが、一定母数のある区分で、上位項目の全体との傾向に相違が見られるのは「会社員」は「子ども会」、「パートアルバイト」で「上記以外の団体で活動している」が3位項目となっている。

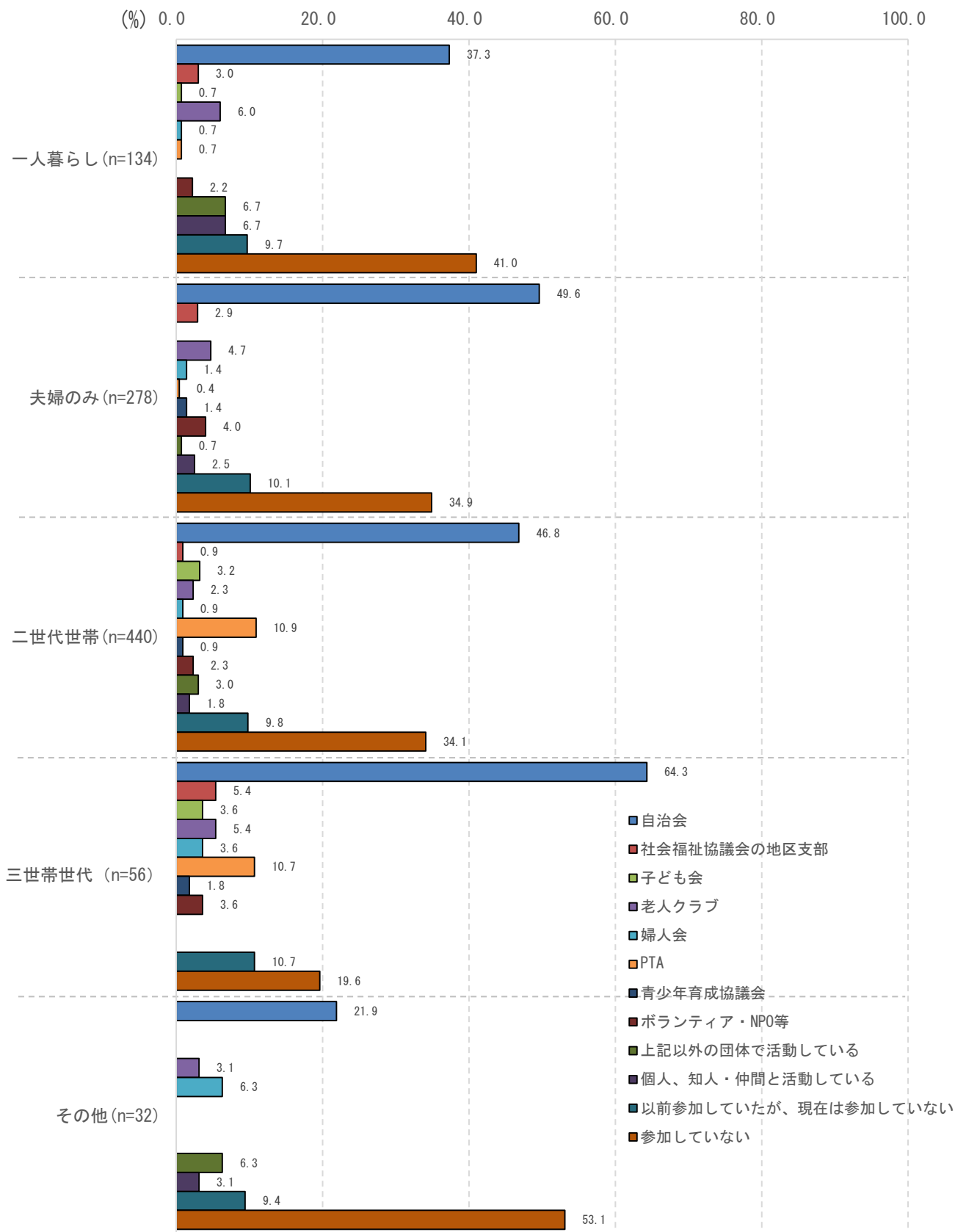
(3) 職業



※無回答を除く

全体での上位項目の世帯構成区分でも母数が少ないものもあるため、一定母数のある区分で、全体との傾向に相違が見られるのは「一人暮らし」で「上記以外の団体で活動している」が同率で2位項目、「夫婦のみ」で「老人クラブ」が2位項目、「ボランティア・NPO等」が3位項目、二世帯世帯で「子ども会」が3位項目となっている。

(4) 世帯構成

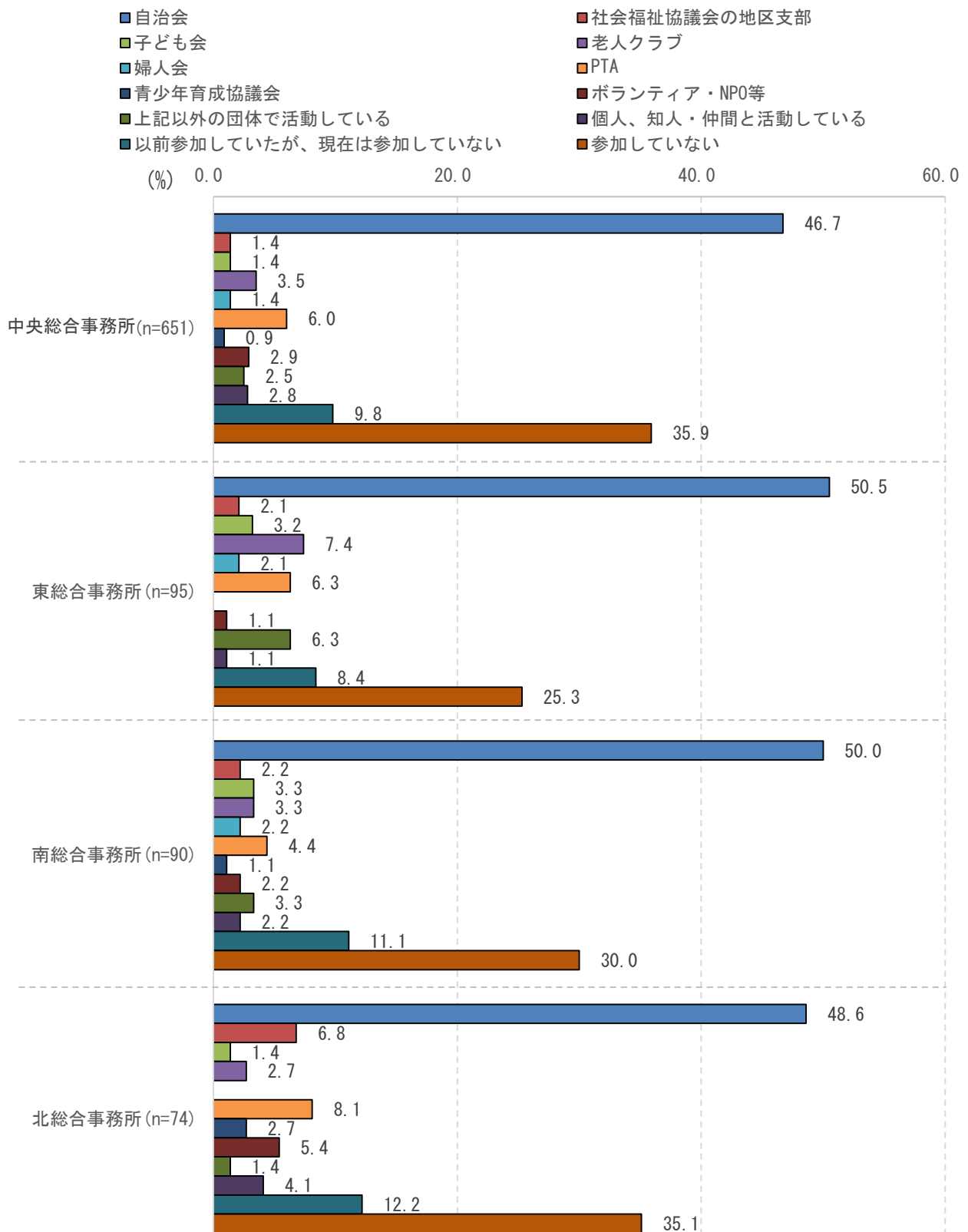


※無回答を除く

全体の上位項目を居住区域で見ると、全体との傾向に相違が見られるのは「東総合事務所」所管区域で「老人クラブ」が7.4%で2位項目、「北総合事務所」所管区域で「社会福祉協議会の地区支部」が6.8%で3位項目となっている。

また、「参加していない」は「中央総合事務所」所管区域が35.9%、「以前参加していたが、現在は参加していない」は「北総合事務所」所管区域が12.2%で4区分の中で最も多くなっている。

(5) 居住区域

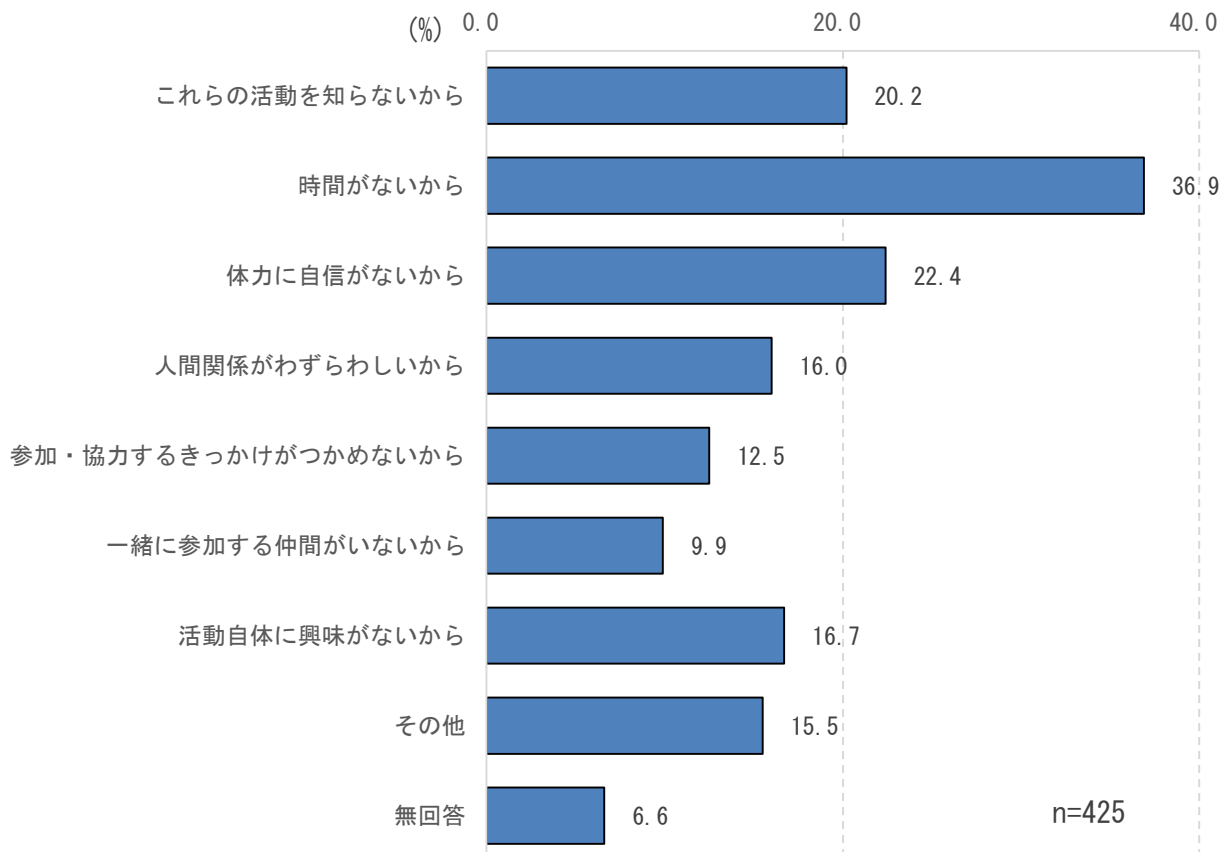


※無回答を除く

問13(2) [(1)で、11. 以前参加していたが、現在は参加していない、12. 参加していないと答えた方にお聞きします]
その理由は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】

活動に参加していない理由は「時間がないから」が36.9%で最も多く、次いで「体力に自信がないから」が22.4%、「これらの活動を知らないから」が20.2%と続いている。

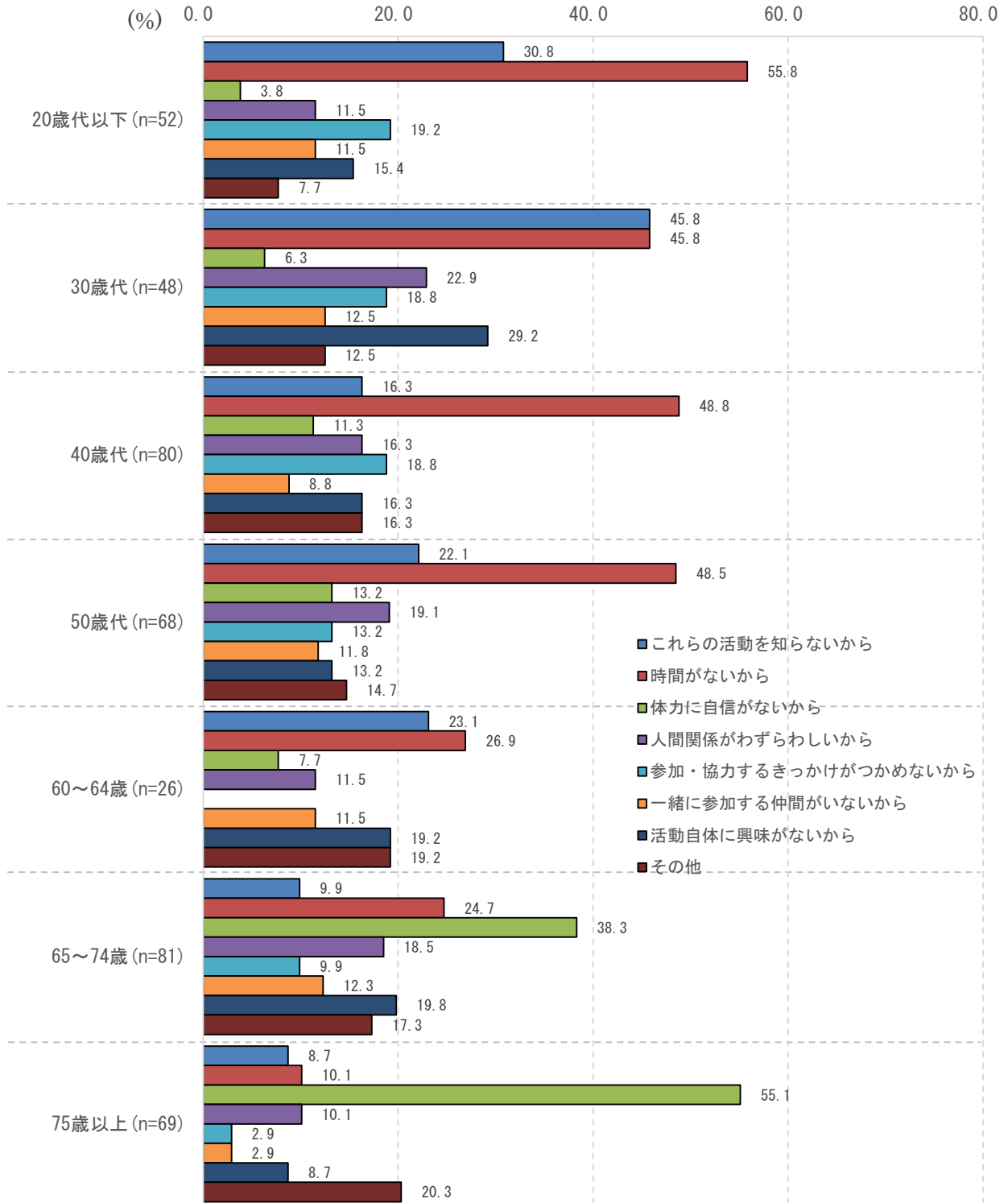
(1) 全体



全体での上位項目を年齢区分で見ると「時間がないから」は年齢の上昇とともに減少傾向にあり、逆に「体力に自信がないから」は年齢の上昇とともに増加傾向にある。

一方、「これらの活動を知らないから」は30歳代をピークに以降年齢の上昇とともに減少傾向にある。

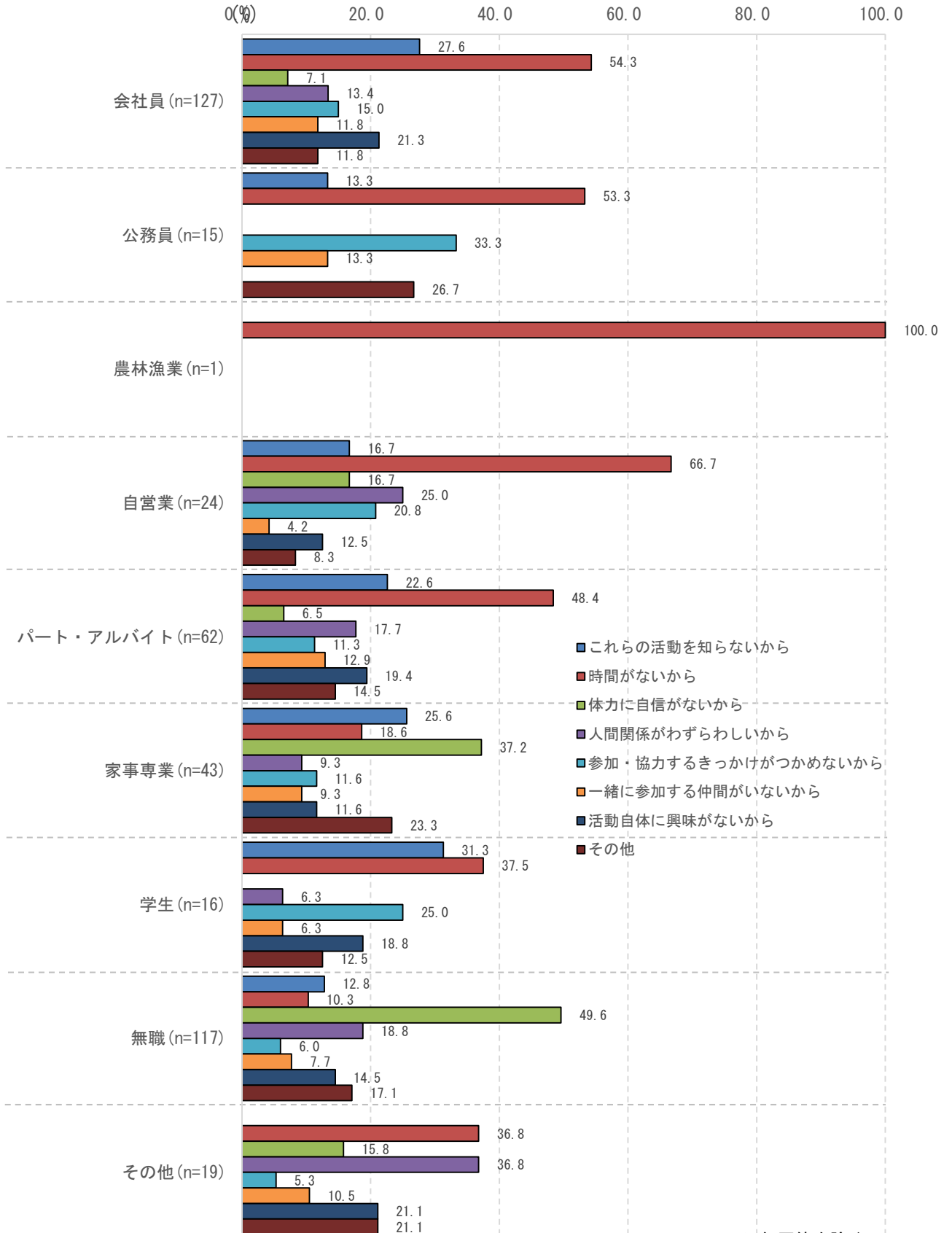
(2) 年齢



※無回答を除く

全体での上位項目を職業区分で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、振れ幅が大きくなっているが、一定母数のある区分で、上位項目の全体との傾向に相違が見られるのは「会社員」・「パート・アルバイト」で「活動自体に興味がないから」が3位項目、「家事専業」・「無職」で「体力に自信がないから」1位項目、「無職」で「人間関係がわずらわしいから」が2位項目となっている。

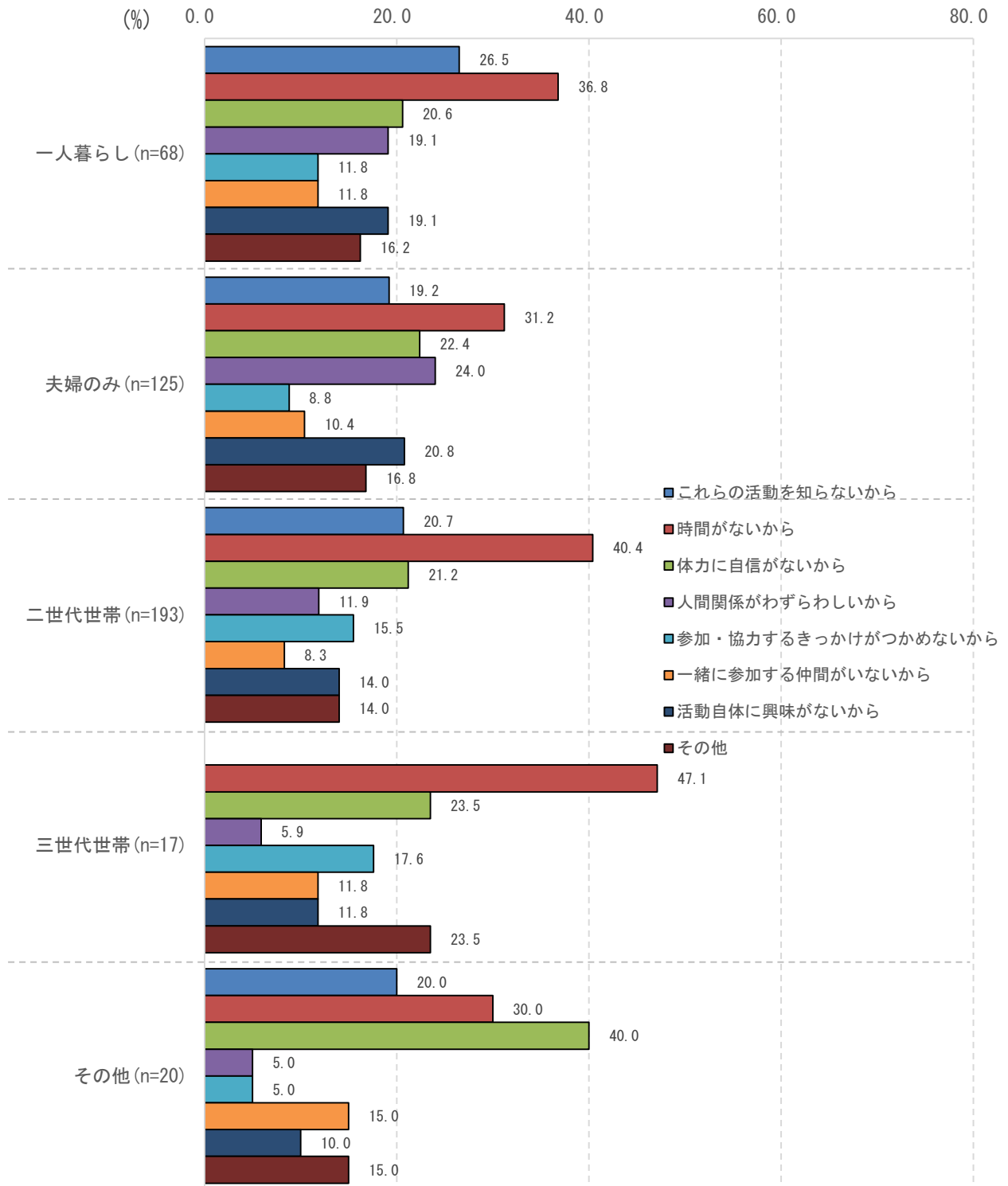
(3) 職業



※無回答を除く

全体での上位項目の世帯構成区分でも母数が少ないものもあるため、一定母数のある区分で、全体との傾向に相違が見られるのは「夫婦のみ」で「人間関係がわずらわしいから」が2位項目となっている。

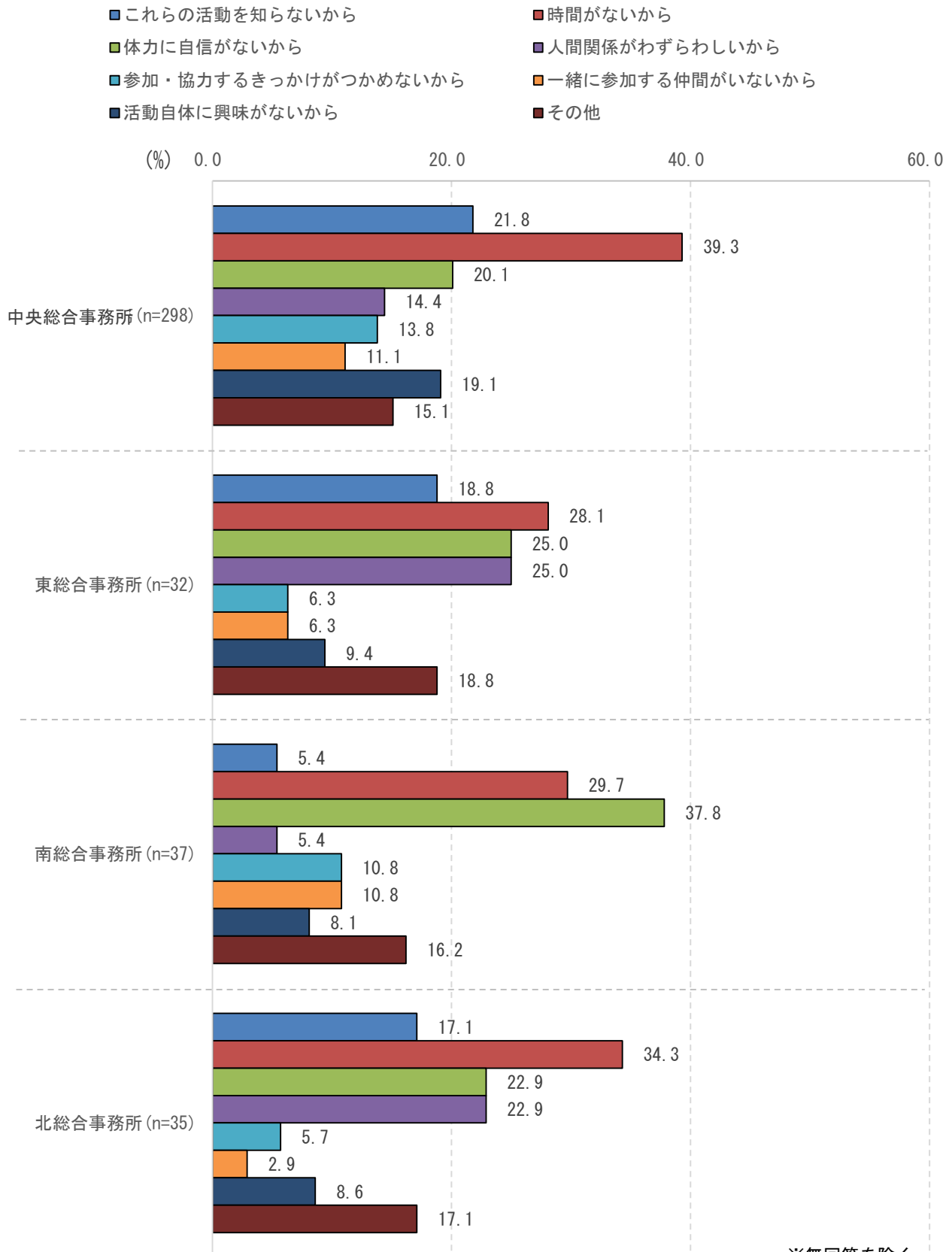
(4) 世帯構成



※無回答を除く

全体での上位項目を居住区域で見ると、全体との傾向に相違が見られるのは、「中央総合事務所」所管区域で「これらの活動を知らないから」が21.8%で2位項目、「東総合事務所」所管区域では25.0%、「北総合事務所」所管区域22.9%で「体力に自信がないから」・「人間関係がわずらわしいから」が2位項目、「南総合事務所」所管区域では「体力に自信がないから」が37.8%で1位項目となっている。

(5) 居住区域



※無回答を除く

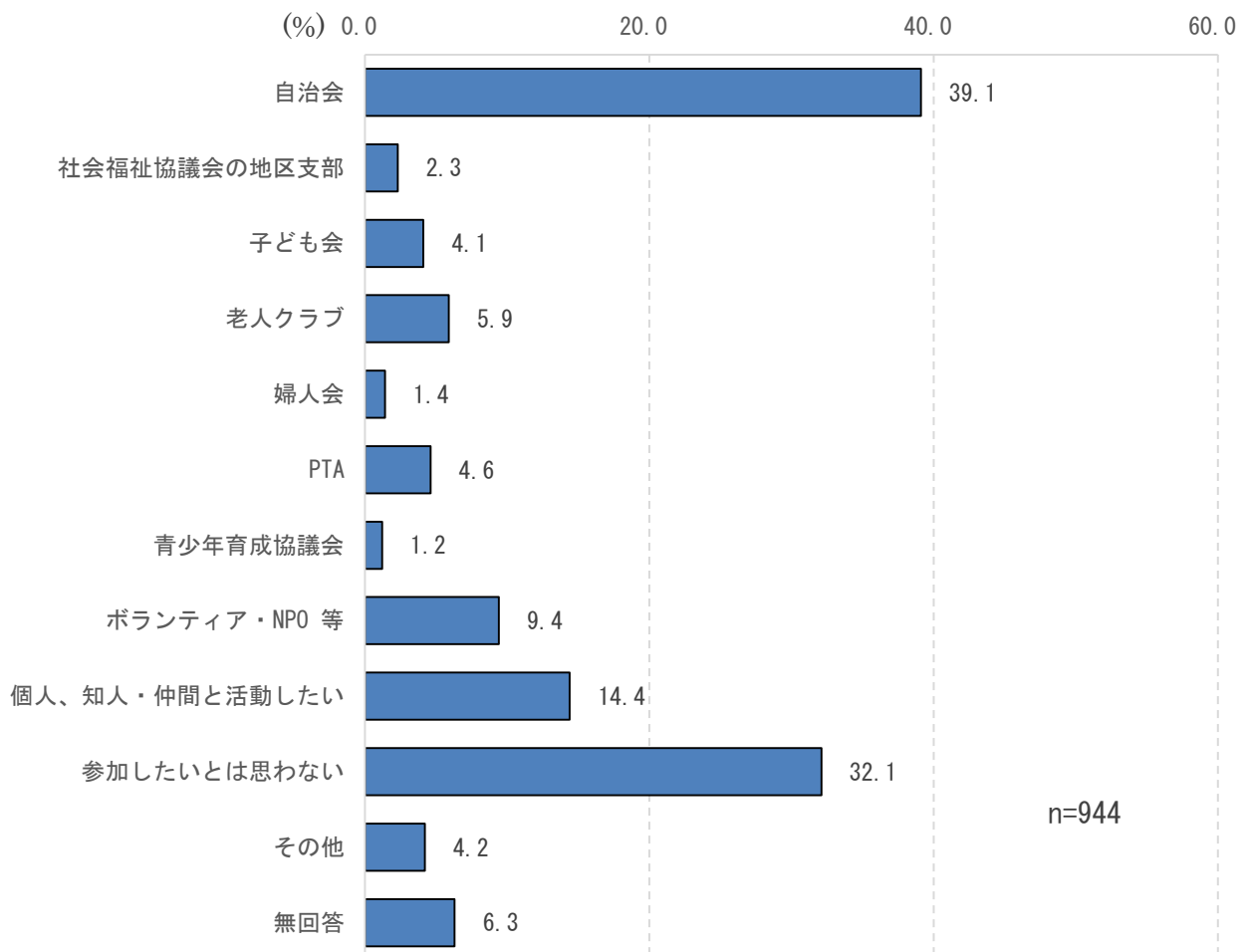
問14 あなたは、今後、次のような地域での活動に参加したいと思いますか。(現在、活動に参加している方は、今後も続けていきたいと考える項目にも○を付けてください。)

【○はあてはまるものすべて】

今後参加したい活動は「自治会」が39.1%で最も多く、次いで「個人、知人・仲間と活動したい」が14.4%、「ボランティア・NPO等」が9.4%と続いている。

一方、「参加したいとは思わない」は32.1%となっており、無回答の6.3%をあわせた38.4%を差し引くと、今後何らかの活動に参加したい(続けていきたい)人は61.6%となる。

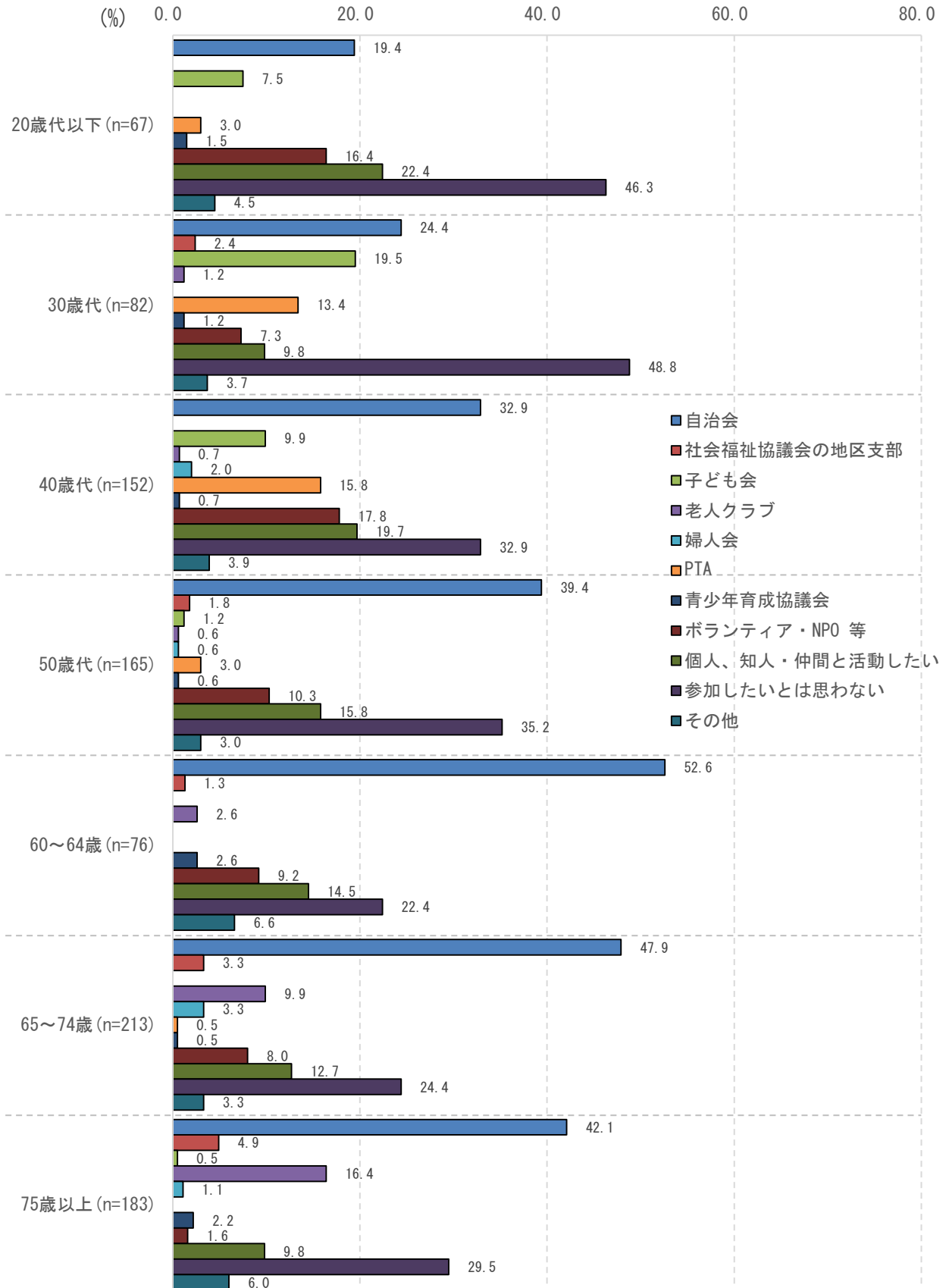
(1) 全体



全体での上位項目を年齢区分で見ると「自治会」は60～64歳まで年齢の上昇とともに増加し、以降減少しており、逆に「個人、知人・仲間と活動したい」「ボランティア・NPO等」は年齢の上昇とともに減少傾向にある。

また、20歳代以下・30歳代で「参加したいとは思わない」が1位項目となっている。

(2) 年齢

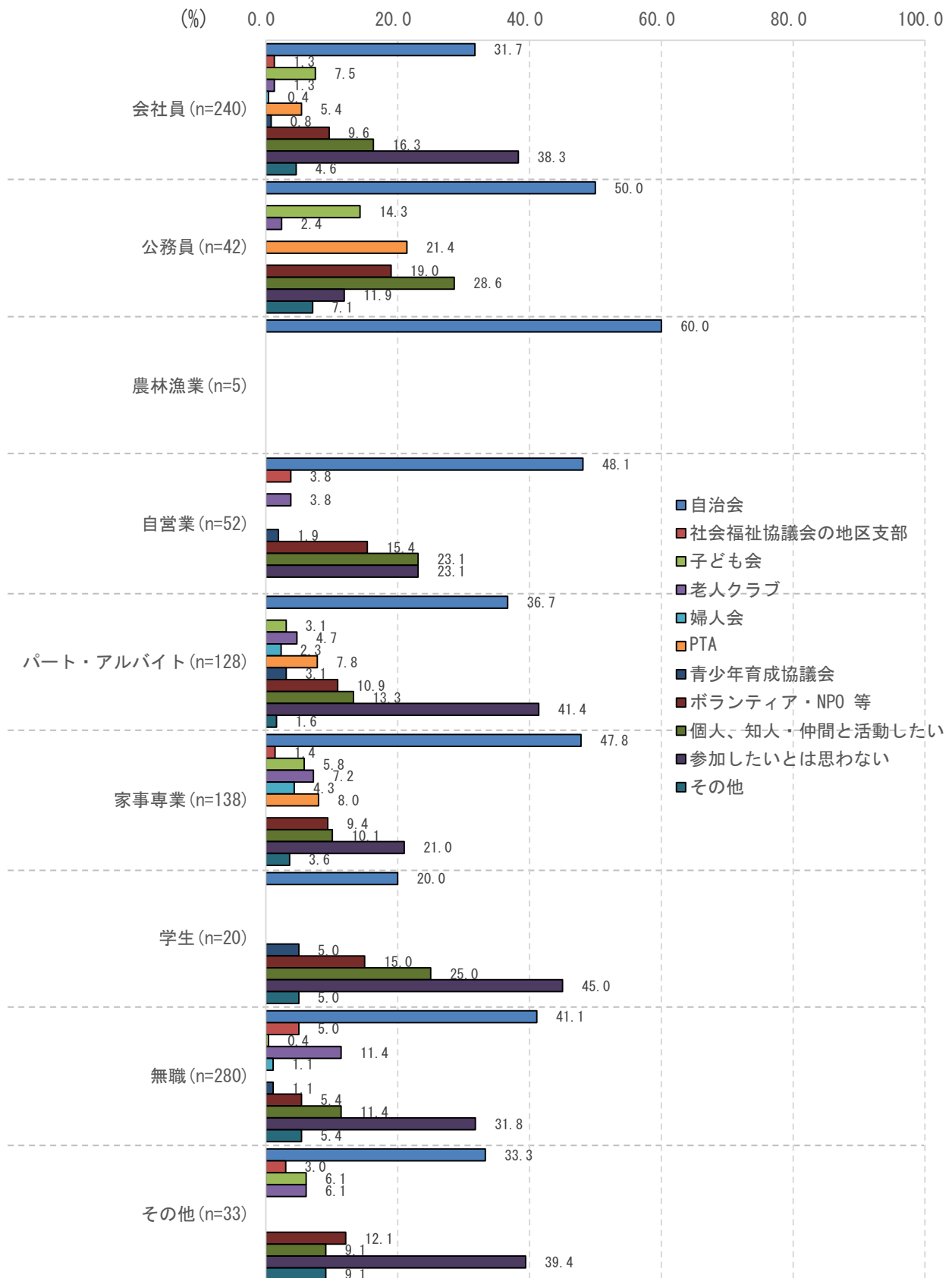


※無回答を除く

全体での上位項目を職業区分で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、振れ幅が大きくなっているが、一定母数のある区分で、上位項目の全体との傾向に相違が見られるのは「無職」で「老人クラブ」が同率2位項目となっている。

一方、「参加したいとは思わない」は「パート・アルバイト」が41.4%で最も多くなっている。

(3) 職業

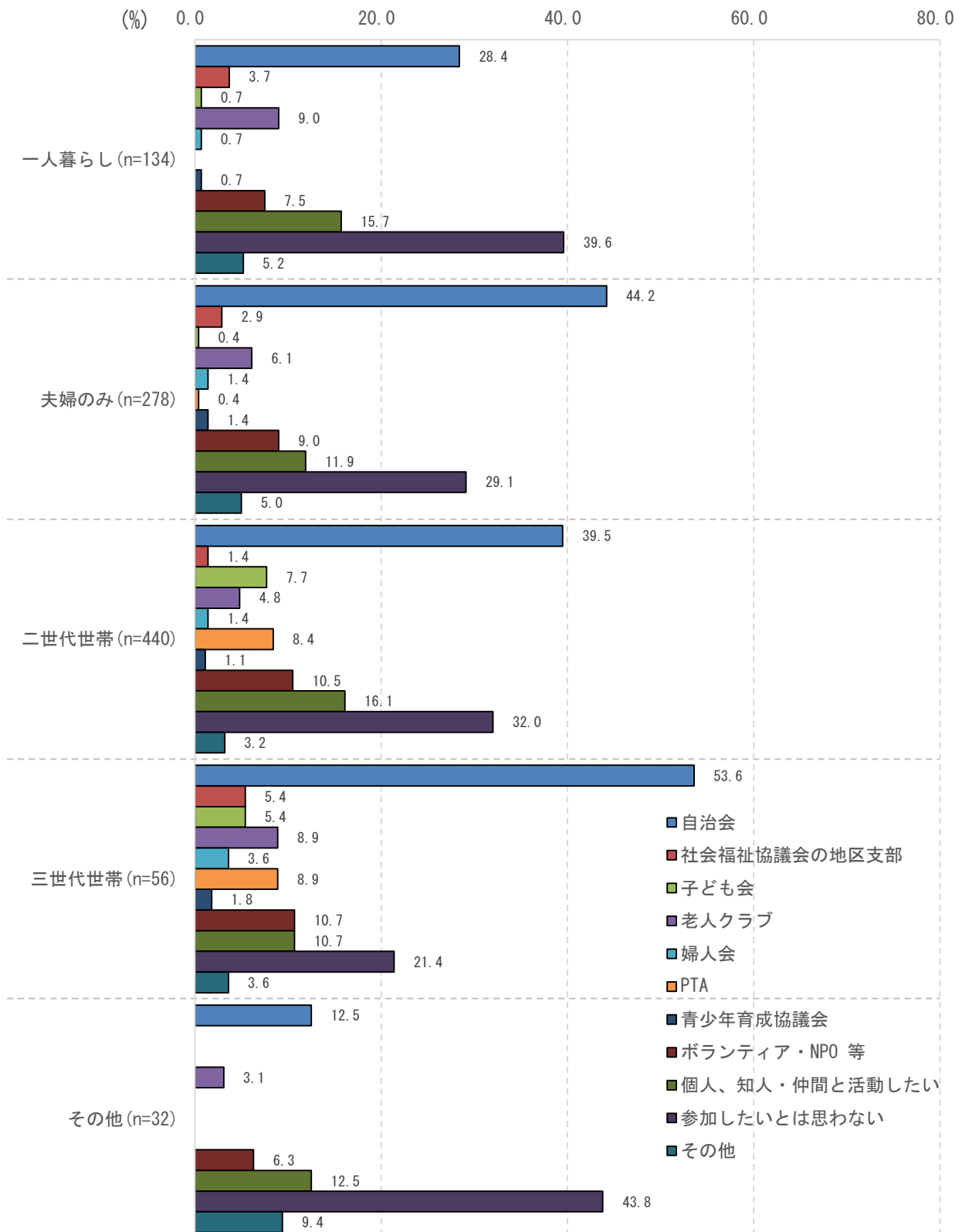


※無回答を除く

全体での上位項目の世帯構成区分でも母数が少ないものもあるため、一定母数のある区分で、全体との傾向に相違見られない。

一方、「参加したいとは思わない」は「一人暮らし」が39.6%で最も多くなっている。

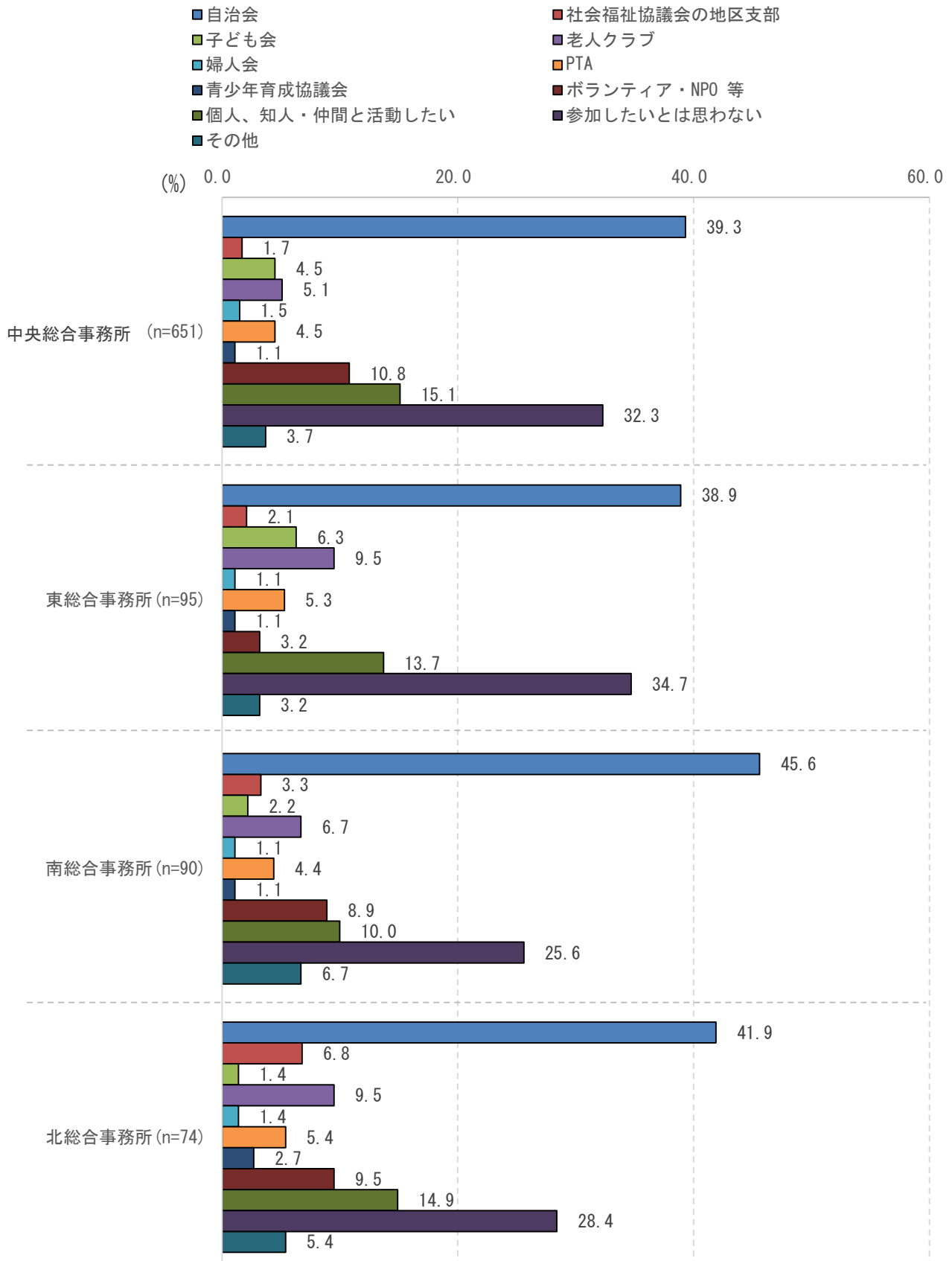
(4) 世帯構成



※無回答を除く

全体の上位項目を居住区域で見ると、全体との傾向の相違は見られない。
 一方、「参加したいとは思わない」は「東総合事務所」所管区域が34.7%で最も多くなっている。

(5) 居住区域



※無回答を除く

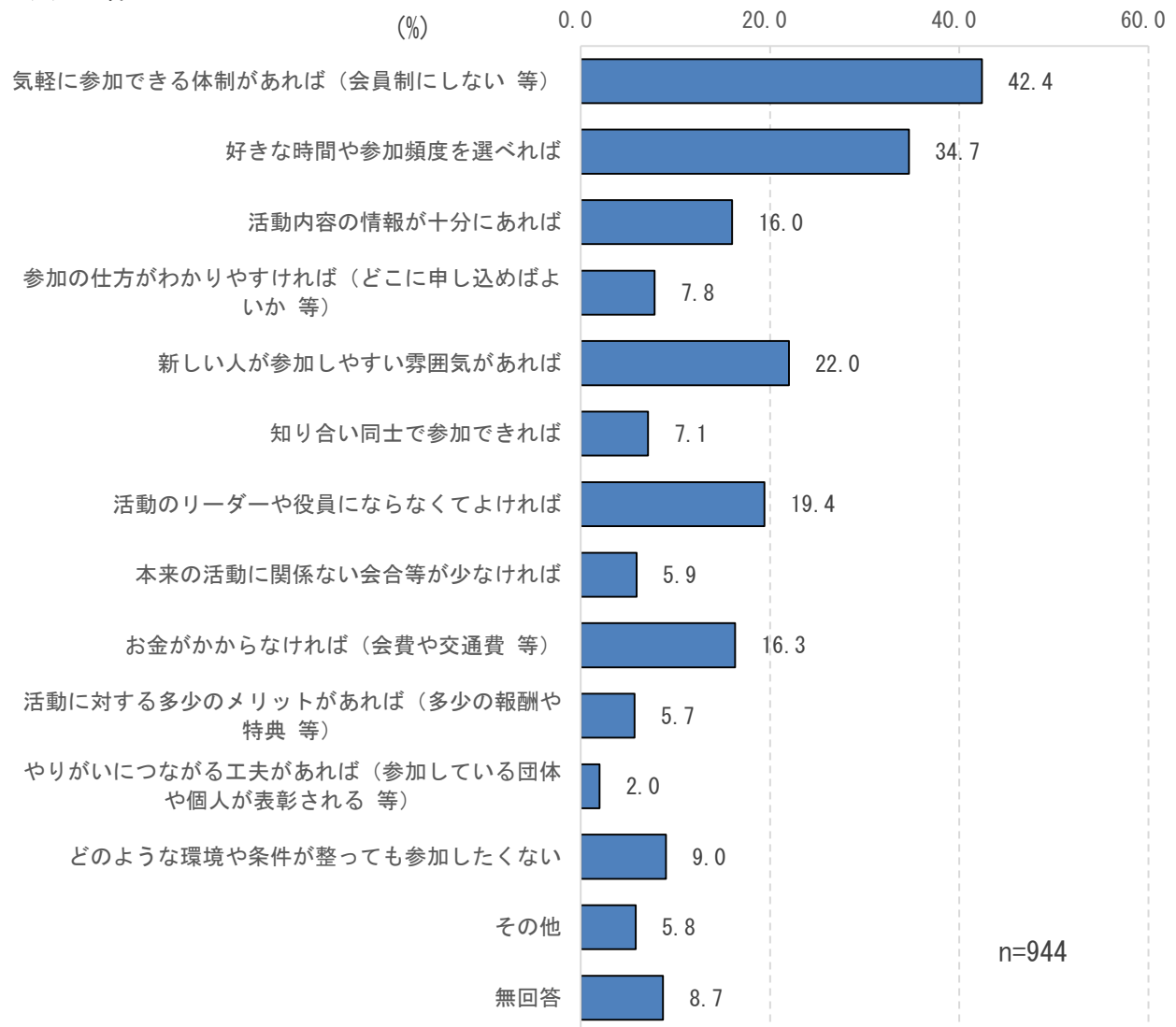
問15 どのような環境や条件があれば、地域の活動に参加しやすいと思いますか。

【〇はあてはまるもの3つまで】

どのような環境や条件があれば、地域の活動に参加しやすいかは「気軽に参加できる体制があれば（会員制にしない等）」が42.4%で最も多く、次いで「好きな時間や参加頻度を選べれば」が34.7%、「新しい人が参加しやすい雰囲気があれば」が22.0%と続いている。

一方、「どのような環境や条件が整っても参加したくない」は9.0%となっている。

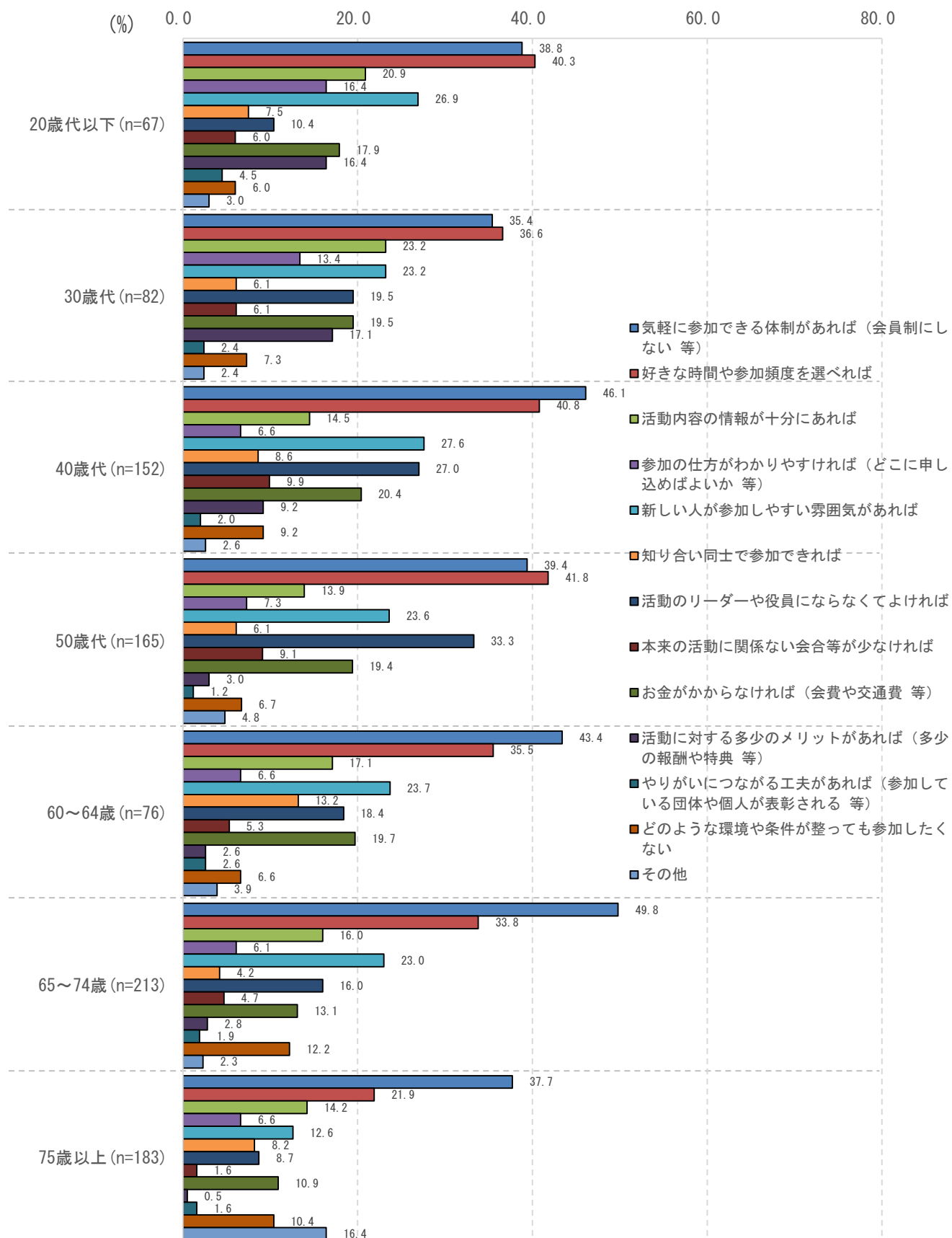
(1) 全体



全体での上位項目を年齢区分で見ると 20 歳代以下・30 歳代・50 歳代で「好きな時間や参加頻度を選べれば」が 1 位項目、50 歳代で「活動のリーダーや役員にならなくてよければ」が 3 位項目となっている。

一方、「どのような環境や条件が整っても参加したくない」も年齢の上昇とともに増加傾向にある。

(2) 年齢

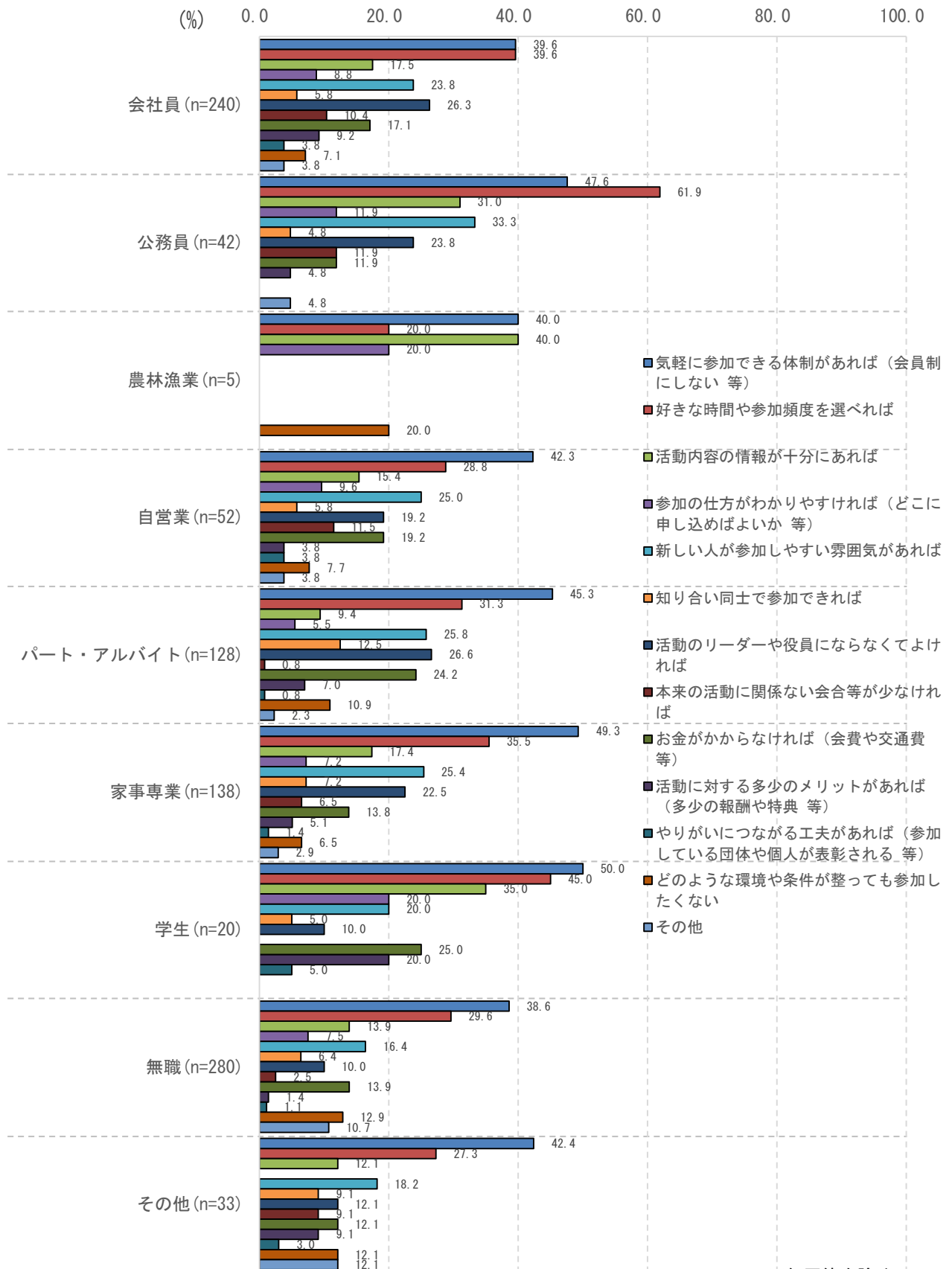


※無回答を除く

全体での上位項目を職業区分で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、振れ幅が大きくなっているが、一定母数のある区分で、上位項目の全体との傾向に相違が見られるのは「会社員」・「パート・アルバイト」で「活動のリーダーや役員にならなくてよければ」が3位項目となっている。

一方、「どのような環境や条件が整っても参加したくない」は「無職」が12.9%で最も多くなっている。

(3) 職業

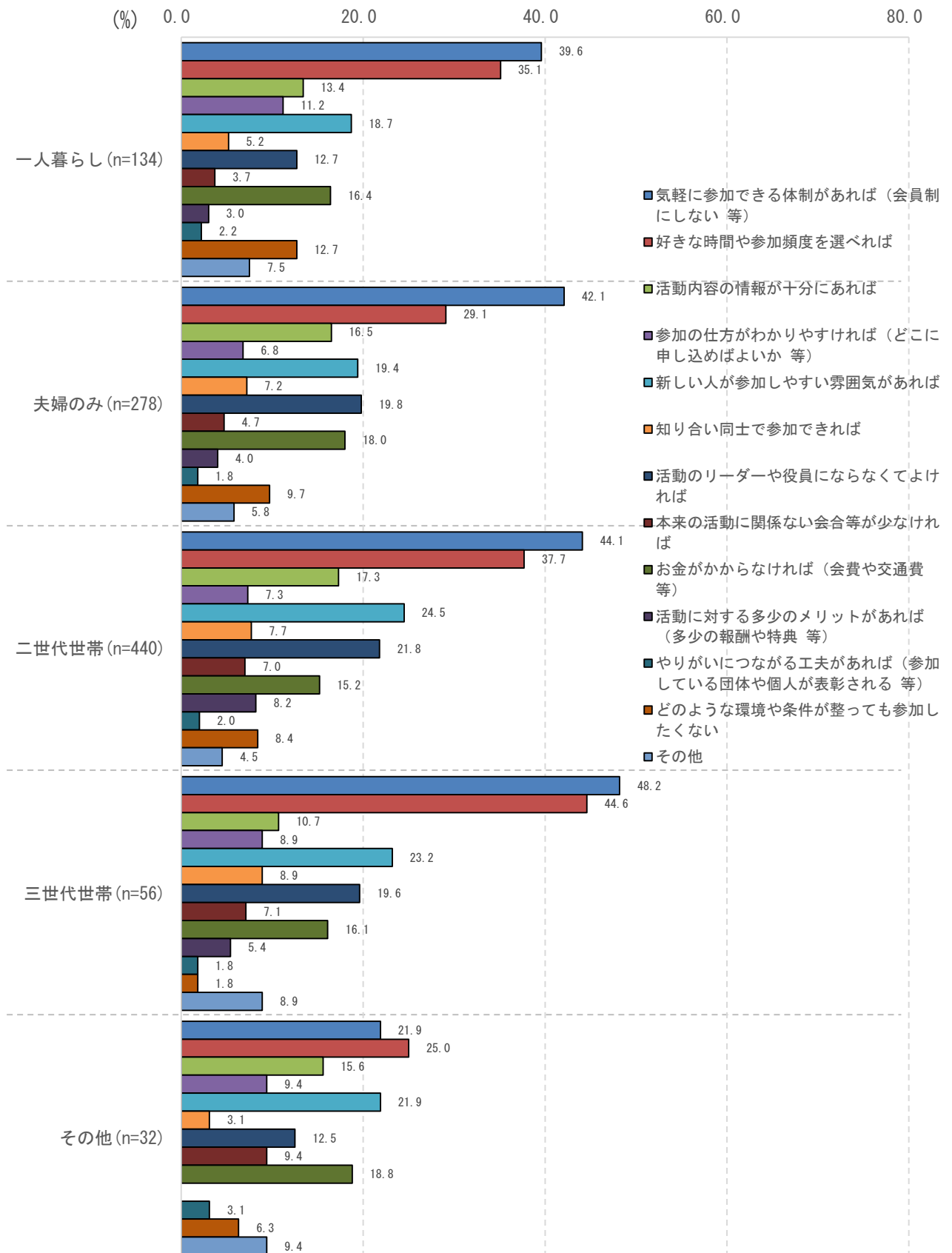


※無回答を除く

全体での上位項目の世帯構成区分でも母数が少ないものもあるため、一定母数のある区分で、上位項目の全体との傾向に相違が見られるのは「夫婦のみ」で「活動のリーダーや役員にならなくてよければ」が3位項目となっている。

一方、「どのような環境や条件が整っても参加したくない」は「一人暮らし」が12.7%で最も多くなっている。

(4) 世帯構成

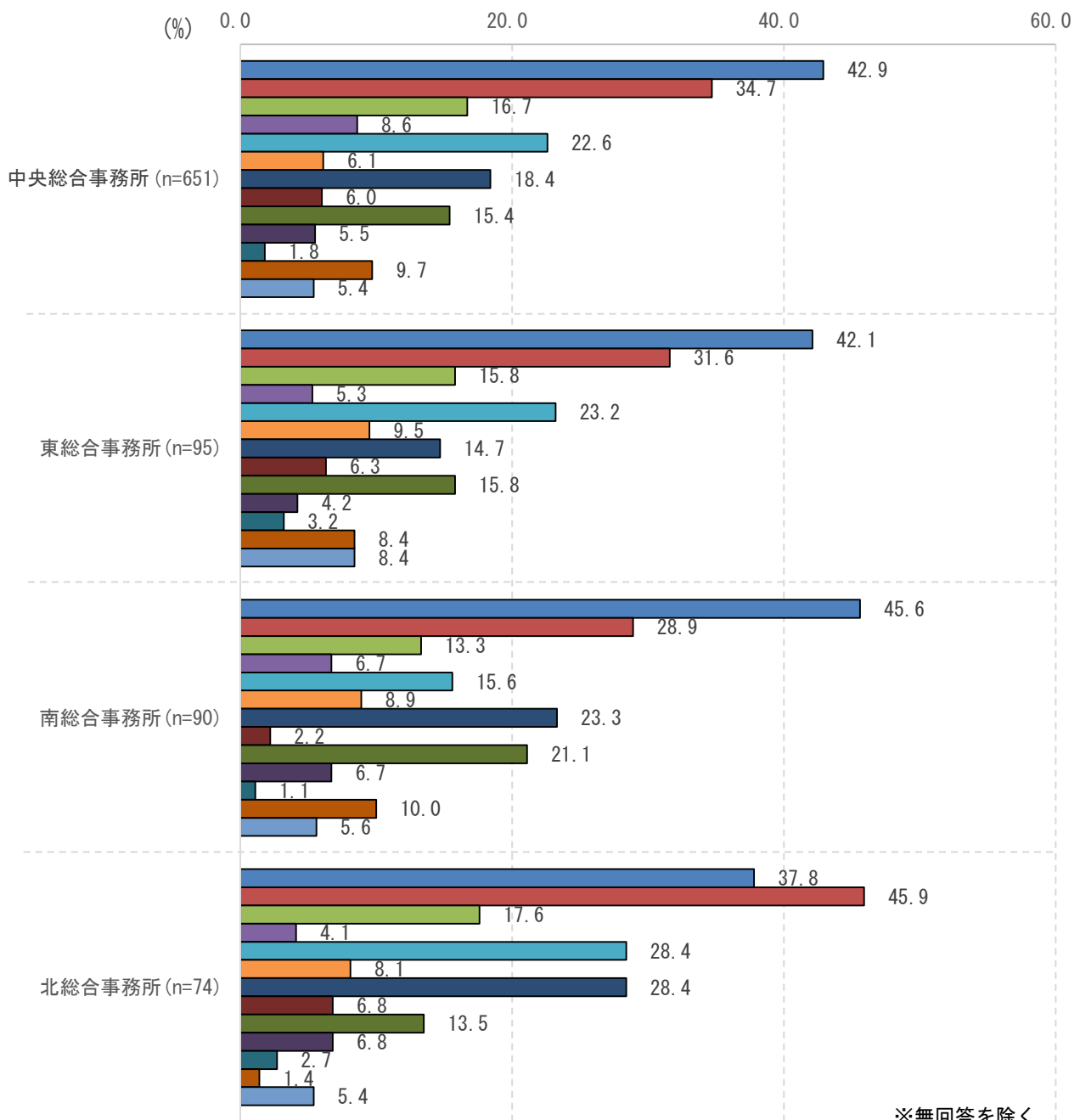


※無回答を除く

全体での上位項目を居住区域で見ると、相違するのは「南総合事務所」所管区域で「活動のリーダーや役員にならなくてよければ」が23.3%で3位項目、「北総合事務所」所管区域で「好きな時間や参加頻度を選べれば」が45.9%で1位項目となっている。

(5) 居住区域

- 気軽に参加できる体制があれば（会員制にしない 等）
- 好きな時間や参加頻度を選べれば
- 活動内容の情報が十分にあれば
- 参加の仕方がわかりやすければ（どこに申し込めばよいか 等）
- 新しい人が参加しやすい雰囲気があれば
- 知り合い同士で参加できれば
- 活動のリーダーや役員にならなくてよければ
- 本来の活動に関係ない会合等が少なければ
- お金がかからなければ（会費や交通費 等）
- 活動に対する多少のメリットがあれば（多少の報酬や特典 等）
- やりがいにつながる工夫があれば（参加している団体や個人が表彰される 等）
- どのような環境や条件が整っても参加したくない
- その他



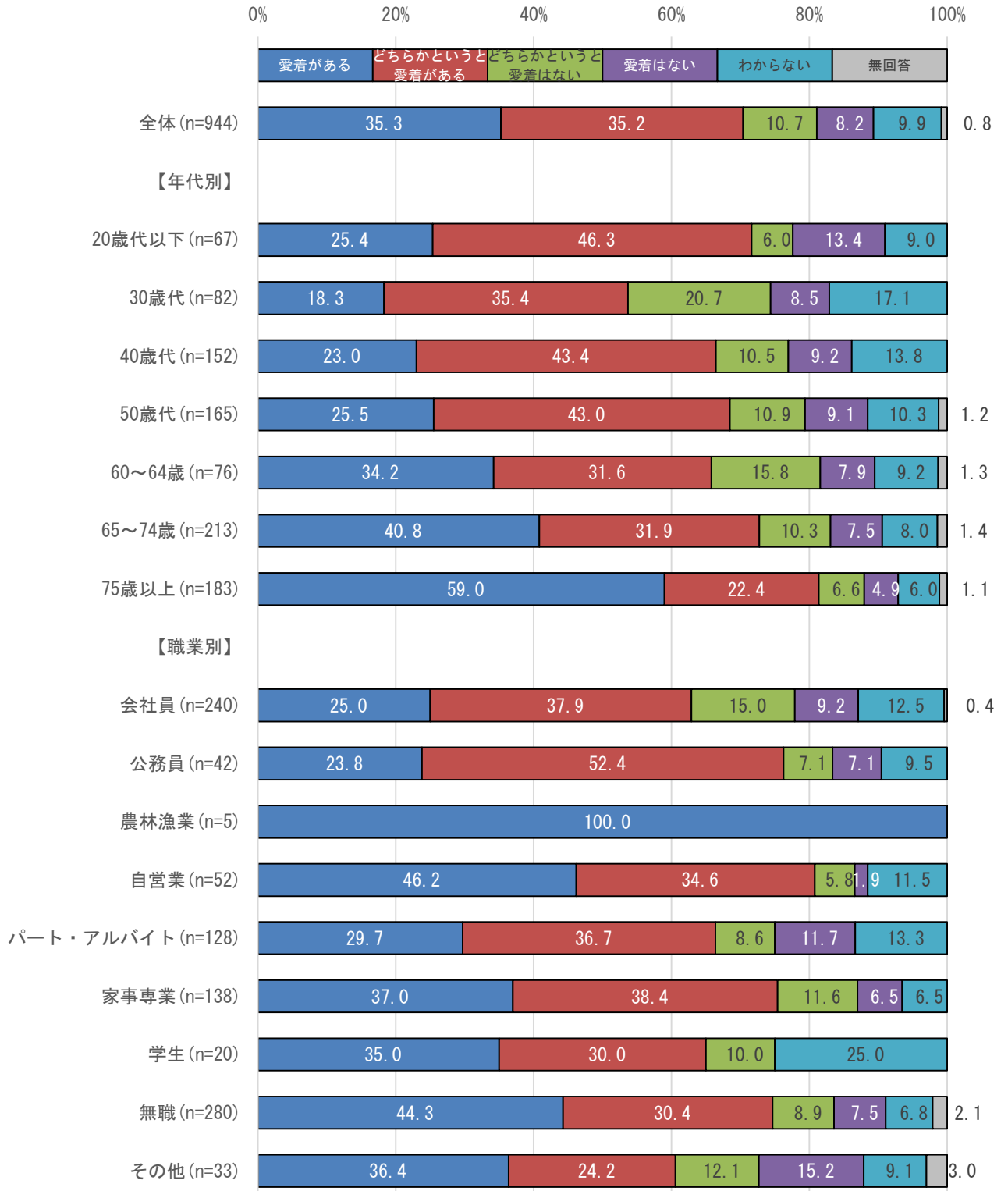
5. お住まいの地域について

問16 (1) あなたは、お住まいの地域に愛着がありますか。【〇は1つまで】

全体では「愛着がある」が35.3%で最も多く、次いで「どちらかというとな愛着がある」が35.2%、「どちらかというとな愛着はない」10.7%と続いており、「愛着を持っている（「愛着がある」+「どちらかというとな愛着がある」）」と回答したのは70.5%であった。

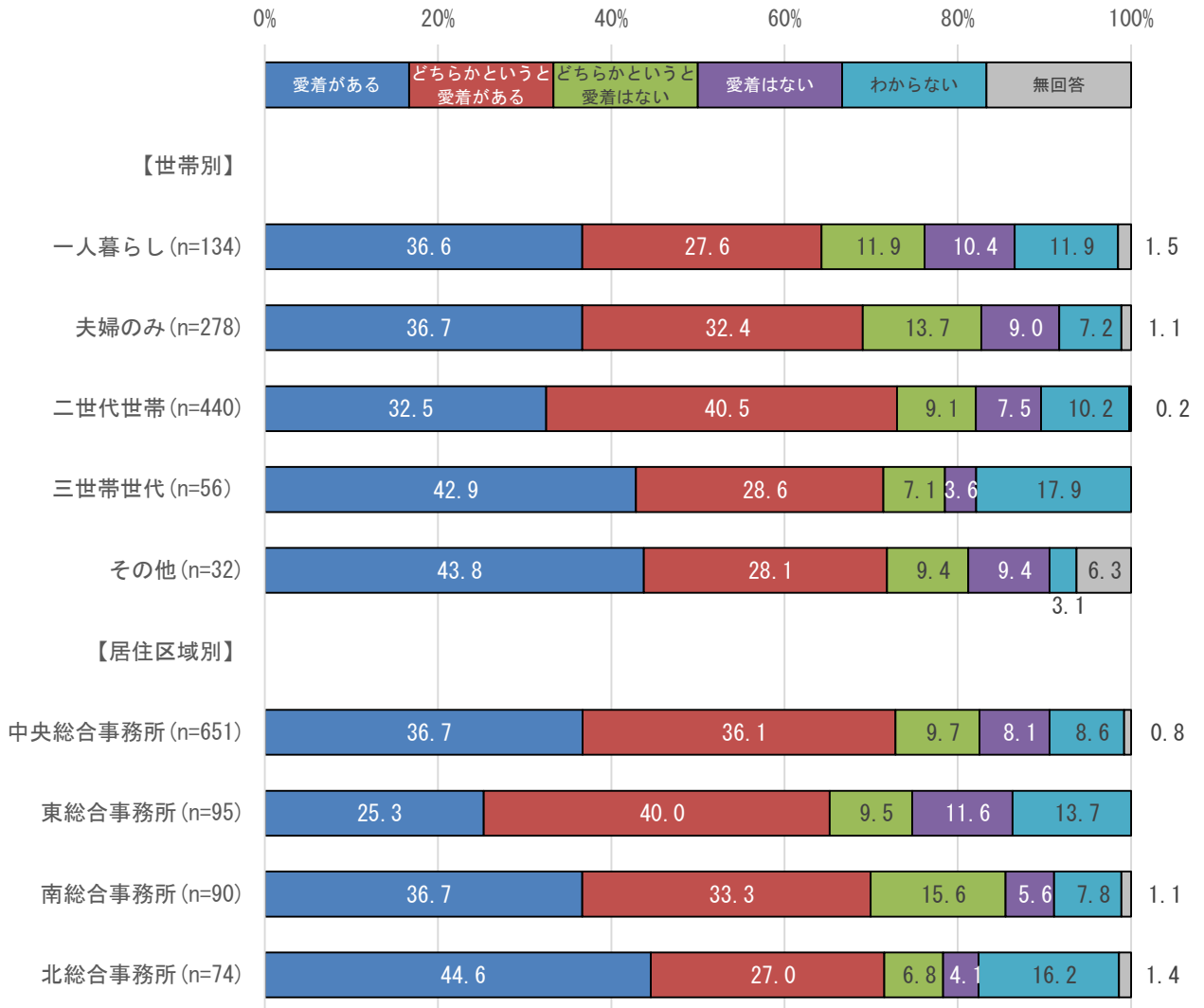
年齢別では「愛着を持っている」と回答する割合は「75歳以上」は81.4%と最も多く、次いで「65～74歳」が72.7%、「20歳代以下」が71.7%と続いている。

職業別で一定数の母数を持つものの中で「家事専業」が75.4%で最も多くなっている。



世帯構成では「二世帯世帯」が73.0%で最も多くなっている。

全体での上位項目を居住区域で見ると、「東総合事務所」所管区域で「どちらかという愛着がある」が40.0%で1位項目、「愛着はない」が11.6%で3位項目となっており、「愛着を持っている」と回答する割合が最も多かったのは「中央総合事務所」所管区域の72.8%であった。

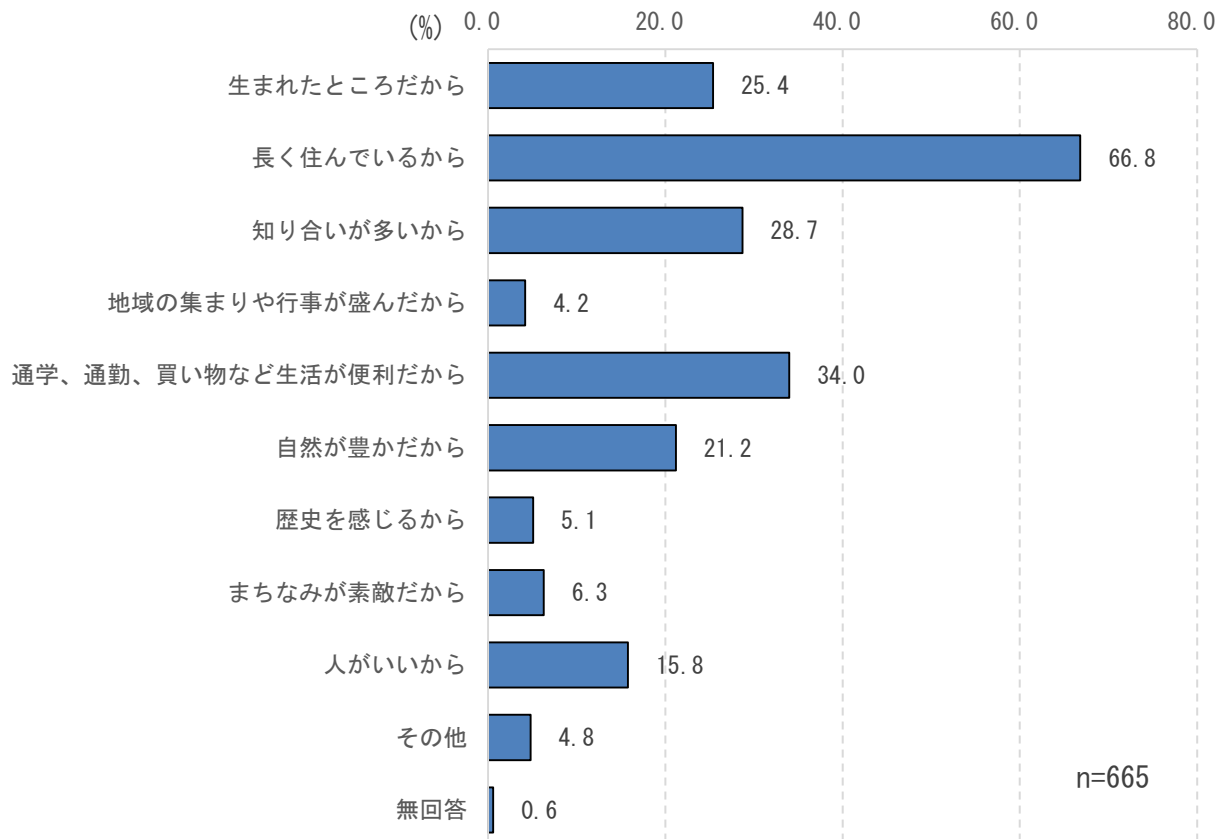


問16(2) [(1)で、1. 愛着がある、2. どちらかというとな愛着がある、と答えた方にお聞きします]

その理由は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】

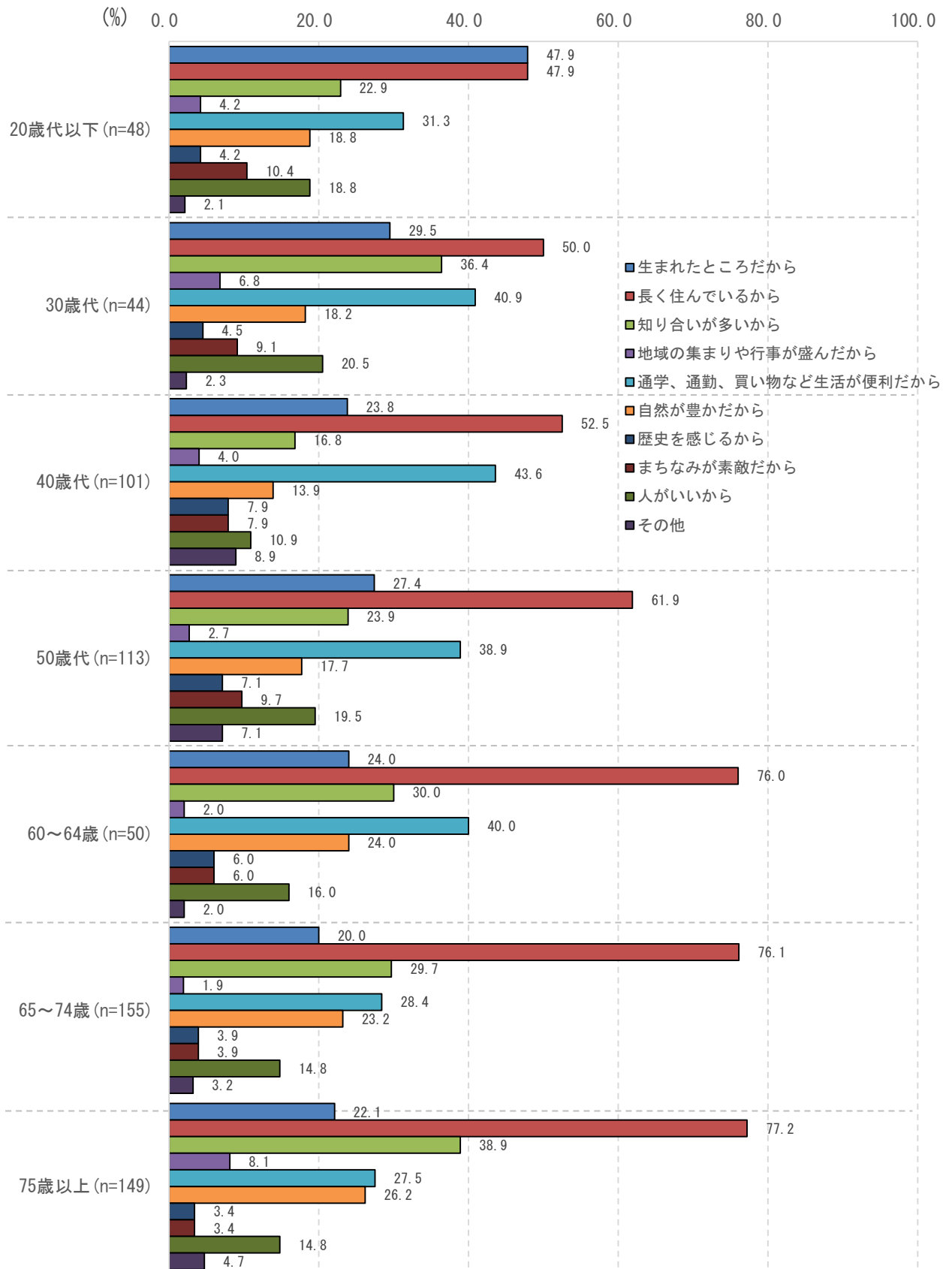
「愛着を持っている」理由は「長く住んでいるから」が66.8%で最も多く、次いで「通学、通勤、買い物など生活が便利だから」が34.0%、「知り合いが多いから」が28.7%が続いている。

(1) 全体



全体での上位項目を年齢区分で見ると「長く住んでるから」は年齢の上昇とともに増加傾向が見られ、「65～74歳」と「75歳以上」は「知り合いが多いから」が2項目となっている。

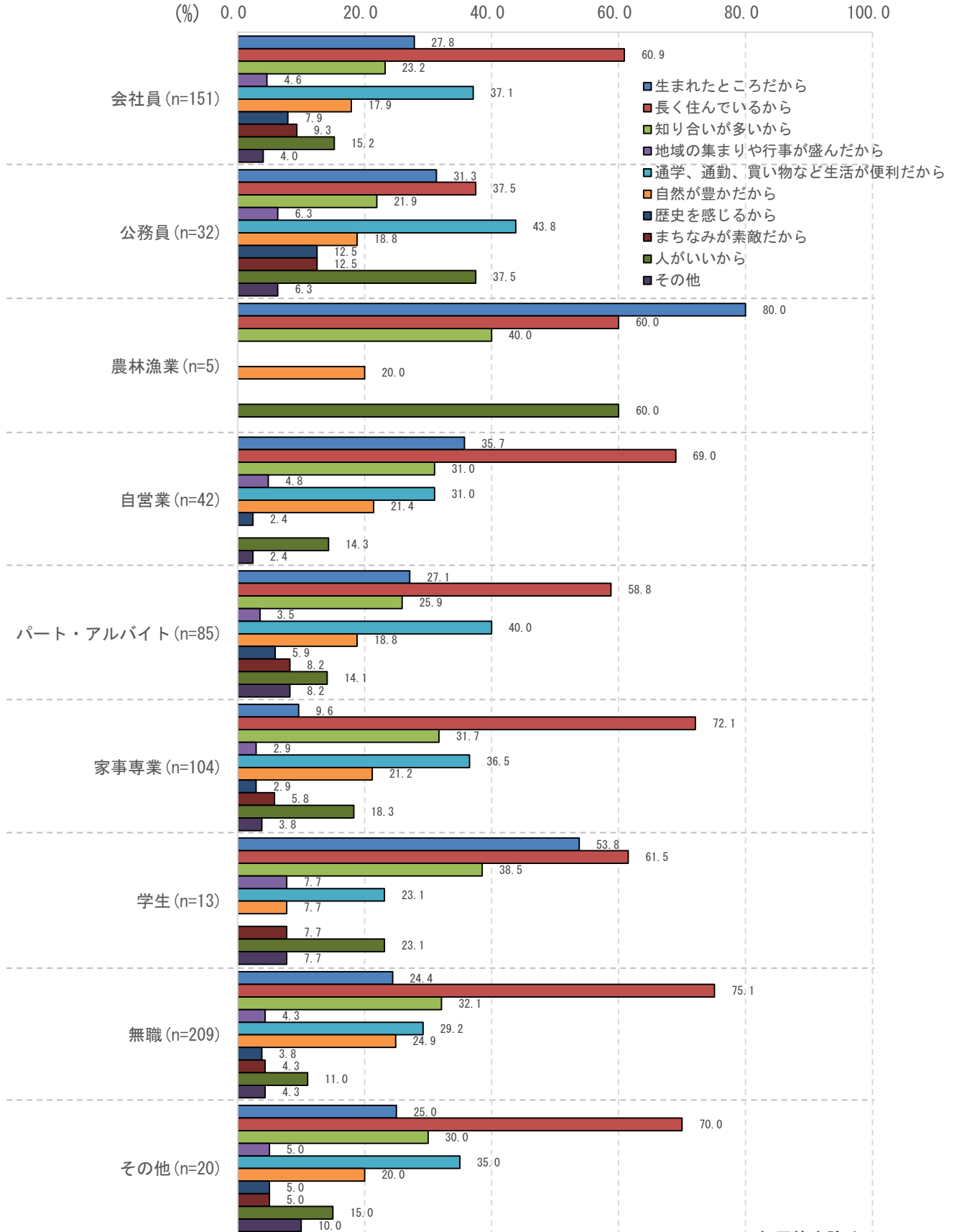
(2) 年齢



※無回答を除く

全体での上位項目を職業区分で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、振れ幅が大きくなっているが、一定母数のある区分で、上位項目の全体との傾向に相違が見られるのは「会社員」は「生まれたところだから」が3位項目、「無職」は「知り合いが多いから」が2位項目となっている。

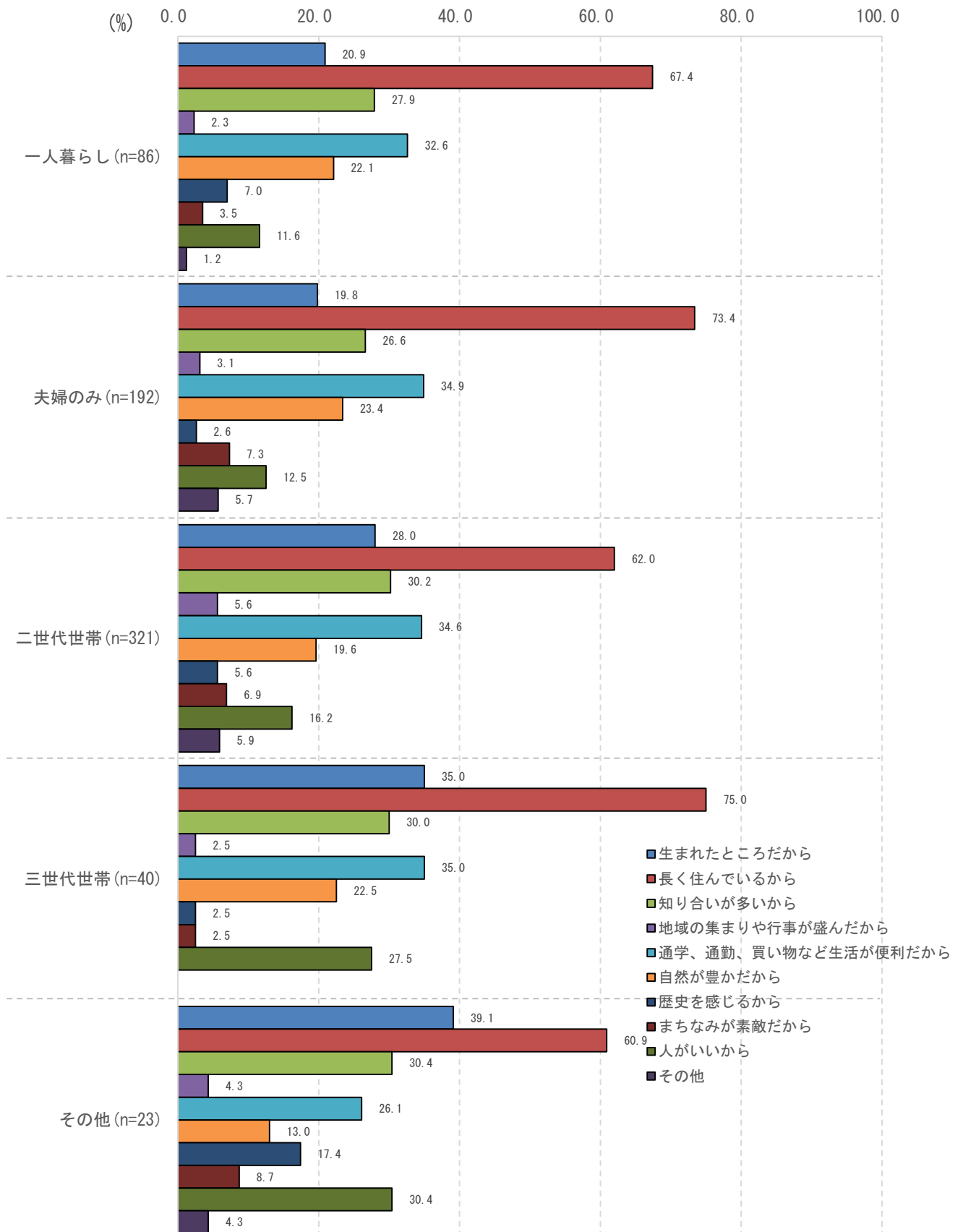
(3) 職業



※無回答を除く

全体での上位項目の世帯構成区分でも母数が少ないものもあるため、一定母数のある区分で、全体との傾向に相違は見られない。

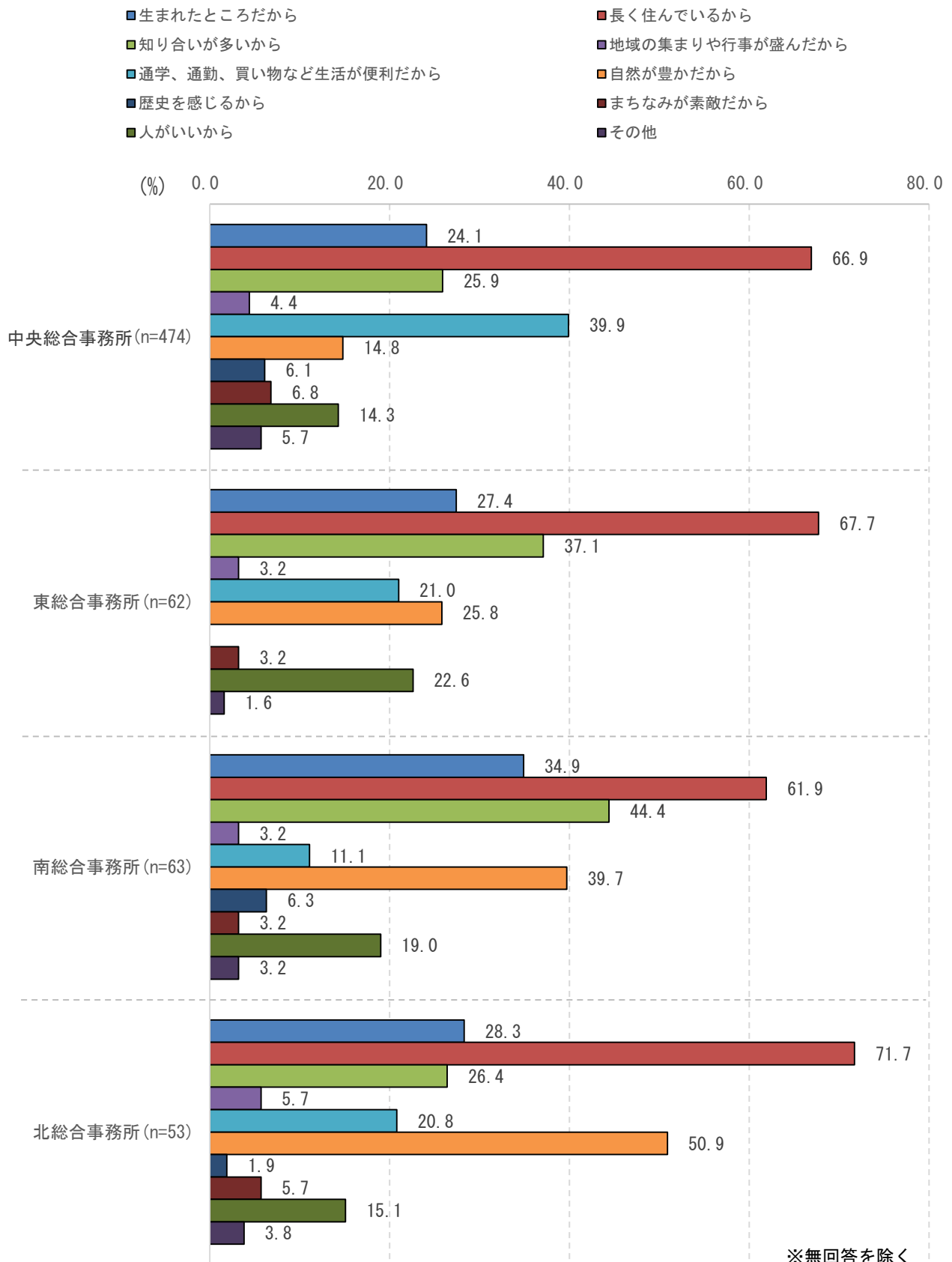
(4) 世帯構成



※無回答を除く

全体の上位項目を居住区域で見ると、全体との傾向に相違が見られるのは「東総合事務所」所管区域で「知り合いが多いから」が37.1%で2位項目、「南総合事務所」所管区域で「知り合いが多いから」が44.4%で2位項目、「自然が豊かだから」が39.7%で3位項目となり、「北総合事務所」所管区域では「自然が豊かだから」が50.9%で2位項目、「生まれたところだから」が28.3%で3位項目となっている。

(5) 居住区域

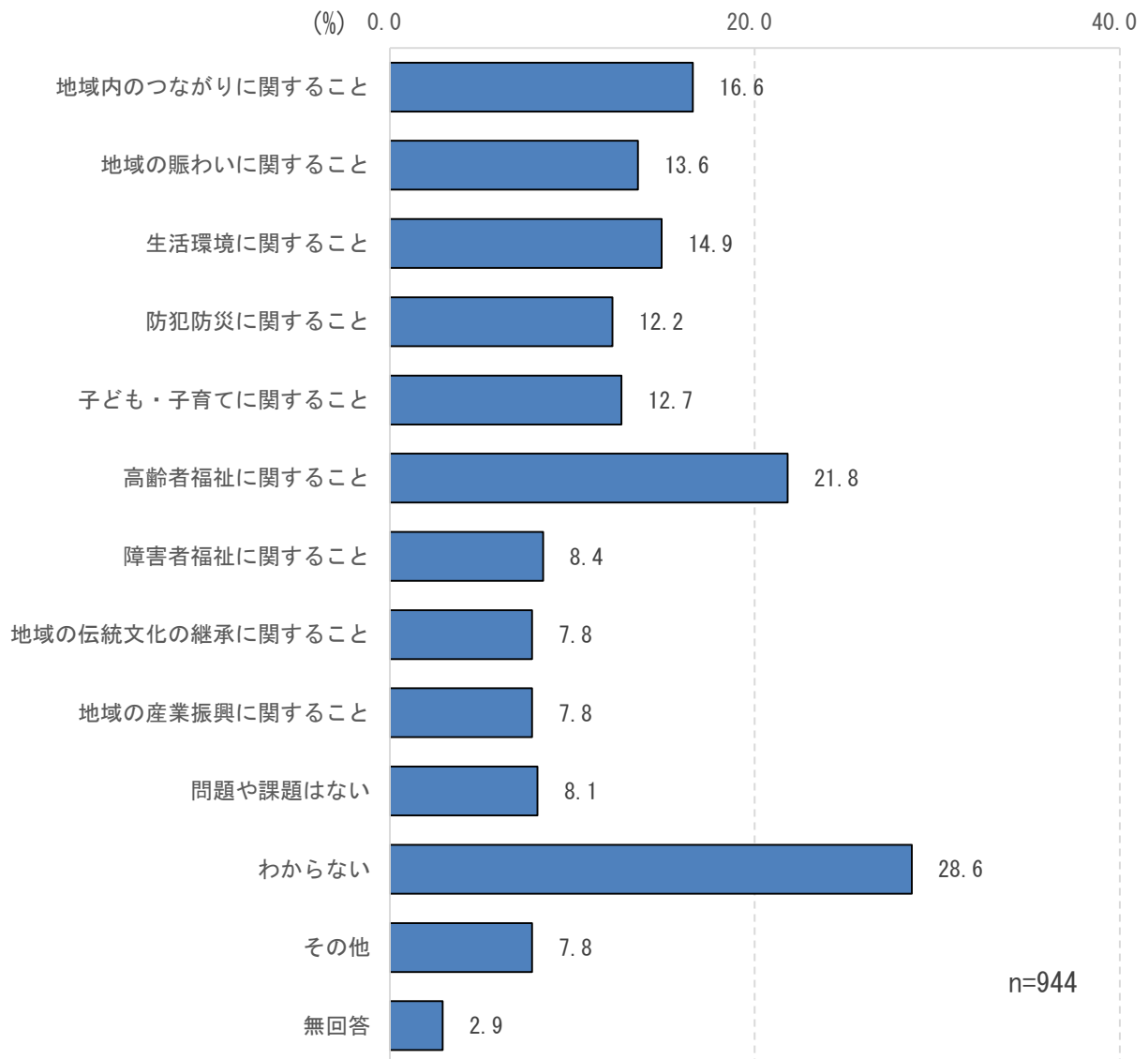


問17 あなたが住んでいる地域には、どのような問題や課題がありますか。

【〇はあてはまるものすべて】

住んでいる地域の問題や課題は「高齢者福祉に関すること」が21.8%で最も多く、次いで「地域内のつながりに関すること」が16.6%、「生活環境に関すること」が14.9%が続いている。一方、「わからない」が28.6%、「課題や問題はない」が8.1%となっている。

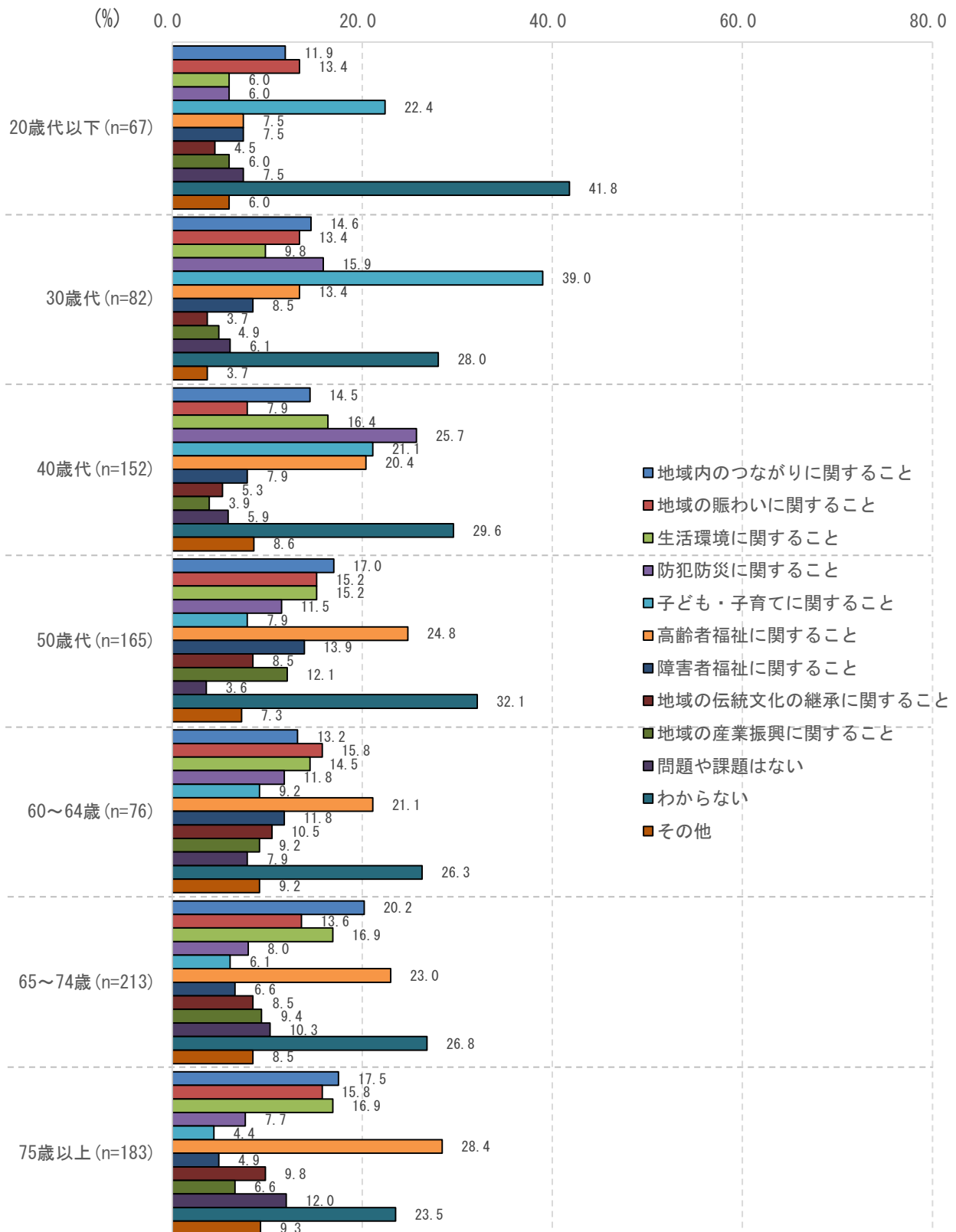
(1) 全体



全体での上位項目を年齢区分で見ると「高齢者福祉に関すること」・「地域内のつながりに関すること」・「生活環境に関すること」は年齢の上昇とともに増加傾向が見られる。

また、全体での上位項目での相違が見られるのは、「20歳代以下」は「子ども・子育てに関すること」1位項目、「地域の賑わいに関すること」が2位項目となっている。「30歳代」は「子ども・子育てに関すること」1位項目、「防犯防災に関すること」が2位項目、「40歳代」は「防犯防災に関すること」1位項目、「子ども・子育てに関すること」が2位項目となっている。

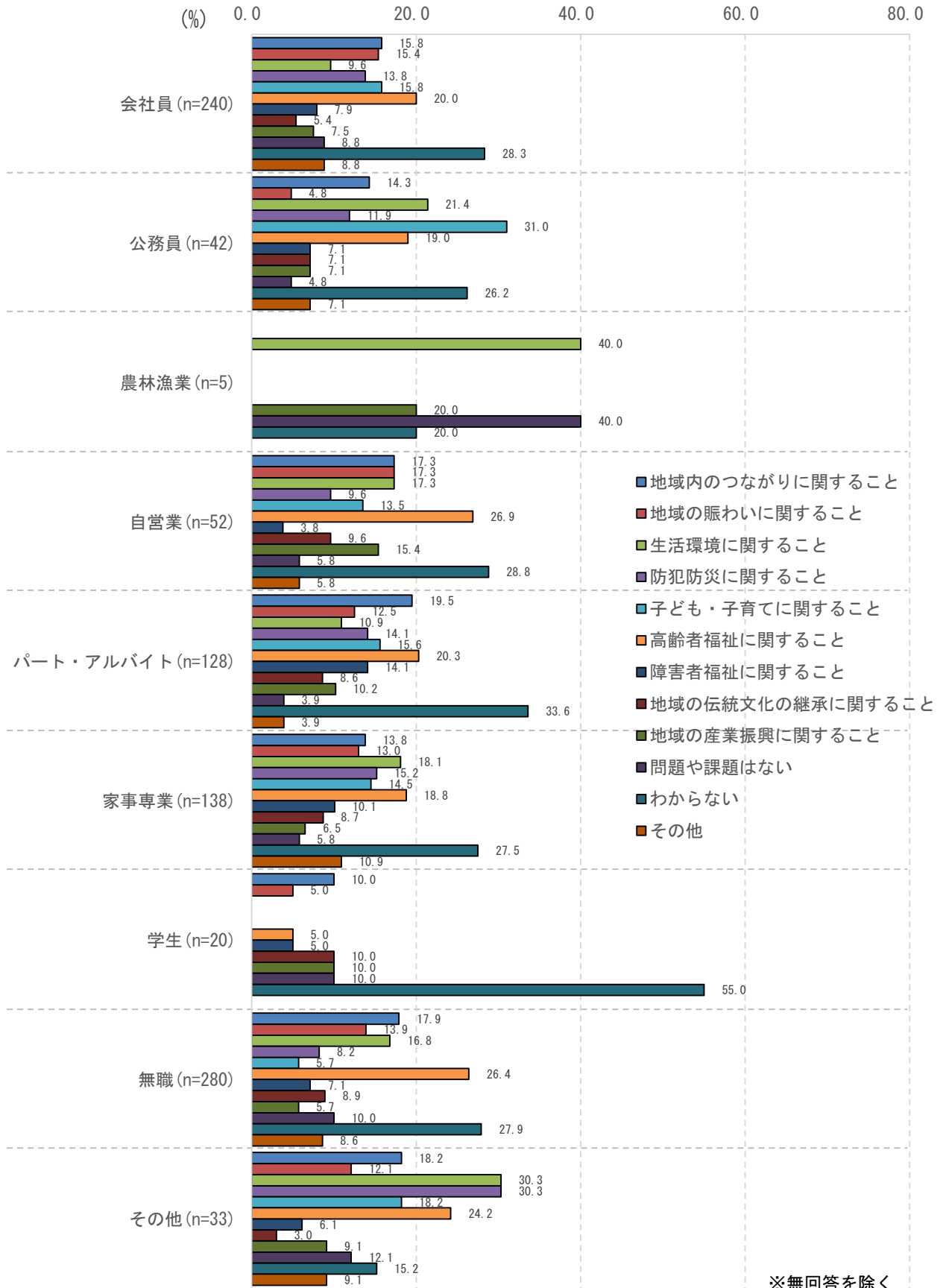
(2) 年齢



※無回答を除く

全体での上位項目を職業区分で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、振れ幅が大きくなっているが、一定母数のある区分で、上位項目の全体との傾向に相違が見られるのは「子ども・子育てに関すること」が「会社員」は同率で2位項目、「パート・アルバイト」は3位項目となっており、「家事専業」は「防犯防災に関すること」が3位項目となっている。

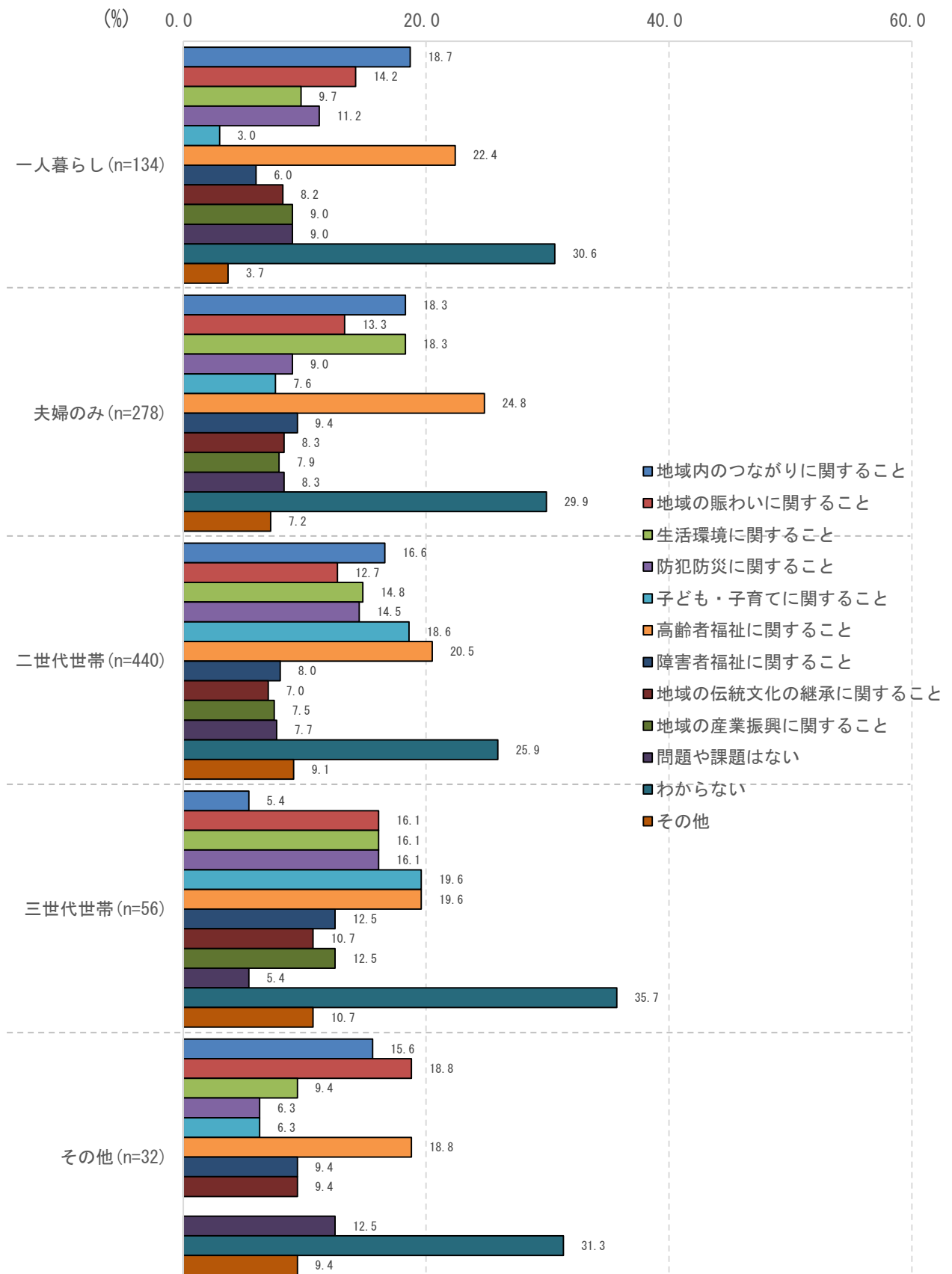
(3) 職業



※無回答を除く

全体での上位項目の世帯構成区分でも母数が少ないものもあるため、一定母数のある区分で、全体との傾向に相違は「二世帯世帯」で「子ども・子育てに関すること」が2位項目となっており、「一人暮らし」では「地域の賑わいに関すること」が3位項目となっている。

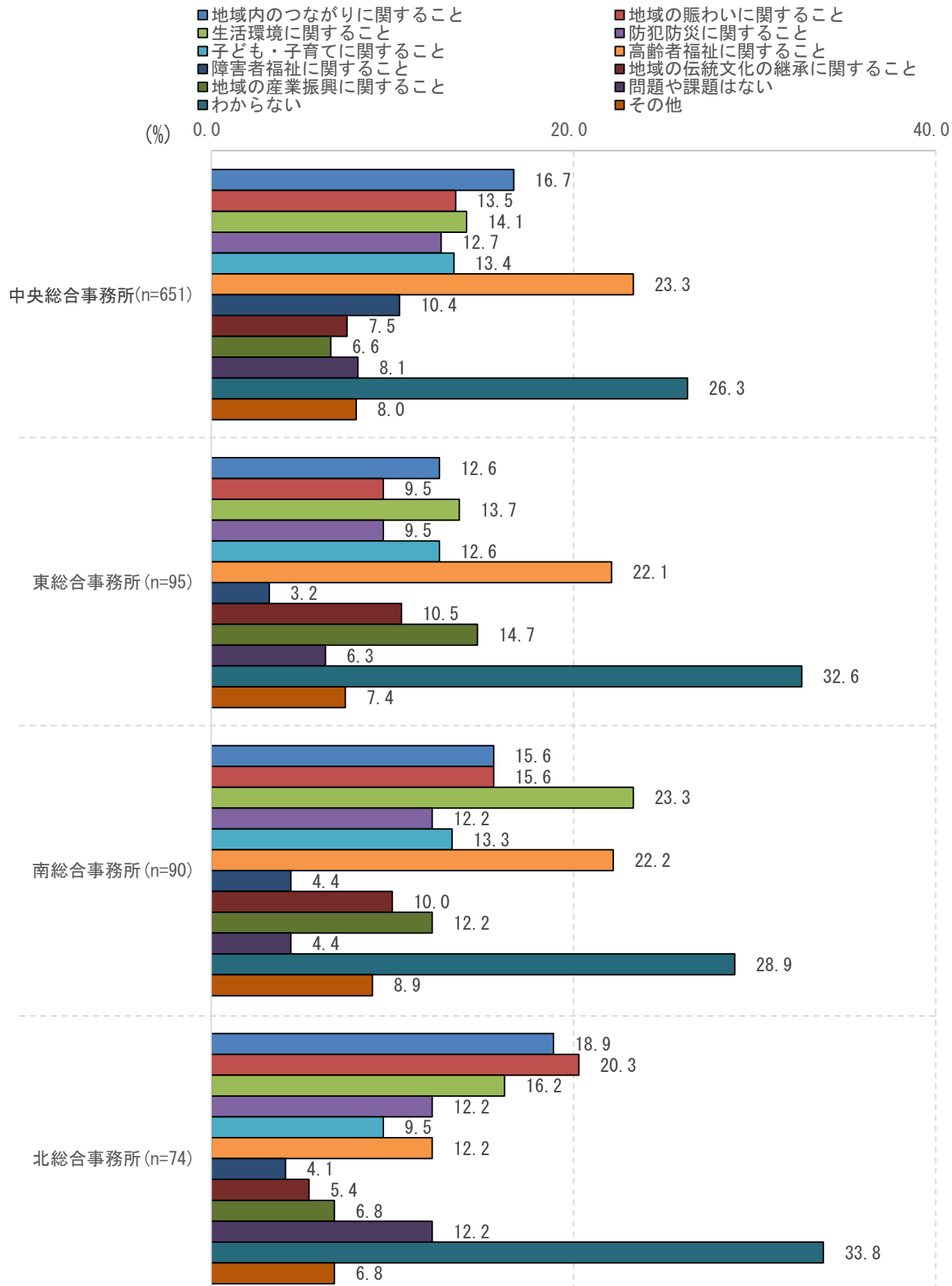
(4) 世帯構成



※無回答を除く

全体での上位項目を居住区域で見ると、全体との傾向に相違が見られるのは、「東総合事務所」所管区域で「地域の産業振興に関すること」が14.7%で2位項目、「南総合事務所」所管区域で「生活環境に関すること」が23.3%で1位項目、「北総合事務所」所管区域で「地域の賑わいに関すること」が20.3%で1位項目となっている。

(5) 居住区域

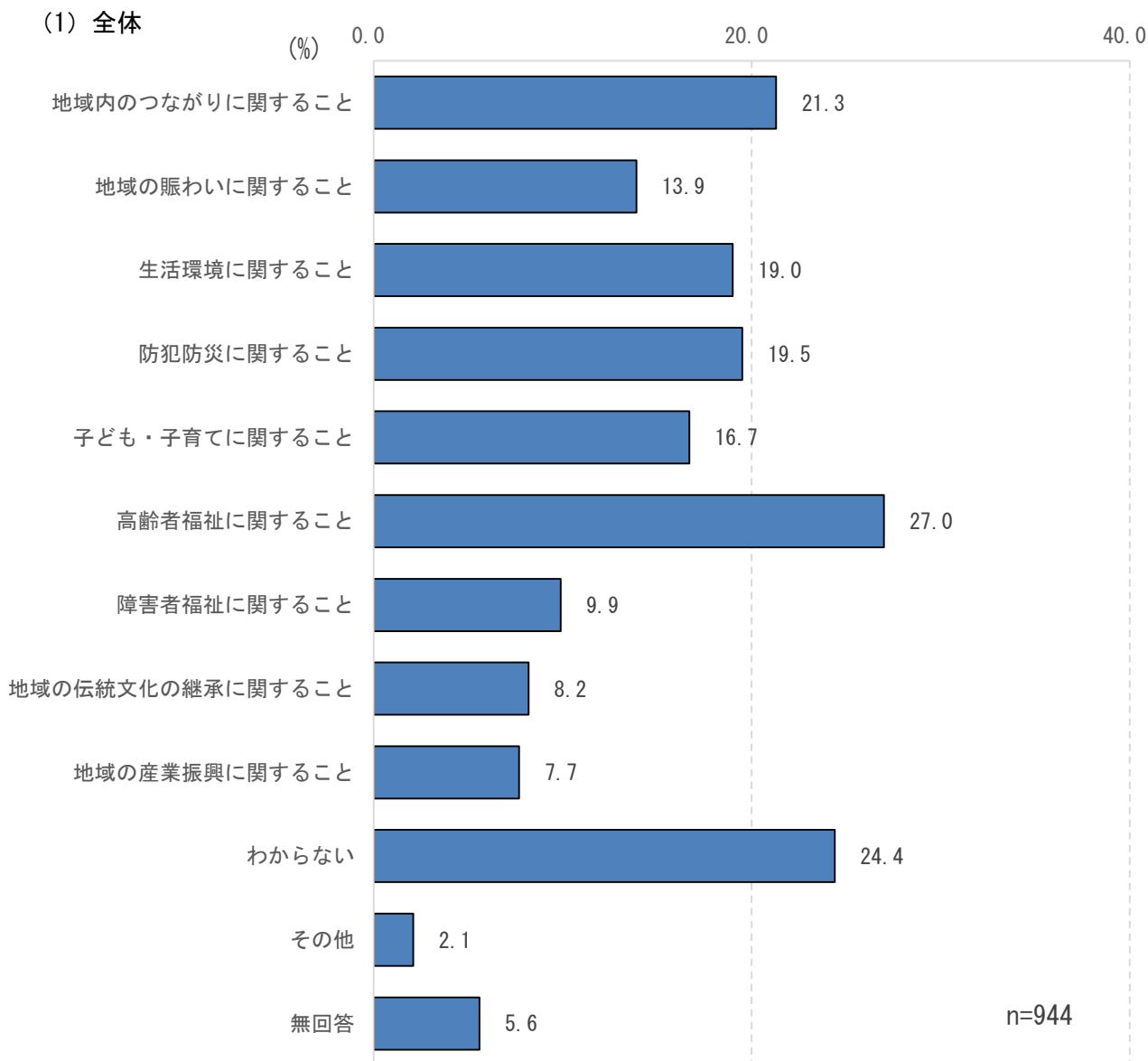


※無回答を除く

問18 問17のような問題や課題の中で、優先して解決に力を入れていくべきことはどれだと思いますか。(1)地域として、(2)行政として、優先すべきだと思うことについて、それぞれお答えください。【〇はそれぞれ3つまで】

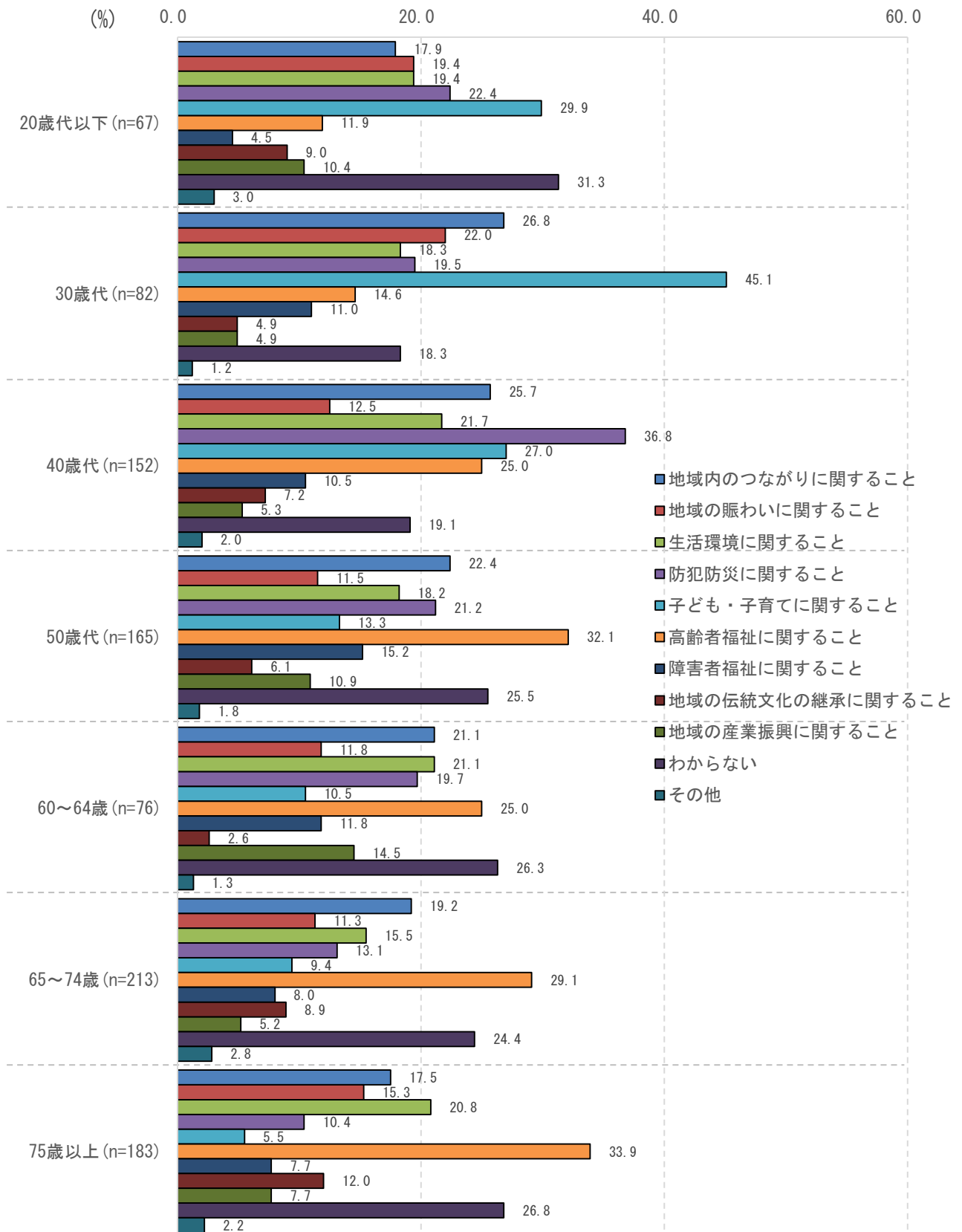
【(1) 地域として】

住んでいる地域の問題や課題で地域として優先して解決に力を入れていくことは「高齢者福祉に関すること」が27.0%で最も多く、次いで「地域内のつながりに関すること」が21.3%、「防犯防災に関すること」が19.5%で続いている。
一方、「わからない」が24.4%となっている。



全体での上位項目を年齢区分で見ると相違するのは「20歳代以下」・「30歳代」では「子ども・子育てに関すること」が1位項目、40歳代では「防犯防災に関すること」が1位項目、「子ども・子育てに関すること」が2位項目となっている。

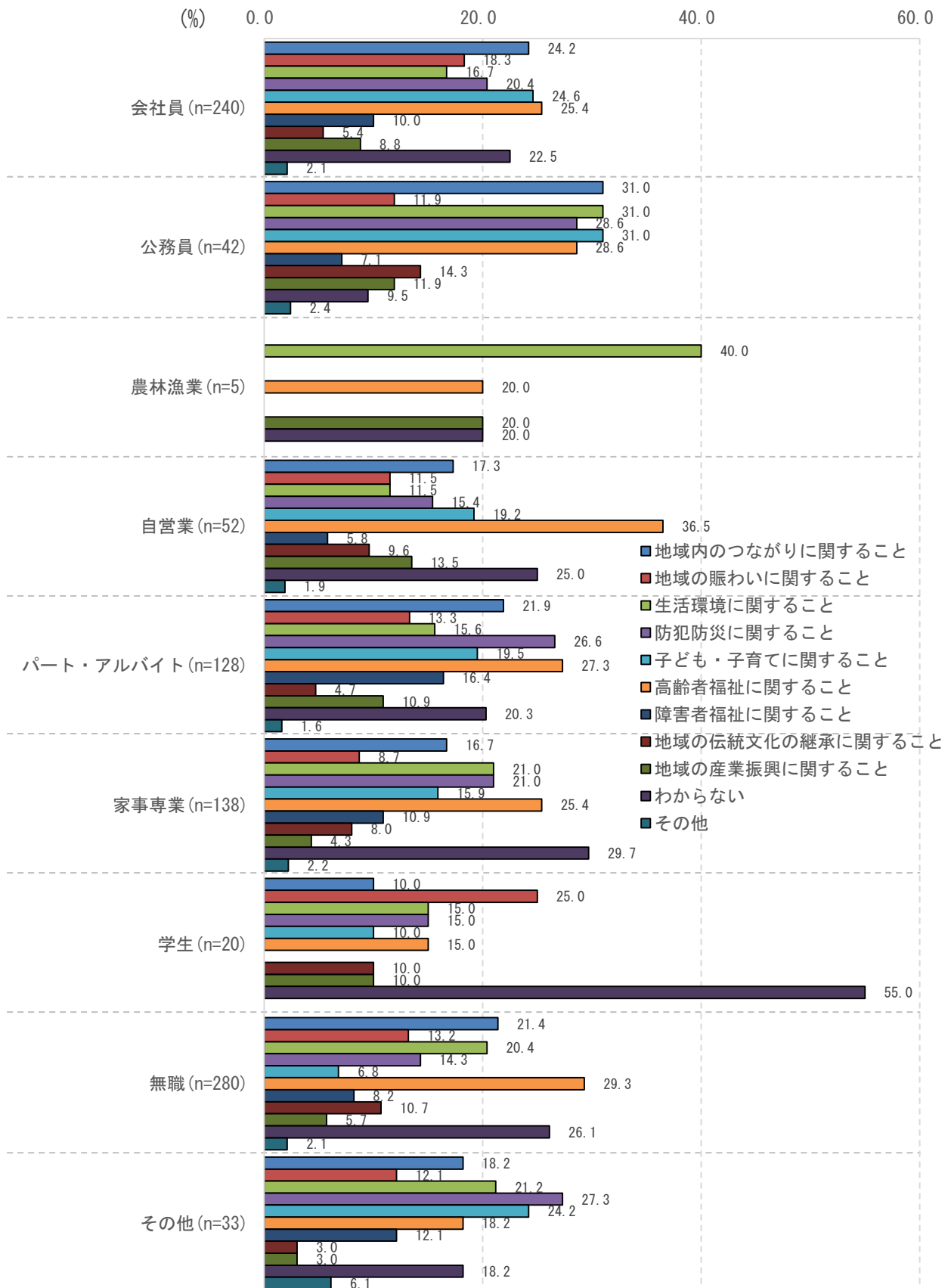
(2) 年齢



※無回答を除く

全体での上位項目を職業区分で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、振れ幅が大きくなっているが、一定母数のある区分で、上位項目の全体との傾向に相違が見られるのは「会社員」では「子ども・子育てに関すること」、「パート・アルバイト」・「家事専業」では「防犯防災に関すること」が2位項目となっている。

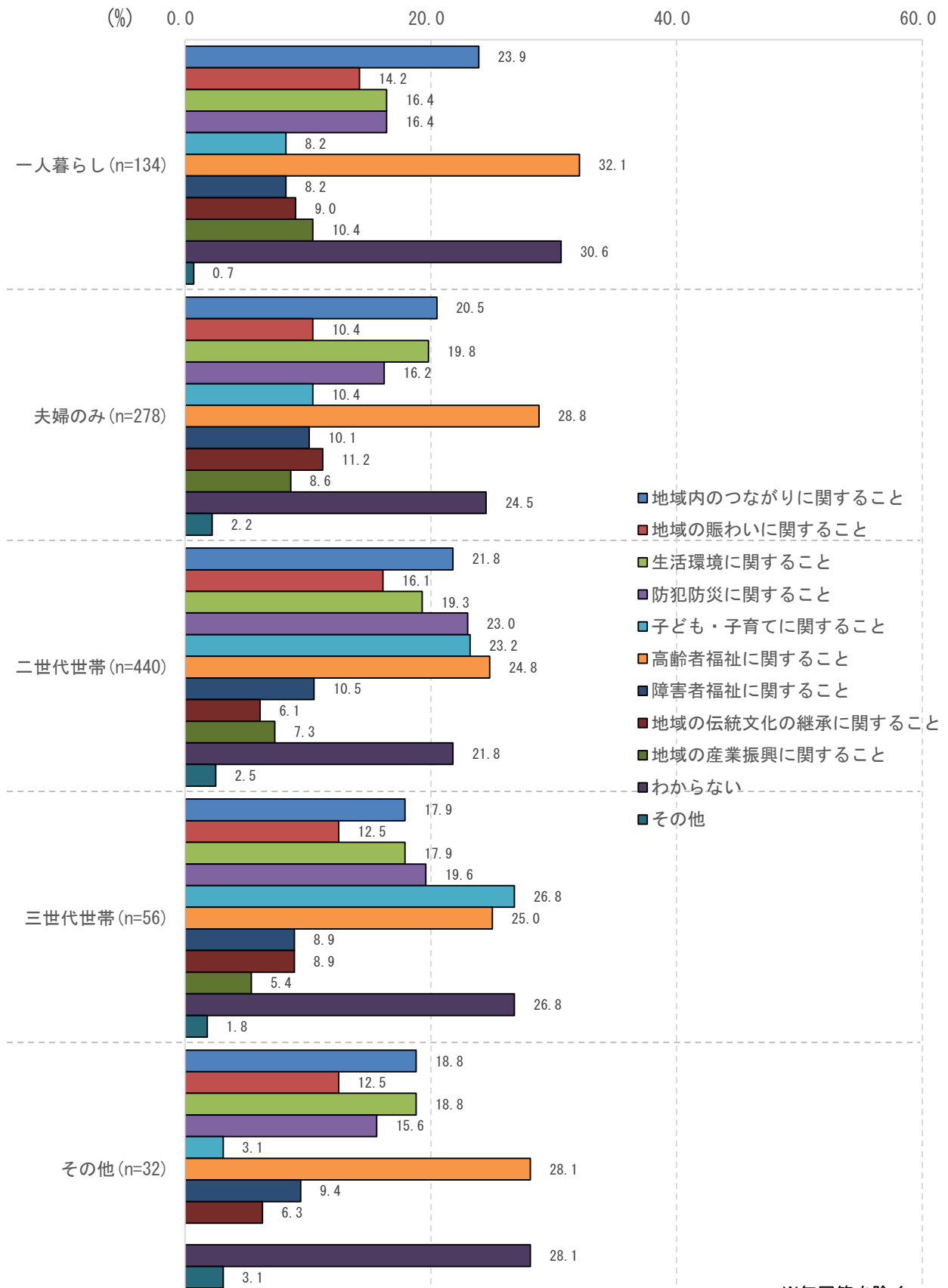
(3) 職業



※無回答を除く

全体での上位項目の世帯構成区分で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、一定母数のある区分で、全体との傾向に相違が見られるのは「二世帯世帯」で「子ども・子育てに関すること」が2位項目となっている。

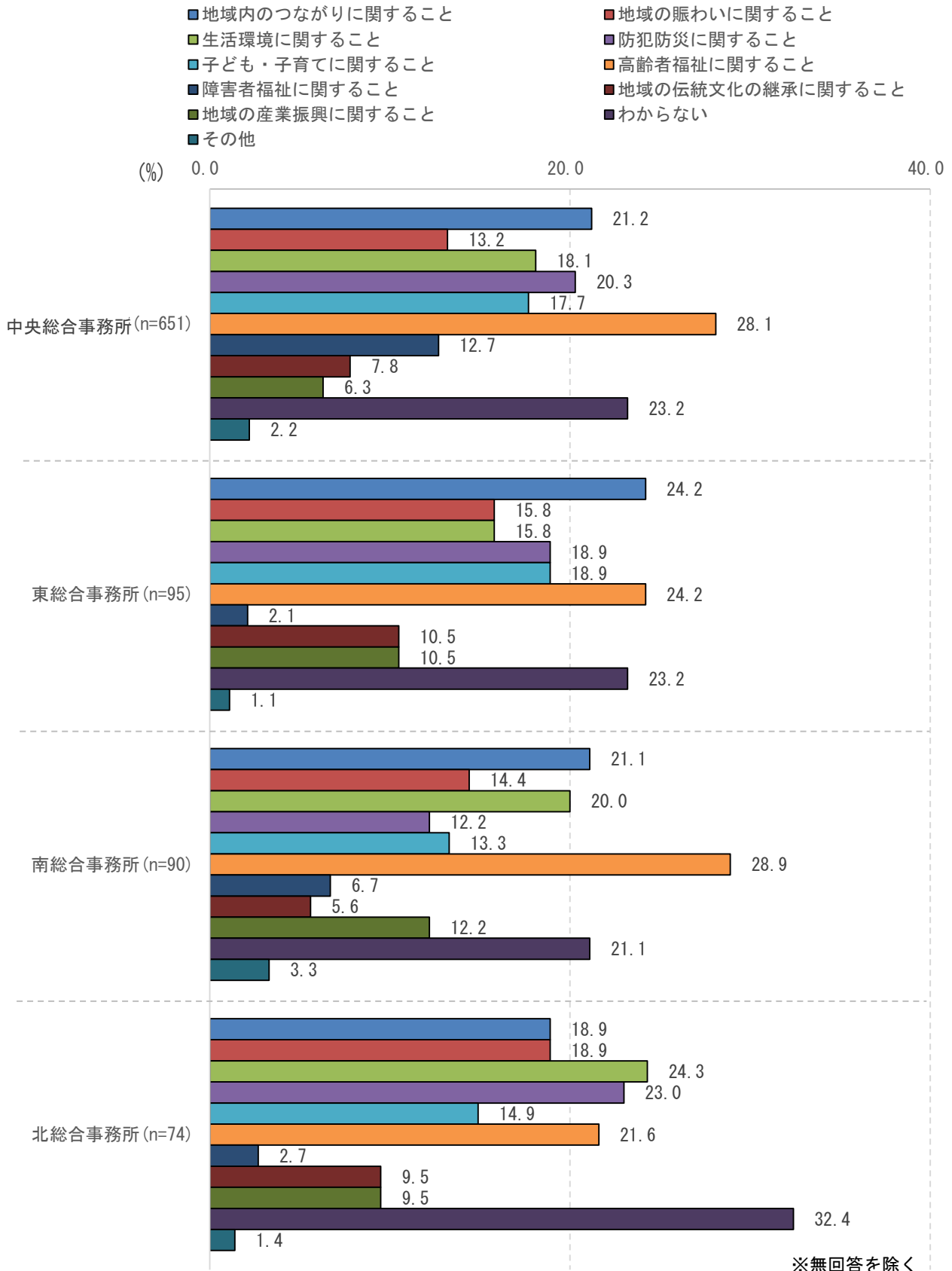
(4) 世帯構成



※無回答を除く

全体の上位項目を居住区域で見ると、全体との傾向に相違が見られるのは「東総合事務所」所管区域で「防犯防災に関すること」・「子ども・子育てに関すること」が18.9%で同率3位項目、「南総合事務所」所管区域で「生活環境に関すること」が20.0%で3位項目、「北総合事務所」所管区域で「生活環境に関すること」が24.3%で1位項目、「防犯防災に関すること」が23.0%で2位項目となっている。

(5) 居住区域

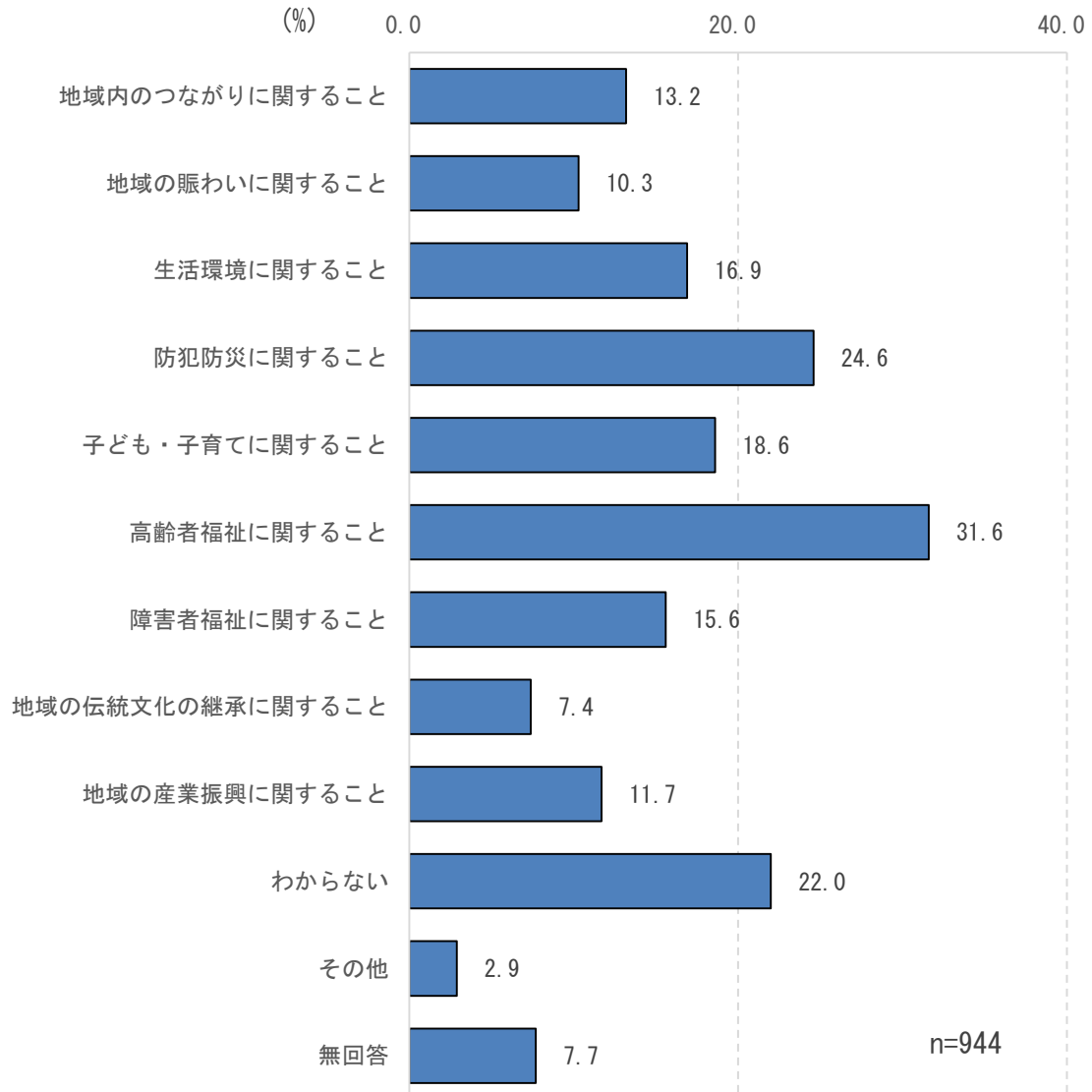


【(2) 行政として】

住んでいる地域の問題や課題で行政として優先すべきことは「高齢者福祉に関すること」が31.6%で最も多く、次いで「防犯防災に関すること」が24.6%、「子ども・子育てに関すること」が18.6%が続いている。

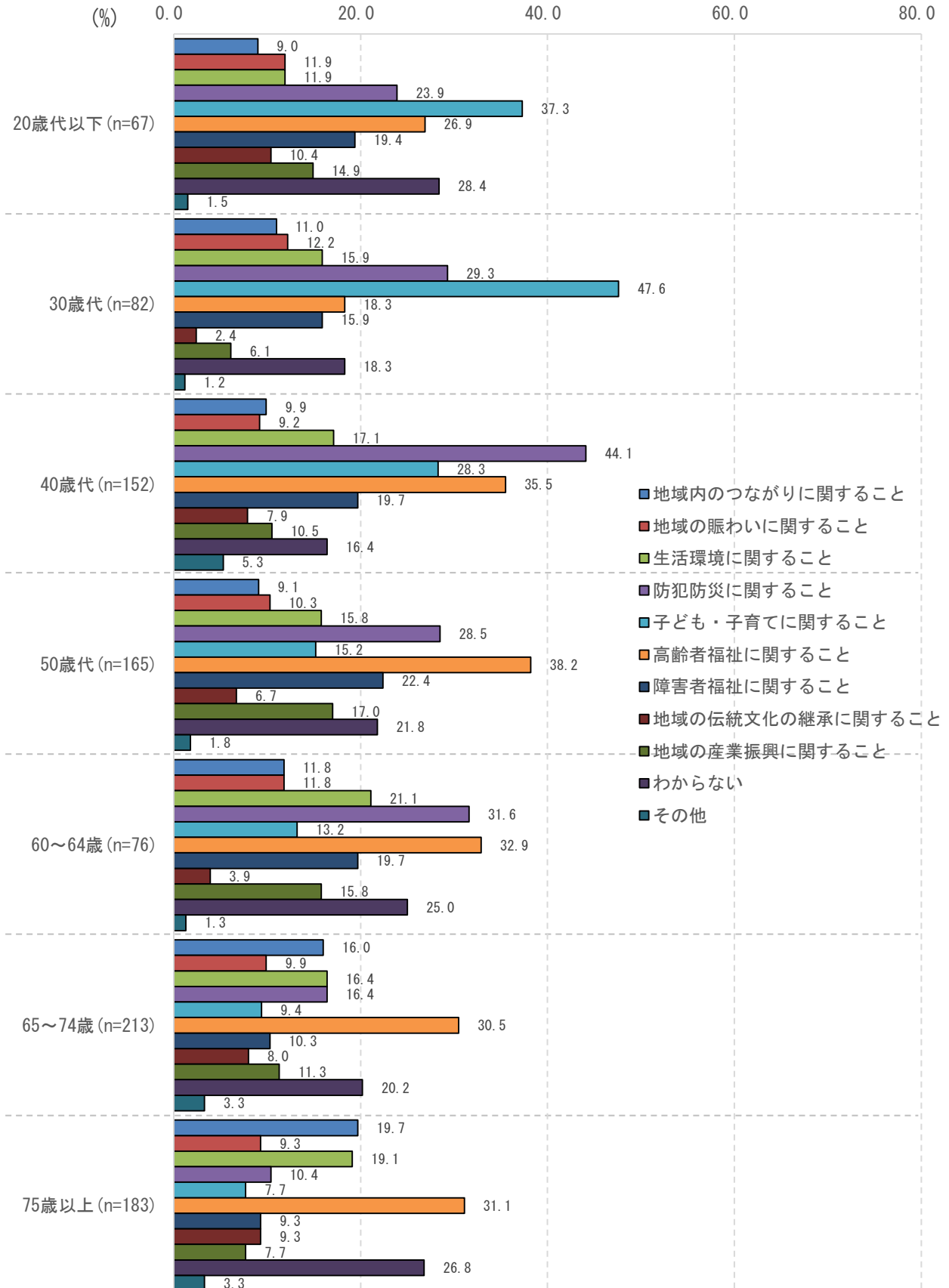
一方、「わからない」が22.0%となっている。

(1) 全体



全体での上位項目を年齢区分で見ると相違が見られるのは「20 歳代以下」と「30 歳代」は「子ども・子育てに関すること」が1位項目、「40 歳代」は「防犯防災に関すること」が1位項目、「50 歳代」は「障害者福祉に関すること」が3位項目、「75 歳以上」は「地域内のつながりに関すること」が3位項目となっている。

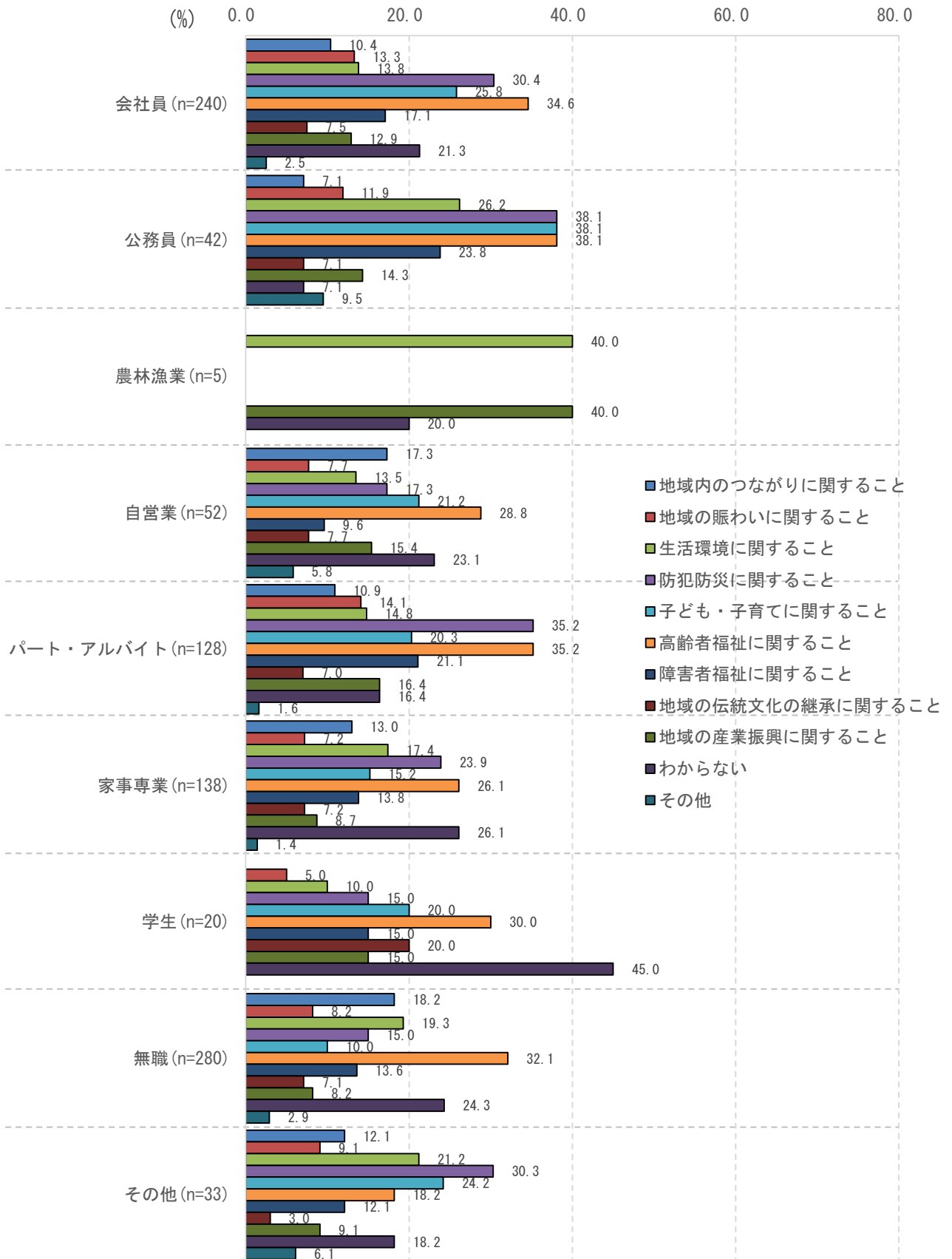
(2) 年齢



※無回答を除く

全体での上位項目を職業区分で見ると各区分の母数が少ないものもあるため、振れ幅が大きくなっているが、一定母数のある区分で、上位項目の全体との傾向に相違が見られるのは、「パート・アルバイト」で「障害者福祉に関すること」が3位項目、「家事専業」で「生活環境に関すること」が3位項目、「無職」で「地域内のつながりに関すること」が3位項目となっている。

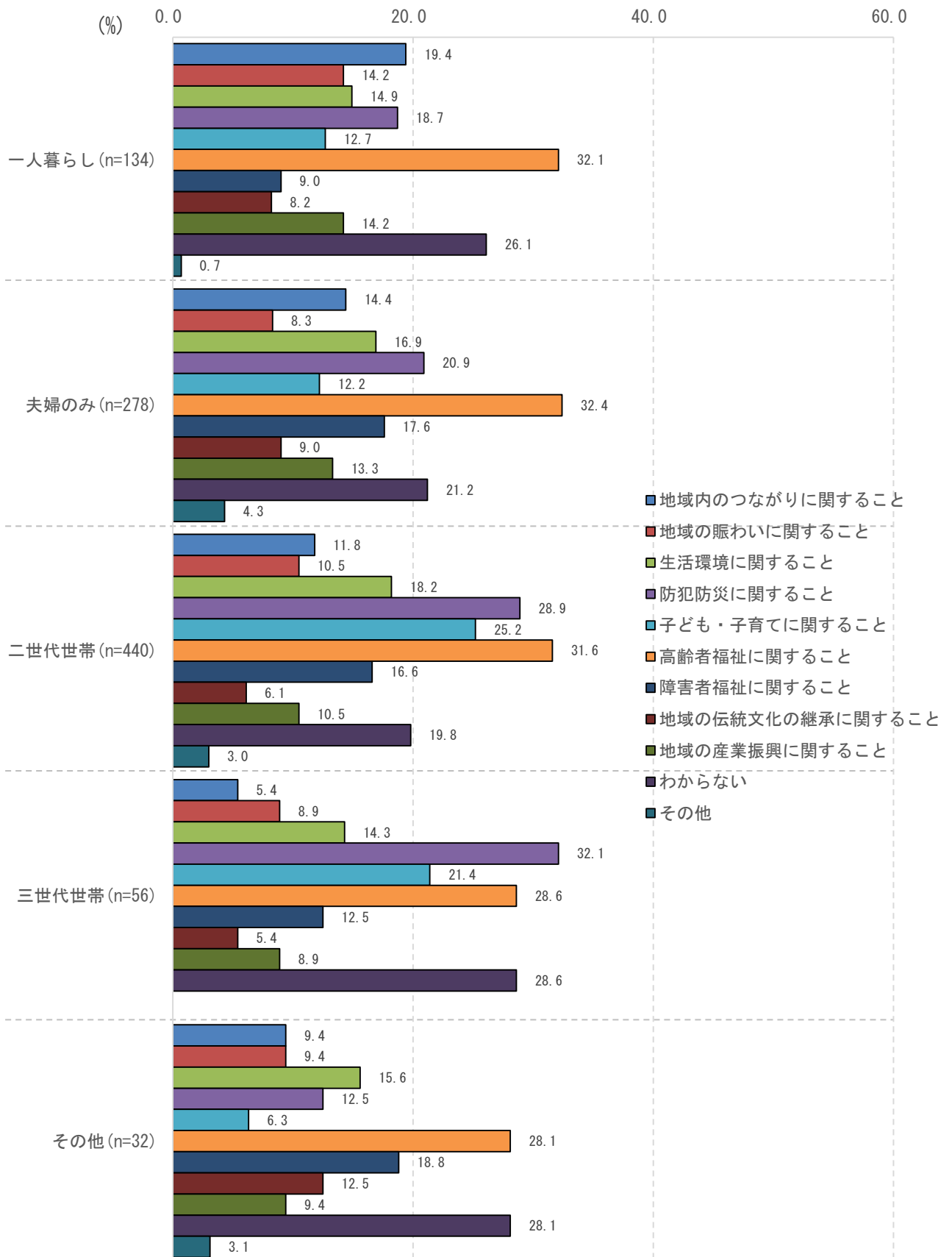
(3) 職業



※無回答を除く

全体での上位項目の世帯構成区分でも母数が少ないものもあるため、一定母数のある区分で、全体との傾向に相違が見られるのは「一人暮らし」で「地域内のつながりに関すること」が2位項目、「夫婦のみ」で「障害者福祉に関すること」が3位項目となっている。

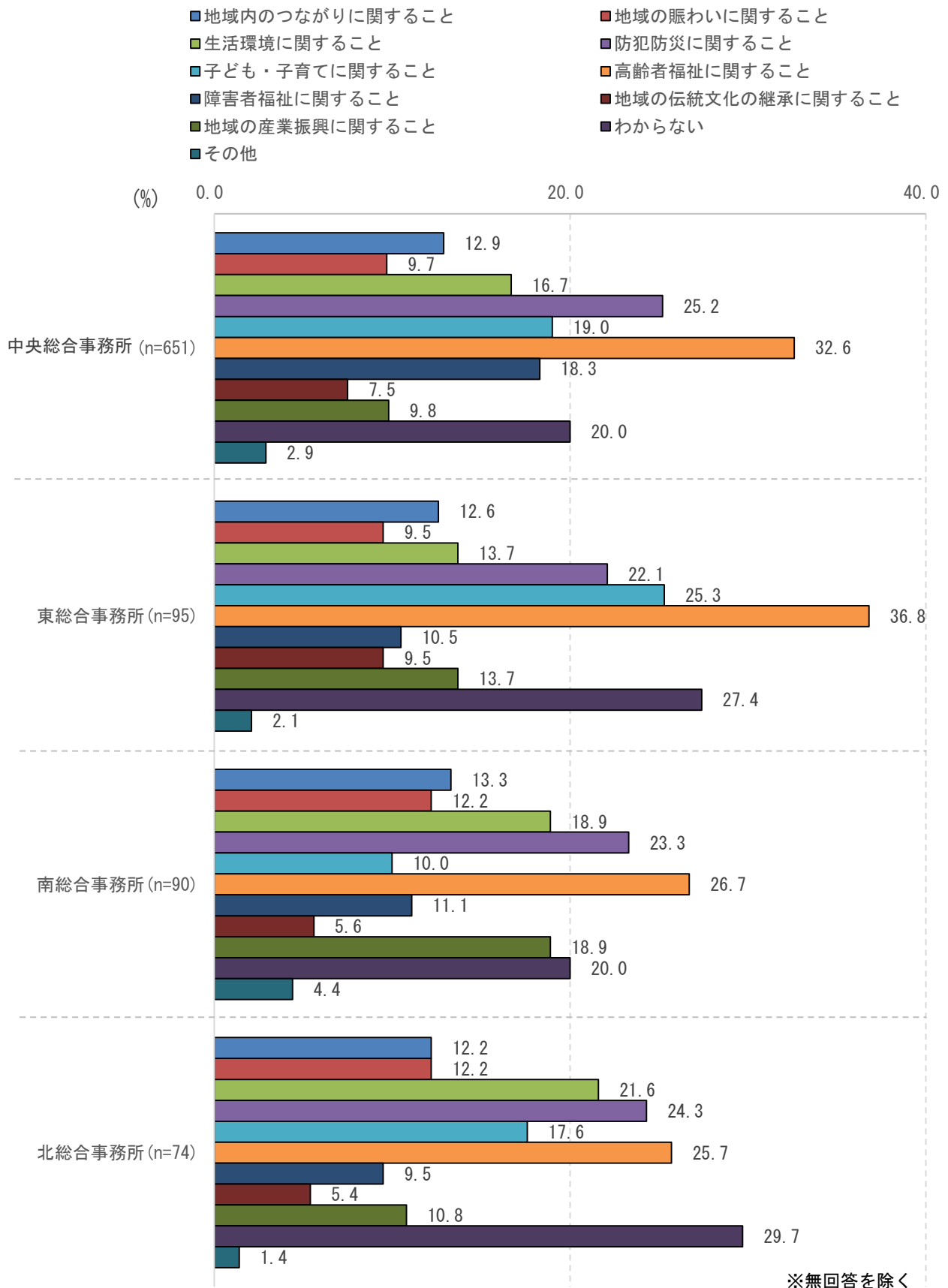
(4) 世帯構成



※無回答を除く

全体での上位項目を居住区域で見ると、全体との傾向に相違が見られるのは「東総合事務所」所管区域で「子ども・子育てに関すること」が25.3%で2位項目、「南総合事務所」所管区域で「生活環境に関すること」が18.9%で3位項目となり、「北総合事務所」所管区域で「生活環境に関すること」が21.6%で3位項目となっている。

(5) 居住区域

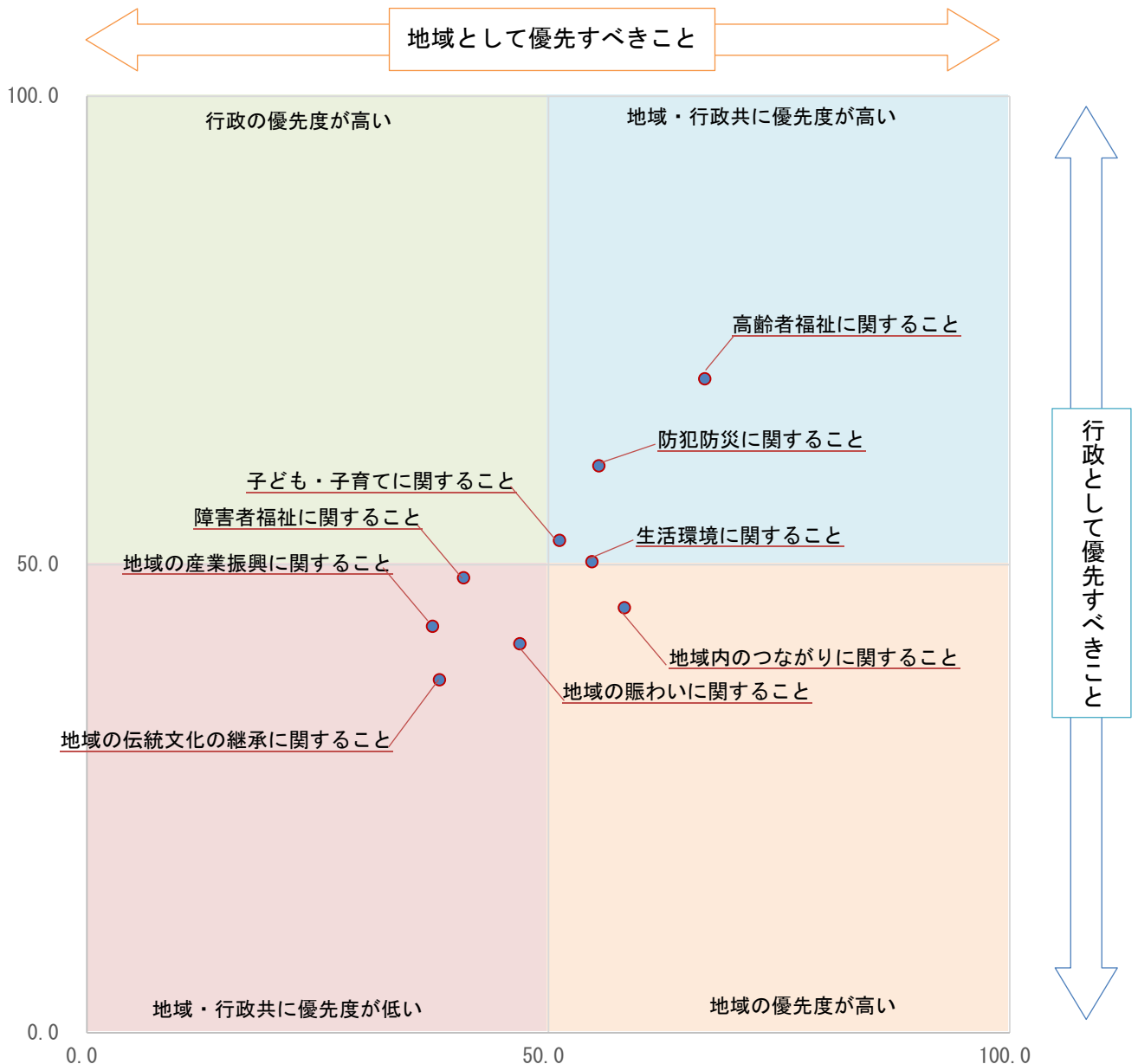


※無回答を除く

【地域として優先すべきこと・行政として優先すべきこと】

地域として優先すべきこと・行政として優先すべきことを「その他」「わからない」を除き偏差値にて図に表すと下記のとおりとなった。「地域・行政共に優先度が高い」分野に「高齢者福祉に関すること」「防犯防災に関すること」「生活環境に関すること」「子ども・子育てに関すること」が入り、「地域の優先度が高い」では「地域内のつながりに関すること」が入っている。また、「地域・行政共に優先度が低い」分野に「地域の産業振興に関すること」「地域の伝統文化の継承に関すること」「障害者福祉に関すること」「地域の賑わいに関すること」が入っている。

(1) 全体



問19 長崎市では、現在、地域の力を集めるしくみとして、概ね小学校区の範囲で、自治会をはじめ各種団体に構成する「地域コミュニティ連絡協議会」の設立を地域にご提案しています。

これは、今後さらに多様化・複雑化していく地域課題に対応するため、自分たちの地域に必要なことを「地域で決めて、地域で実行する（地域自治）」姿を目指し、長崎市も地域と協働・連携して、課題解決に取り組んでいこうというものです。

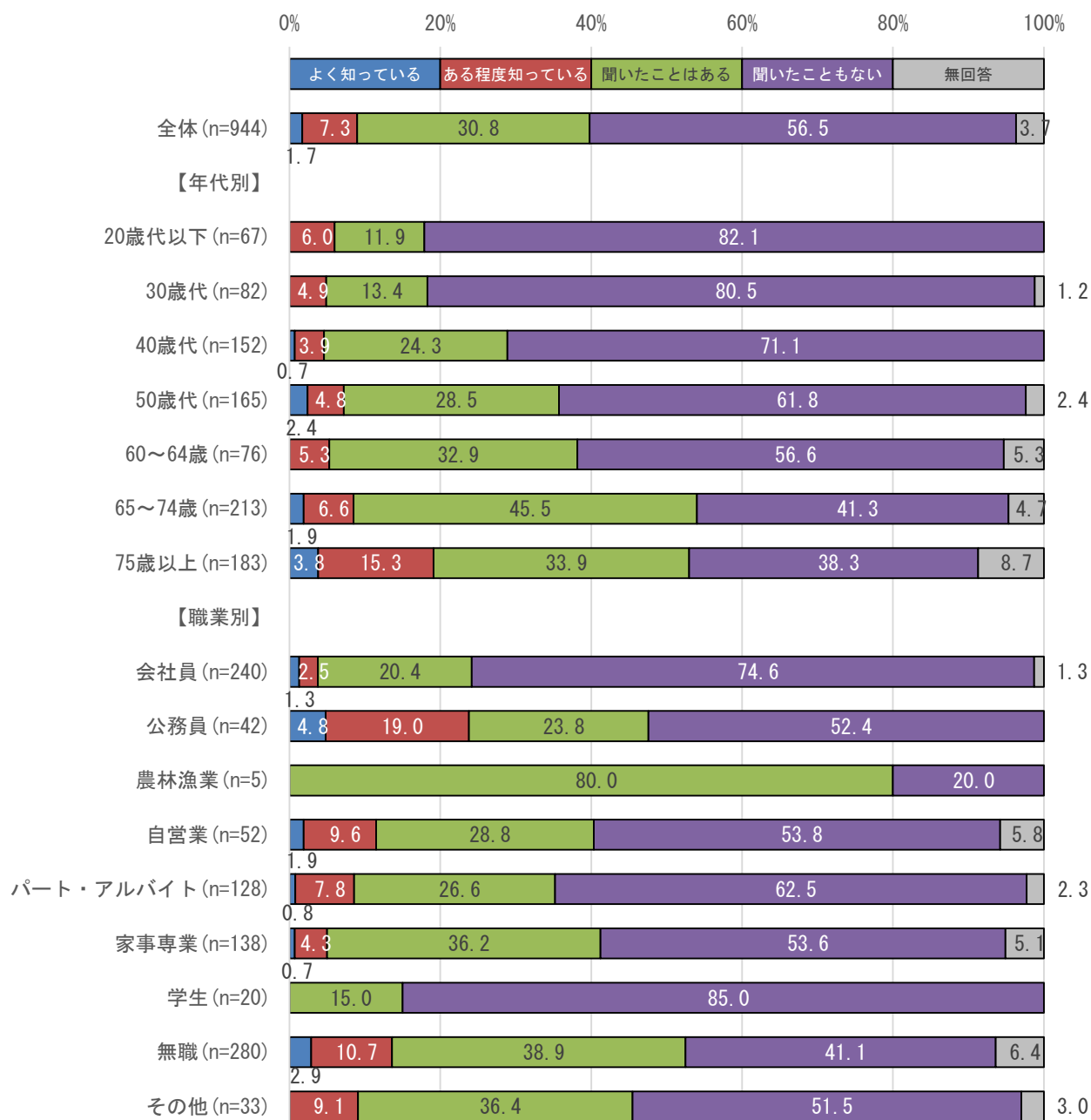
あなたは、この「地域コミュニティ連絡協議会」について知っていますか。

【○は1つだけ】

全体では「聞いたこともなく、まったく知らない」が56.5%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、あまり知らない」が30.8%、「ある程度知っている」7.3%と続いており、理解度（「よく知っている」+「ある程度知っている」）は9.0%、認知度（「よく知っている」+「ある程度知っている」+「聞いたことはあるが、あまり知らない」）は39.8%であった。

年齢別では理解度・認知度ともに年齢の上昇とともに増加傾向となり「75歳以上」の理解度は19.1%と最も高くなっている。

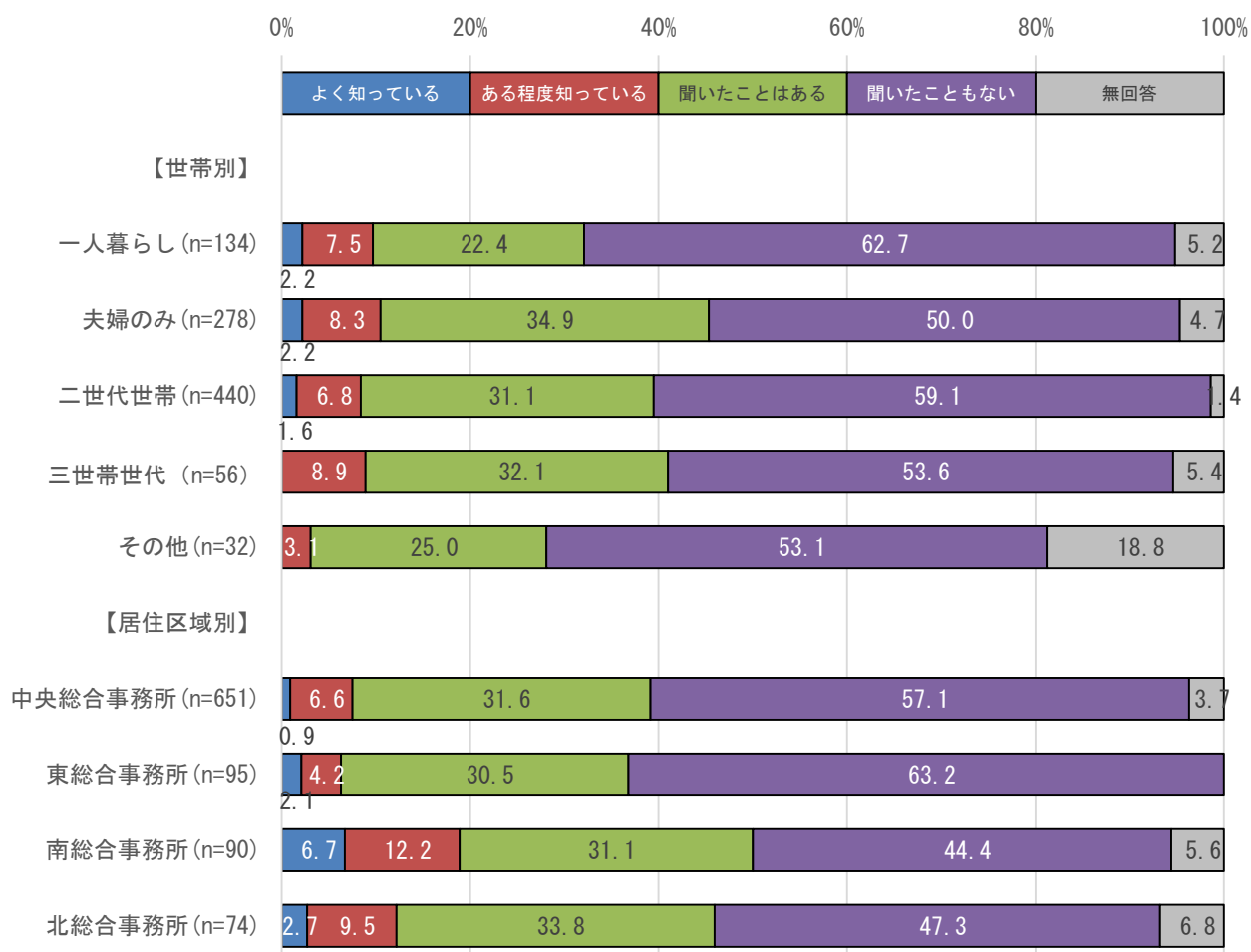
職業別での理解度は一定数の母数を持つものの中で「無職」が13.6%で最も高くなっている。



世帯構成での理解度は一定数の母数を持つものの中で「夫婦のみ」が10.5%で最も高くなっている。

全体での上位項目を居住区域で見ると、傾向の相違は見られない。

認知度が最も高いのは「南総合事務所」所管区域の50.0%で、理解度が最も高いのも「南総合事務所」所管区域の18.9%であった。



問20 最後に、住民主体の地域におけるまちづくりに関して、ご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください。

※誤字脱字等については一部修正しているが、原則として回答者の記載をそのまま掲載した。

なお、問いと関係のない回答について一部割愛している。

【地域別】

地域	年齢	内容
中央東部地区	20歳代以下	自治会が高齢化しており、機動力が低下していることが課題だと感じる。
		私は学生で生まれてからずっと長崎市に住んでいるが、とても住みやすく素敵な町だと思う。私はこのアンケートが来るまで、まちづくりの活動が進んでいる事を知らなかった。私たちの世代の人たちは、SNSをほぼ全員しているから、SNSでこのような情報を流したらもっと若い人の目にも留まると思う。(センス良く、ごちゃごちゃしていない方が良いと思う) これからの世代の人たちにも知ってもらえるような活動するにはSNSは大切だと思う。頑張ってください。素敵なまちづくりになるよう祈っています。
		地域の事を考えながら普段から過ごしているのは高齢者くらいではないでしょうか。若年層の協力を得るには市などが主導でやるべきことと期日を明示した方がわかりやすく良いと思います。
		新大工商店街がさびしくなってきたので、以前のように活気のある商店街になってほしい。高齢者が多いので、安心して住める街になってほしい。
		以前住んでいたところは、住民地域主体で色々なイベントや催しをやって他の地域からもたくさんの方が参加していました。クリスマスや夏のイベント等も各地区でやっていて、観光イベント的になったりもします。もっと地区(小区)に主権を持たせたり、自主性を持たせて活気ある街づくりをする面白い街を作っていくといいと思います。自治会にも入っていないので、地域で何をやっているのか分かりません。(テレビも見ませんし、新聞もなく、ネット中心)
		人柄は良いが、若者の一人暮らしには辛い。福岡や他県に比べ魅力に乏しい。税金の使われ方が子育てに使われるならその子が育って若者になって定着するには厳しすぎると思う。
	30歳代	自治会費を払っているにもかかわらず、単身者向けマンションのためか自治会からの案内が入っていないのが寂しいです。県外や市外から来る人が、知り合いもない土地で一人暮らしをしている事が多いので、よそ者と除外せずそのような人にこそ地域が手を差し伸べても良いのではないのでしょうか。ともすれば長崎を好きになってくれるかもしれません。
		防犯の意で、警察のように家庭訪問してほしい。時間の許す限りでいいので。
		具体的に何を狙っているのか分からない。それよりも地域に住む人(長崎市内に住む人)自体が減っていることに対して行政はどうしていくつもりなのか?住民がこの地域に住むことへの愛着やメリットを感じられるようにしてほしい。
		・大通りでなく、小道でも通学路であればガードレールを設置いただきたい。 ・図書館横の道に路上駐車が多いので、人が通る時に通行中の車との距離が近い。接触事故が起こりかねない。対応頂きたい。 ・二人以上の幼児を病院へ連れて行く時に送迎サービスがほしい。(身重の場合も)
		子どもが小さく地域でのイベント(ラジオ体操やもちつき、花見等)を楽しみにしています。祖父母も遠方にいるため高齢の方との関わりも少なく、たくさんの経験を自治会の中で得ています。子育てがしやすいようにいろんな人と交流ができる機会があると大人も周りの環境に向き合うことができ勉強になります。
		他県から越してきましたが、防災意識が低すぎて驚いています。防災グッズを準備している家は何%くらいいるのでしょうか?通学中大きな地震が来た場合どうしたらいいか、家庭毎に約束事を作っている家は少ないと思います。通学路の危険な部分の対策はどうなっているのでしょうか?
40歳代	野良猫の保護、去勢手術の補助に力を入れてもらいたい。動物の命をもっと大切に考えてほしい。	
	階段でしか行けない場所が多く、年々空き家が増えている。見た目も防犯としてもよくないので、さら地にしてしまうか有効利用できるようにしてほしい。	

中央東部地区	40歳代	子どもを育てやすい環境を整えてほしい。経済面、遊び場ともに安心して産み育てられるようにしてほしい。
		なぜ自治会が必要なのか、その歴史を学ぶ必要があると思います。コンピュータやスマホなど高度情報化社会では自治会から情報を得られなくても問題なく暮らせます。災害に関する情報も同様です。小さな町や村ならば、地域コミュニティ連絡協議会はいいかもしれませんが、中核市である長崎市ではなかなか難しいと考えます。住民主体の地域づくりではなく、AI等を利用したまちづくりに今後はシフトするのかもしれないかもしれません。少し寂しいですが…。
		地域自治に関する事ではないのですが。昨年体調を崩し会社を辞め、税金の支払いの事で市の窓口へ相談に行った時の事。色々な方が来て大変だろうというの分かるのですが、窓口の方がとても高圧的で「あなたより大変な方はたくさんいる。これくらいのこと税金を滞納されては困る。」の一点張り。私は払いたけれど払えない時期があるかもしれないと伝えただけだったのに、聞き入れる様子はなく終始高圧的。ただ「私が悪いんだ。」と思いそのまま帰りました。辛かったです。行政が財政難で税金を必ず徴収しないといけない。私たち市民も納めないといけないことは理解できますが、そんな市民の不安の声をくまらずただ責めることしかしないなんて、市としてやることなのですか？それが望む市の在り方なのですか？私の町に自治会はありませんが、ほんの数家族しか加入していません。こんな市政の町じゃ、仕方ない気がします。
	50歳代	高齢者（一人暮らし）、低所得者（低年金者）に対して市営（低家賃）で入居できる団地や施設が必要だと思えます。低年金で民間の家賃を払うと生活苦になったり、光熱費などが払えないから冷暖房を使用しないで辛い生活をしている人が長崎にはすごく多いと思えます。若い人が自分に合う仕事が見つからないからと（ニートにも）生活保護を出していたり、これには怒りを感じます。
		五島町はとても便利ですが、車イスの方にはまだ不便な道が多く、県庁、駅が市の中央としてもっとバリアフリーをすすめてほしいです。
		私の住む地域では高齢者世帯が増えてきて、各組の組長をする世帯が少なくなっています、また、独身者（親御さんが亡くなり娘又は息子さんが残る場合）の世帯が組長をしない場合が多くなっています。住民の協力で…とは言うものの「もうできません」と宣言した者勝ちの感が否めません。私自身もできれば参加したくないというのが本心です。この先、地域での活動を続けていくためには、運営の方法を見直す必要があると思えます。地域活動への貢献をポイント制にして、将来の介護や子育て支援に使えるようにするとか、不公平感を感じないようにすべきだと思います。（別問題ですが）長崎は尾曲り猫を観光の売りの一つにしている風潮がありますが、そうであるなら各町であわれな猫を見かける事のないよう、町猫としてケアをするべきだと思います。
		今の自治会の形では存続も危ぶまれる時代と思われれます。入会する必要性を感じてない人が多いような。協力者も少なく、自治会の形が時代に合わせて進歩していないのが現状。一部の方に押し付けて維持されており、又担っている方も高齢者。自治会の変革には自治会だけに任せていても難しいと思われれます。自治会に入会しても、例えば独居老人を支えるようなシステムも特になく思えます。少数ではなく、多数の参加が見込まれる自治会であってほしい。
		住民主体で考えると、なかなか意見も出ない気もするが長崎市内明るい町になるといいなと思う。中心部である浜町は美しく、ちょっと用事がなくてもぶらりと行きたくなるような街になると理想ではないかと思う。ドラッグストアや100均多すぎる。無料の休憩スペース等できたらいいかも。
		行政の行いが一般市民と感覚がずれ過ぎています。市民が望んでいる事に税金を使ってください。
		・おくんちの踊町に住んでいるため、地域の方々とのお付き合いは多く面倒くさい事もあるが、良い点の方が多いと思う。 ・マンション等に新しく入る人たちとの交流はあまりない。明らかに子供だけが夜にどこかの部屋に一人でいて、泣き声があったので通報したことがある。周りの人たちも気づいてはいたが、外国人ファミリーのようで声かけづらいということがあった。
県庁、市役所、NBCの跡地などの利用について関心がある。無理に箱物を造るのではなく、将来の人が好きなように活用出来るよう緑地や公園で残してほしいと思えます。特に県庁跡地は出島と一体化して整備して観光資源として活用してほしいです。		

中央東部地区	50歳代	住み慣れた地域に暮らすのもいいと思いますが、坂や階段、車の通らない住宅も多い長崎では高齢で外出できない方も増加していると思います。人口減もあり、地域の課題を行政が解決するのも限界があるので、住替え助成などでコミュニティを意図的に便利地に集約していく取り組みがあるといいなと思います。
		障がい者を手厚くあつかってほしい！！
	60～64歳	私は40年余り長く住み続け、夫は生まれた所でもある。周りを見ると代替わりはあるが、殆ど顔見知りという中で若い世代や最近引っ越して来た方々もおられる。だが、自治会に参加しないケースが多くなっている。住んでいるというだけで馴染まず、挨拶もなく、言葉を交わすことがない。孤立である。現代の若い方々は時間や心に余裕もないのかもしれないが、参加される方もおられるので様々のようだ。たとえ長く住む予定でなくても、自分たちの子どもの為にも地域と仲良く楽しく住む為に自ら参加してみるのがベストだと思う。その姿を子供達に見せるのも決して悪いものではないと思う。立場を変えて考えてみると参加する利便がないと考えたり、参加しにくい等々思ってしまうかもしれない。これは私達先住者の反省点かもしれない。
		課題は多いと思いますが、皆さんが協力し合い少しでも明るいまちづくりが出来たら良いと思います。
	65～74歳	私の地域にはとても綺麗な桜並木がありました。春には桜の花が満開に、夏には彼岸花の白赤黄色の花が、冬、今は水仙の時期なのですが雑草が茂っています。桜の木にはツルが巻き付き雑木と雑草が沢山増し花々の影が薄くなりつつあり残念でなりません。この様な場合、どこの部署に相談したらよいのか？又対応してもらえるのかと考える次第です。自治会での対応は無理に思えます。
		一人暮らしの人が一日中誰とも話をしない。何だかとても寂しいと思います。そういう人たちが気軽にふっと立ち寄れるようなフリースペースがあったらいいなと思います。
		おくんち踊町の人手不足は公募で解決しつつある。人口減少による中心街の衰退は対策が必要ですが、再開発ばかりに依存するのは？自然な街並みを生かした回遊しやすい道路整備が必要。既存の路面も凸凹で足元が危険なところもある。
		遊び場が少ない。運動する場所が少ない。
		公民館はあるが通りから入り込んでいて、階段があり、高齢者を連れていくにも車が止めにくい。避難所に指定されるならなおさらである。自分自身高齢になるにつれ、特に思う。選挙投票も同様である。
		住民間の助け合いも大切と思いますが、個人主義の考えが広まりつつある現在、障がい者、弱者が一人でも生活できるような環境づくり（例えば車いすが通りやすい歩道=無段差の設備など。公共交通の利便性、歩道橋の解消。特に路面電車の長崎駅前、宝町歩道橋）をもっと進めてほしいです。障がい者、弱者に優しい町づくりは全ての人が住みやすい町になると思います。
		若い人が少ない！ 道路が狭い。（車道）
		となりは何をやる人ぞ？プライバシープライバシーと言うけれど、あんまり言い過ぎではないですかと思う。だけど気になる。
	今回、初めて民生委員をすることになり、その名簿作りに苦勞しています。町内会長だけでもその名簿があればより活動しやすくなると思います。	
75歳以上	現在週二回福祉施設へ送迎付きでのリハビリに通っています。市の高齢者への福祉対策は現在満足しています。（介護1級です）	
	防災の避難場所が遠い。 ・県住の集会所はありますが、手狭で古く種々の行事（健友会や独居老人の会：さくら会）を月一行いますがゆっくり座り話す場所としてはもう少し設備が整ってくれればと思っています。 ・白木公民館くらいの広さであれば、体操やいろんなゲームなどできると思いますが、階段と坂道の為足腰の悪い方は参加することもできません。要望としては白木バス停の近くで平地にふれあいセンターみたいなコミュニティができれば皆さんが喜んでいつでも行ける何でも話せる場所があればと思います。	
	この町に来て、横の連携が少ないのを感じました。町内会に入っていますが、広報を受け取るだけなのでさびしい感じがします。いざという時にどう動けばいいの心配。	

中央東部地区	75歳以上	若い方が県外に就職を求めて流出して行かなくても良い状況を作ってほしい。安心して子育てできる社会である事、未婚の男女が最近特に多く感じる。自治会に入会していない世帯が多く、特にマンションやアパートにお住まいの方々等。
		眼鏡橋付近に活気が足りない。春は桜があり、秋はコスモスと自然とほっこりするような美しい並木通りにしてほしい。
		坂が多い私の住んでいる地域では、個人で解決するのは難しいのでは。市レベルで力を入れないと無理だと思う。

地域	年齢	内容
中央西部地区	20歳代以下	この様な貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。
	30歳代	住み始めてそんなに長くはないですが、子育て支援事業を行っている幼稚園やおあそび教室をよく利用させて頂いています。知り合いがいない土地で不安も多かったのですが、気軽に話せる友人ができてもうれしく思っています。これからもすてきな地域になるよう願っています。
		地域によって高齢者と子育て世帯のバランスが悪く、自治会で若者に対してやらなければならない事が非常に多いです。行政がある程度してもらわないと負担が非常に大きいです。行政が出来ないのであれば、自治会も縮小すべきです。
	40歳代	スマートカードのような長崎バス、長崎県営バス、市電車が使えるようなカードを作ってほしい。なぜスマートカードがなくなるのか分からない。エヌタスカードは面倒くさい。 働き方改革に力を入れてほしい。 観光客がまた来たいと思う町づくりをしてほしい。道路標識や道案内を分かりやすくして、駐車場も増やしてほしい。福岡に追いついてほしい。 人口減少をとめてほしい。ちゃんと地域を振こうするよう仕事をしてほしい。
		自治会についてはあまりいい印象がありません。住んでいるマンション全体で一つの班として自治会に入っています。以前班長の役割が回ってきた時、仕事、家事、育児等忙しく、毎回会合に参加できませんでした。それでも後日回覧板や配布物を取りに行き、マンション内に回していました。でもある時、「対応が遅い、もっと早く回せるはずだ！」というような内容のメモを郵便受けに入れられました。どなたからのメモか分からず、しばらくは同じマンションの人と顔を合わせたくない日々が続きました。班長だった一年間とはにかく辛かった。またいつか回ってくると思うと憂うつです。
		現在、自治会の運営は高齢の方が多く、情報を発信することが難しいように思う。地域のために動いて下さる（高齢な方と）と子育て世代の間をつなぐための運営方法を市が積極的に何か提案してほしい。
		気軽に交流したり、趣味や同年代の人など気が合う人とのコミュニケーションが増えればそこからつながりを増やす機会にもなるかと思いました。
		HPをamazon並みに分かりやすくしてください。
	50歳代	・高齢者が増え、災害が起きた時や防犯時が心配なので対策を考えてほしい。 ・空き家も増えているので、持ち主に要請してなるべく解体してほしい。
		人口減少は避けられない状況を踏まえた地域のまちづくりを考えていくべきではないでしょうか。
		中高年の方だけではなく、若い人たちも参加しやすいコミュニティを作らないとだめだと思います。
	地域コミュニティ連絡協議会の趣旨は分かりませんが、それが主体になりよかれと思って決めた案件などが各自自治体にとって逆に負担にならないよう願っています。	
	60～64歳	城山地区は転勤族が多い中でいろんなイベントを自治会でやっておられ、地域的にもすごく良いところだと思います。
65～74歳	消防道路を作ってほしいです。	
75歳以上	野良猫のフンを庭にしに来て困ります。何とかならないでしょうか。	
	自治会長不在のため活動はない。地域の住民は交流がない。コミュニティ連絡事務所の所在地不明です。 高齢化が進み地区住民の死亡、転居等、また一人住まいの人も多くなっている。一年一年と環境が変化し、お世話をする当番制の班長はお世話が出来ないということで自治会を退会する家庭も増してきている。班長はできなくても、自治会を退会しないでという手立てをとっているが、三年に一回班長（お世話役）がまわってきて負担になっているのも現実である。	

地域	年齢	内容
中央南部地区	30 歳代	子どもが安心して過ごせるようお願いしたいです。 県外から来て、知り合いもいないので、知り合いが欲しい。
	40 歳代	最近ではネット、TVなどで悪いニュースが目立ち地域住民社会が考え方を変えていかなければいけない時期だと思います。子供など親が殺されなければいけなくなるまで事を起こさないと警察や行政は動かない。なぜ？それと個人で思うのはプライバシー保護の在り方。例えば友人と連絡が取れないと警察に相談しても家も知ることもできません。警察が第三者となり、連絡などできるようにしてほしい。今自分自身が生活保護に頼らなければならないほどに病気にかかっています。病状は変わることなく悪化しています。セカンドオピニオンもできず、大きな病院で見てほしい！病状が5年以上ある人にはセカンドオピニオンできる制度を見直してください。
		自分が住んでいるまちをよりよくするためにまちづくりは興味があるが、仕事や子供の習い事等で余裕がないのが現実。何らかの形で参加したいと思う。職場でも地域コミュニティの話聞くことがあり詳細は分からないが、小学校で祭りを行った等聞いている。
		色々な世代の人が気軽に参加できるイベントを開催して欲しい。
		親が付いていなくても、子供が安全に遊べる場所が欲しい。（自転車やボール遊びなど）
		年齢や生活水準がバラバラの人達や、アパート住まいなど地域のコミュニティはとても大変だと思う。しかし、防犯等は住んでいる人なのか、不審者なのか顔見知り程度であれば見分けもつくし外国の方も増えてきたら挨拶程度の近所付き合いから少しずつ始めなければ仕事や介護等で集まり等に参加できない方が多くなっているだろうし個人的にボランティア等されている方などは自治会と同時に参加するのも大変な様に思います。しかし、なにかあった時にはコミュニケーションは取っていた方良いと思うのでとても難しいと思います。
		50 歳代
	今後ますます高齢者が増すにあたり、病気予防することが健康を保つうえでも医療費の負担を減らすことにもつながるので、地域の中で（自治会等）コミュニティの場を作ることは大変良い事と思う。また、個人の自宅を開放しサロンのような空間があってもいいと思う。子供も高齢者、年齢に関係なく出入りでき集える場所があれば高齢者や一人暮らし、子供が一人きりで過ごすこともなくなるのではないのでしょうか。私たちにできる事があれば協力できたらと思います。	
	家の周りは空き家ばかりです。どうか若い人たちが住みやすい、安い空き屋を利用出来たら地域も潤ってくるのでは？	
	五島町はとても便利ですが、車イスの方にはまだ不便な道が多く、県庁、駅が市の中央としてもっとバリアフリーをすすめてほしいです。	
	60～64 歳	例えば、長崎くんちの踊り町は良くも悪くも濃密なまちのつながりを持っています。それと同じには言いませんが、それに近いようなまちのつながりが各自治体でできれば地域の振興に役立つものと思います。
		私は40年余り長く住み続け、夫は生まれた所でもある。周りを見ると代替わりはあるが、殆ど顔見知りという中で若い世代や最近引っ越して来た方々もおられる。だが、自治体に参加しないケースが多くなっている。住んでいるというだけで馴染まず、挨拶もなく、言葉を交わすことがない。孤立である。現代の若い方々は時間や心に余裕もないのかもしれないが、参加される方もおられるので様々のようだ。たとえ長く住む予定でなくても、自分たちの子どもの為にも地域と仲良く楽しく住む為に自ら参加してみるのがベストだと思う。その姿を子供達に見せるのも決して悪いものではないと思う。立場を変えて考えてみると参加する利益がないと考えたり、参加しにくい等々思ってしまうかもしれない。これは私達先住者の反省点かもしれない。
	65～74 歳	私の地域にはとても綺麗な桜並木がありました。春には桜の花が満開に、夏には彼岸花の白赤黄色の花が、冬、今は水仙の時期なのですが雑草が茂っています。桜の木にはツルが巻き付き雑木と雑草が沢山増し花々の影が薄くなりつつあり残念でなりません。この様な場合、どこの部署に相談したらよいのか？又対応してもらえるのかと考える次第です。自治会での対応は無理に思えます。

中央南部地区	65～74 歳	市内に若い人が住居を構えるような街づくりを考えてほしい長崎に居てくれる若い人がとどまってくれることを望みます。
	75 歳以上	アンケートは行政の自己満足では？言い訳づくり。質問項目も多すぎて負担。(ストレスになる) 行政担当者ももっと外に出て、地域の声を聞いてほしい。どんな小さい事でも自分に出来ることがあれば協力する気持ちを育てる事が大切。 新戸町自治会はあまりに大きく、高齢者も多すぎて集まりも知らない人が多くて何かあっても出かけていく気にならない。

地域	年齢	内容
中央北部地区	20歳代以下	長崎市は観光地であるのに、ゴミ箱が少ない。
		まだ結婚していないので、まちづくりに関してピンときません。
	30歳代	長崎市子育て住まいづくり支援費補助金ですが、先着順で申請ができませんでした。一部の方にしか恩恵がないのは不公平感を感じました。残念です。
		障がい者でも働くことのできる環境が欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的過ぎて「主体」といっても誰がいつ、どのような活動をするのか全く分からない。費用の負担や活動の負担が気になる。 ・賃貸マンションで管理人から自治会費を徴収されるものの活動内容や収支が全く分からない。 ・「地域での活動」という言葉に対して不信感があります。 ・長崎市は地域の児童館が不十分と思います。(ソフトもハードも) 子育てしやすいまち作りをお願いします。 ・保育園児が2人いるが、小学校区を意識したことがなく関わることもないように思います。 ・団体毎に差異が大きくなりそうなので居住区を決める際考慮項目の一つにもなりそうです。
		引っ越したばかりですが、自治会の入り方が良く分からない。入りたいというわけではないが、入らなくてよいのか？と思っている。そういう地域の相談事を気軽にできる窓口があれば良いのでは。
	40歳代	みんなが挨拶しあえるところからまちづくりは始まると思います。最近挨拶ができない大人が多い様に感じます。
		<ul style="list-style-type: none"> ・関東等と比較して、教育レベルの格差の是正が必要。 ・長崎新幹線は運賃の面でメリットなし。利用客のボリュームゾーンを正しく把握した取り組みをしないと負の遺産となる。
		今住んでいるマンションの駐車場で近所の小学生が遊んでいるので、注意をするのですが、しばらくするとまた戻って来て鬼ごっこなどをしている。駐車場に車が停まっているいるので、傷やへこみができていても犯人が分からないので、泣き寝入りするしかなく悔しい。(車も大切な財産です。) 遊び場は近くに公園があるし、小学校の校庭などで思いっきり走り回れば良いと思うし、居住していない近所の子どもが敷地内に入ってくるのはどうかと思う。車に傷をつけても何号室の車か分からないし、最悪我が家のように知らないうちに傷つけられても何も言わず、逃げ得ではないですか？
		このままでは、誰もいない本当の田舎になる。
市営団地よりマンションへ引っ越すことになり、市営の時は月1回の掃除とか自治会の集まり、子供会など積極的に参加…とまではいなくても顔を合わす機会があった。(ほとんどは奥さんにやってもらっていたが) マンションになるとそういった機会はほぼなく、もう少し気軽にあっていいのではと思いますが、やはり煩わしいのが実情。煩わしくもなく、気軽に協力できればというのは分かっているけどどうすれば？あまり分からないですね。(答えになっていないタラタラとした感想になりすみません。)		
50歳代	町費を銀行振り込み等にしてもらいたい。長崎転入出時の届出の時に手続きをしてほしい。高齢の方が多いため、各班での会計を決めにくいので。	
	病気の為参加できない。	
	「広報ながさき」や新聞、テレビで知る田上市長はじめ市の行政に関わっておられる方々の日々の努力に感謝しております。新市庁舎とともに、愛する長崎の今後の発展を心より願っております。	
日々の生活、仕事(長時間労働)に追われ、地域や社会の事を考える余裕がありませんが、子育ても終わり社会の役に立ちたいという気持ちはあります。どうしたらよいか、分からないというか、考えたことがないです。意識を持って考えないといけませんね。		

中央北部地区	60～64歳	現在の住居は賃貸マンションなので、ほぼマンションの人とは交流もなく、すれ違っても挨拶をする程度で、何の言葉を交わすことはありません。若い人は特に何も言わない、子ども（小さな）がいて声かけても返事もないといった具合で地域の人より「人」としてのモラルが欠如しているように思う。そんな人たちが多く世の中だと思う。昔は、私が小さい頃はそんな事は感じたことがなく、近所の人皆が困った時には面倒を見てくれていたと思います。世の流れでしょうか。時々こんな事があると虚しさを感じます。仕事をしていますがそんな人が多いと思います。思いやりのある世の中になって欲しいと思います。
		小学校、中学校の近くで不審者が出たり、車に連れこまれようとする事案が発生したりと、孫たちが無事に家に居れるのか心配になります。（娘夫婦、私も仕事をしている為、家にはおりませんので）その都度学校から保護者には連絡やお知らせが有りますが、子供や孫と同居していない方々はそういうことが発生した事は御存じありません。なので自治会の放送で言ってもらえれば、皆が知ることになります。ローカルニュースなどでも取り上げてもらいたいと思います。皆が知っているというのが解決の近道ではないかと考えます。少しでも子供達の犠牲者が減りますように...
		その地域でリーダーになる人次第でどのようにもなると 생각합니다。人選が大事！！
	65～74歳	入院しているため、今交流がない。
		自治会未加入者がいますが、市政の連絡などが届かないと思います。第一はゴミの仕分け、町内の行事などです。
		住民主体ということですが、身体が動く人ばかりではないので気持ちはありますが、詳細が分からないので考えにくい。
		敬老の日の御祝が70, 80, 90歳と少なくなったのがさびしい。
		市により風致地区指定になっているため、雑木の伸び放題により農地に太陽が当たらない日々が続いている。その為に作物の出来が非常に悪い。この現象は市によって管理し対策する必要がある。市によって解決されることを要求する。
		孫たちが遊べる場所があまりない。あっても駐車場が一台のみとか遊びに行けない。子供が二人いたら公共交通機関での移動はとても負担。交通公園はとてもいいです。管理人もいるので防犯上安心。
		地域の活動主体である自治会の運営で、自治会に入会しない住民がいるので地域自治会や市役所での決め事が徹底しない。 ・野良猫が多くて衛生的に非常によくはない。 ・えさを与えないでほしい。他からやって来て増えています。 ・数が減らないのも問題です。
	75歳以上	団地も40年以上経過し、老人が住む密集団地となってきた。一番怖いのは火事です。風の強い日に火災が発生したら被害は大きいだろう。地域で防火対策をもう少し強化すべきだと思います。
		交通の不便な所に住む一市民です。乗り合いタクシーが通っておりますが、たったの9人乗りです。30分おきですがすぐ満員になります。三原小学校前より住吉チトピー横までの往復です。せめてニッキーバス、ゆりちゃんバスくらいのバスが運行出来ないのでしょうか。 野良猫で日夜悩んでいます。いろんな対策を試みても効果がありません。どうすればよいでしょうか？対策費用も相当費やしています。
		町内の世帯数も50戸であり、まとまりやすく、運営も活発スムーズである。
長崎駅前、宝町、諏訪神社の歩道橋などは何とかしてほしい。足が悪くて移動しにくい。		
自治会の活動も担い手が少ないし、私自身足とか悪くなり退会しないといけないかなと思っております。		
地域の方には積極的に活動されている方もいらっしゃいますが、転居してきた当初、何回かお誘いいただきながらも家庭内の事情もあり参加できませんでした。現在もそのままどこにも参加しないで10年近く過ぎてしまいました。歳を重ねる毎に出るのが大変になりこのままでもいいと思っております。		
自治会の三分の二が高齢者で一人暮らしが多い。70代80代90代、今から5年後の近所の人元気でいるのかなと思うと何ともさびしい。自信がない。私は85歳、介護を受けデイサービスに行っている。昔は福祉行政がなかった。今デイサービスに行っている私は幸せに思う。		

地域	年齢	内容
小ヶ倉地区	30歳代	自治会という退職された方が中心となって盛り上げて下さっているイメージがあります。私達（30代）はどうしても、仕事や子育てで協力できることが少ないです。また、子供中心（小中学校のPTA）の運営をすることも多くなると思います。地区の小中学校のPTAと自治会が一つのまとまりとして成り立ち（そうなっているのでしょうか）さらに関わり合っていくのであればお手伝いできることも増えるのかなと感じております。
	50歳代	猫の糞尿に大変悩まされています。庭の草木も尿で枯れてしまい、毎日糞のにおいで嫌な気分になったうえに処理をしなくてはならず、猫は保健所で駆除してもらえないと聞きました。本当に困っています。広報誌及び回覧板等で注意喚起をお願いしたいです。 住民主体のまちづくり必要ですか？ 自治会役員、会長に。人の話を聞き入れない、個人情報を守らない等横暴な高齢者男性が多い。協力しなくなる。
	60～64歳	ゴミ出しなど何事もルールを守る。分からない事は人に聞く。
	65～74歳	野良猫や土バトに対する餌やりの禁止を行政で指導してほしい。また、放置された餌の回収をやってほしい。（餌箱等）飼い犬のフンの始末が悪いので、ペットの犬や猫に税金をかけてほしい。
	75歳以上	団地内（ダイヤモンド）の道路で、マンホールの周りが盛り上がっている。歩道のレンガのぐらつきや段差、街路樹の根元が盛り上がっていて歩行中につまづいたり、危険だから整備してほしい。

地域	年齢	内容
小神地区	20歳代以下	子育て支援センターを増やしてほしいです。（福田、木鉢地区）
	40歳代	坂の上の団地なので、住民が高齢化した時に買い物など運転できないと生活しにくいと予想されます。同世代の人が多い団地なので、今後の世代のバランスがどうなるのか考える場があるといいと思います。
	75歳以上	10月で80歳の高齢者に仲間入りをしました。（あつという間に）もう少し若ければ何事にも積極的に参加できると思うのですが残念です。

地域	年齢	内容
西浦上地区	20歳代以下	もっと気軽に声を交わせる地域になっていったらなと思います。仕方のない事もあるかもしれませんが、保護者の教育方針などで知らない人と挨拶もしてはいけないというのを聞いたことがあります。そういう付き合いがなくなるのは寂しいので、楽しくあたたかい地域になればと思っています。
	30歳代	・公園を整備してほしい。 ・道幅が狭いので、福岡のようにごみの夜間収集を行ってほしい。 ・側溝がむき出しのところが多いので、ふたをしてほしい。（子供が危ない。）
	40歳代	転勤等により同地域の居住年数が短い人も多く、将来的なあるべき姿、課題解決を真剣に考える人は少ないと思う。また、高齢者も多く、地域主体の活動はかなり困難と考える。（現役世代は仕事との両立が難しい。）より行政の積極的な関与が必要と思う。 住民だけでなく市も協力し、暮らしやすい町づくりをしてほしい。例えば、佐賀などでは土地が広いのもあるが、施設などで遊ぶ場所が多く、また行きたいと思わせる。長崎は土地が狭いが色々な案を出し、また行きたいと思う町づくりを実施して下さい。※商業施設（アウトレットなど）の充実。 猫の保護活動をしています。協力者がいないので家族で行っています。行政に協力してもらおうとしましたが、知識がなく全く役に立ちません。福岡などは市を挙げて野良猫問題に取り組んでいます。長崎はまちづくりに「尾曲り猫」を活用しようとしています。猫の問題はボランティアに押し付けている有様です。テレビでも猫の殺処分がダントツだと紹介されていました。猫に限らず長崎はいろいろな問題がありますが、はっきり言って今まで行政がその問題を解決しようとせずにいたツケがまわってきたと思います。おそらく10年後は長崎は今まで以上に経済も悪くなっていると思います。

西浦上地区	40歳代	子どもがいるので、中学生と地域の方々がよく話し合いをしている模様を見聞きしています。とてもいい交流の場だと思うので、今後も続けてほしいです。これだけ一人暮らしの高齢者が増えている現状で、民生委員の方々の負担を感じます。また、元気な高齢者を増やすような対策をお願いしたいです。老人会など地域によって活発な所とそうでない所の差が大きく、どうかしてほしいです。色々厚くましく書いてすみませんが、長崎市民として今後の長崎市の発展に少しでもお役に立てるように今居る場所で考え頑張っていきたいと思っています。
		道路、歩道の整備。交通量の多い交差点に信号がない。お見合いしてどうぞどうぞと譲り合う時間ももったいない。通学路にも歩道整備されていない所が多く危険。事故が起きないのが不思議。→信号がなかったり、歩道が整備されていないことで人間は注意深くなれるのでしょうか？
	50歳代	昭和50年代に神奈川県知事の長州一二知事が率いる「現代総合研究集団」が唱えた「市民参加」には具体的なビジョンが示されていたと思います。今の長崎市にそうした具体的なビジョンがありますか？長崎駅周辺の再開発も大切です。しかし、それ以上に基幹産業である三菱の低下に歯止めをかけるべきではありませんか？市長が上京した時に何回三菱本社を訪ねましたか？アポが取れなくても、受付に名刺を置いてくることはしましたか？首長が営業マンになって成功した自治体は御存じですよね。人口減少を止めるには、働く場所を作ることが第一だと思います。三菱香焼工場売却？コールセンター誘致とどっちが効果ありますか？
		住んでいるマンションの管理組合が町内会（自治会）から脱退したので、再加入してほしい。そして町内会として公助自助のできる地域になってほしい。
		現代は共働きの家庭が多く、自治会活動にも参加できない。よって高齢者が中心で自治会は成り立っている。しかし加入を強要されたり、未加入者を差別したり、アパートではゴミの捨て方が悪い等濡れ衣を着せられたりしている。今の自治会は年寄りの自警団と化しており、まちづくりとしての機能はない。そもそも、今の年金制度は現役世代が支えている。よって若い世代にしっかり働いてもらうよう協力する活動を自治会としてやるべきでは。自治会は評論家の集まりであってはいけない。根本的に考え方、あり方を見直してほしい。
		いくつかの都市に居住したが、こんなに上下水道料金の高い自治体は初めて。ガス代も恐ろしく高く、九州内で県民所得が下位の県なのにこれで地元の人たちが生活していけるのが不思議。食べ物もそこそこ美味だし観光地もたくさんあるのに、生活者が不便を感じていたら何もならない。他県に出たら住みやすくて二度と長崎には戻ってこないでしょう。
	60～64歳	一部の人の意見だけを聞いて、大多数の人にとっては不要で迷惑なことを決めたりしないでほしい。
		この地域は坂道で狭い。溝ぶたはやっとしていただき車の運転は少し楽になったが、まだまだで一方通行とか手段はないのでしょうか？バス道路に出ると歩道部分に電柱が多く子供の通学に大変に危ない。子供が小学生の時25年前から感じているが、改善されていない。問われている意見とは違いますが…。
	65～74歳	シングルマザーとして子育てが終わり、60歳になりました。年金だけでの生活は不安が大きく、働ける間は働き続けたいと考えます。自治会に加入していますが、積極的に参加はしませんでした。高齢化が進む団地の中で買い物や受診等不便なことも多く、転居も考えたくありませんが経済的にも無理かと思えます。安心して住み続ける事が出来る場になっていけるよう希望します。
		意見、要望が言える場所、機会を一人でも多くの人が声をあげられる事を希望します。
自治会活動に関して、かわりがない傾向にあると思う。自治会に入る住民そのものが減少している。自治会に入っただけのメリットそのものがないから。（以前はゴミ袋や広報等が自治会会員で配布）現在はその必要性はないと感じているのでしょう。むしろ入ったら役員、班長などをやらなくてははいけないとの意識が強いと思われます。		
		公共交通機関である電車、バスの利用においてスマートカードが各々カードが変わり利便性が悪くなった。

西浦上地区	65～74歳	高齢化が進む中、もう既に認識されていると思いますが①空き家の放置の問題。地域社会の中でますます大きな問題になると思います。②財政の中で医療費の問題。これを解決するには常に健康維持を図り、病気にかからないようにすること。病気にかからないための取り組みを行政として積極的にやってほしい。細々ではなく健康運動として展開して下さい。他の市町村では効果を上げているところがありますよ。わかっていることと、行動し成果を上げることは違いますよ。	
		家の前の道路は私道である事を知り、路面や側溝の今後の維持補修面が心配になります。私道であっても公共性が強い場合、公的な整備が出来ないものではないでしょうか。	
		近くにコンビニ等がない。バイク等の音がうるさい。	
		私の住んでいる地域は、自治会活動も活発で色々な催し物もあっています。順番で組長がまわってくるので、自治会活動も参加したりお手伝いはしています。ただ、高齢化で参加できる人が限られてきてます。	
		・道が狭いのに、朝夕の車の通行が多い。そこへバスも通っているから歩行者も危険なところがある。 ・川の整備・・・草が伸び放題で災害時大丈夫なのかと思う。	
		若い人が、住みたい！と思う町づくりを！（大学を卒業しても残る、この町で仕事をする様） 地場産業が盛んになるように。 若い人材を呼び込む良い手段を考える。実行する。	
		①空き家対策、条件を変えて（長崎市）②タクシー対策、2～3人でも乗っていい。距離間で決めてもいい。	
		長崎市へ三十年ぶりに帰ってきたら、市内全体が暗くて活気がなく寂しい町になっているようです。残念です！	
		75歳以上	高齢者ばかりの地域では、粗大ごみ捨て、植木の手入れを手伝ってもらえたら有り難いと思います。
		・住民主体の地域におけるまちづくりは大切なことと思います。 ・責任をそれぞれに果たしていく時であってほしいものです。	
		町の住民となりお世話になって45年になります。昭和27年から居住、その頃は道路に困っていましたが今はとても住みやすいです。昭和27年新生中学校となり初代校長の義父が自治会長、小学校教師だった姑も自治会婦人部長となり地域に携わっていました。その嫁として手助けしながら自治会の方々と知り合いとなり住みよい町と思っています。	
		前年通り…ということで新しい取り組みがない。	
子供の頃、田舎に住んでいた時は近所だけでなく少し離れた所の人でも名前を覚えていてくれて、〇〇ちゃん危ない所に行ったら駄目よ！と注意してくれたり。おやつにと蒸かしたさつまいもを頂いたりしておしゃべりもしていましたが、最近は子供たちが学習塾に行ったり習い事で遊ぶ時間がないので可哀想に思えます。			
斜面地に広がる小さな道路の多い住宅地。住民主体のまちづくりに自治会活動の積極性が求められるが、若者の地域離れが著しく、高齢者世帯が寄り添っている状態で活動に限度がある。行政の身近な指導、支援をお願いしたい。			

地域	年齢	内容
滑石地区	20歳代以下	<p>私が住んでいる地域では、少子化が著しく進み、中学校の統廃合が行われる事になっています。地域にある市営アパートを新しく建て直すなどして、若い子育て世帯が移住してきたくなる様な魅力的な街づくりをしてほしいです。</p> <p>大学生になり、小学生や中学生の時のように地域の行事に参加する事が無くなりました。近所の人とも挨拶程度の関わりかと思えます。人口が減少していく中で、地域のつながりを強くするために地域の人達が自由に集まれる場があったらいいなと思います。高校や大学は自分の住む地域から離れた所に行くことが多いと思うので、少しでも地域の人とのつながりを作るために学生だったら勉強を行える、共働きの親を持つ子供だったらそこで待つことができる、高齢者だったら家の中に閉じこもらず安否確認ができる、そんな場ができれば良いのかなと考えます。</p>

滑石地区	30歳代	とにかく猫によるフン被害がひどいです。野良猫も飼い猫も外を常にうろついている状態で植木も荒らされるし、いつも道にフンがある。本当に困っています。
	50歳代	情報が少ないので、知らないことが多い気がします。「地域コミュニティ連絡協議会」のことは全く知らないです。名称も堅すぎますね。私は現在58歳ですが、老後の生活で一番心配しているのは孤独死です。お金はありますが、独身なので数年後には天涯孤独になります。おそらくそのような人口が増えるのではないのでしょうか。病気になっても誰も頼れないし、
		話す人もいなくなればノイローゼになるんじゃないかと不安になります。財産の管理から死亡した時の後始末などしてくれる後見人の組織の充実が望まれます。
		住みやすい町づくり頑張ってください。
		・地域で色々やっている人が決まっていて、一度いろいろ言われてから参加したいと思わなくなった。特定の宗教の話をする人は外してほしいと思う。 ・民生委員の方が隣の家に来たが、障害児の事は知らないと言われた。（うちには障がい者がいる）「別に困ってないでしょ？」と平気で言う人を民生委員にしているのか？他にいないのか？かえって相談しにくいと思う。 ・本当に住民主体のまちづくりをうたうなら、何でも平等な人を長に立てるべきで、そういう人でなく民生委員も隔たりのない考えの人を選んでほしい。
		・高齢者が安くで入れる施設を作してほしい。 ・里帰り出産で上の子どもを保育園へ入れるようにしてほしい。（空きがあまりないので）
	地域自治には「団体自治」と「住民自治」があるといます。とりわけ、住民自治というのは大切です。個人主義が主流である現在、ますます地域交流は大きな課題となってくると思います。突き詰めれば地域住民の意識改革なしには地域の諸問題に根本的な解決はないと思います。	
	60～64歳	自治会に入会しない人もおり不公平感を感じ、高齢化により自治会の役員などできる人が限られている。自治会入会をもう少し押ししてもらいたい。 昔は公園での交わりが、例えばゲートボールなど老人会での活動もありましたがここ数年見かけなくなった。個々の趣味が色々で、仲間づくりを求めている人も少ない。リーダー的存在がいたら少しはまとまるのかもしれないが、パソコンも各家庭にあり、それだけで満足な人も多いかと。AI時代、令和の長崎地域が活性化することを願います。滑石も年寄りが大半となりました。
	65～74歳	自治会長さんをはじめ、役員さん達が良く頑張ってくださいるので助かっております。
		長崎市の歴史を持って新しいものだけでなく、後に伝えられるように。
若人の活動が少ないようです。 滑石はゴミのポイ捨てが非常に多い。犬の散歩中のマナーで色々言われた事があるが、その前に人としてのマナーがなっていない。		
意見要望が実施（取り上げられた）された例があれば知りたい。 団地に住んでいますが、自治会の一部の人しか入会していない。数人の人達で自治会の取り決めをしている。会長にリサイクルの事をたずねてもすぐには返答がない。この町の自治会に入っているが、不信感を覚える。		
75歳以上	現在85歳で一人住まいです。数年前まで80歳以上で一人住まいの人は自治会役員をしなくてよかったが、現在、班では12件中10件が70歳以上のため役員をさせられています。全体で17班あるがその中で80歳以上で班役員をしているのは当班だけです。何もしなくてよいから顔だけでも出してとのことで、痛み止め服用、持参し出席しています。敬老の日も来るだけでいいと言われるが黙っているわけにもいきません。紅白饅頭の箱詰めや椅子の整理、配布集金などします。病院通いをしながらの生活です。早く来年3月の終了を心待ちにしている現状です。	

地域	年齢	内容
福田地区	40歳代	住民主体の意味は分かりませんが、高齢者の方や障害者の方に住みやすい町になってほしいです。
	50歳代	①新築マンションに入居し、マンションの入居者を近隣の自治会に入会の相談をしたがどこも入会させてもらえなかった。その為、マンションとして自治会を設立したが、活動は何もしていないので自治会として意味を成していない。②自治会に入らないと広報はもらえない。なぜ？税金は自治会に入っている人同様に納めているのにもらえないのはおかしいのでは？ 市内の高層マンションの増加に困惑しています。周辺部にも建設される一方、中心部、周辺部共に空き家が増える……。人口は減っているのにです。建設地域を限定して（中心部に）。周辺部の人口を減らすことが道路の拡大や整備の必要性もなくなり、渋滞の緩和にもつながると思います。最近市内の多くの場所で山際に沈む太陽が見れなくなりました。
	65～74歳	高齢になり子供、小中高生も少ないので地域の活動が出来なくなっている。（子供を見ない日もある）自分も配偶者ともに74歳、二人とも体に自信が持てない。そういう人が多い。

地域	年齢	内容
茂木地区	50歳代	海と山に囲まれて豊かな自然に心安らぐ毎日を過ごしていますが、自然は時として恐怖を感じます。私の地域はもし地震がおきて津波が起きた場合、逃げる道が1本しかありません。それに高さのある階段が3段ではありますが足腰の弱い年寄りが多いのにきっと逃げられないと思います。早急に対応していただきたいと思っております。
	65～74歳	千々自治会の研修室が選挙の投票場にあたり、階段があり高齢者が投票に行きにくい。

地域	年齢	内容
式見地区	60～64歳	①交通（バス等）不便。②道路の作成。③活性化する事。
	75歳以上	三重地区が発達したため式見区は通りすぎりのため、カンごみのポイ捨てが多い。そのため次の担い手がよそ地区へと出ていきます。

地域	年齢	内容
日見地区	30歳代	外灯がもうちょっとほしい。暗い。女性一人暮らしなので夜道が不安。子供の遊び場をもっと増やしてほしい。私のアパートのすぐ前の道路で子供たちがよくボール遊びをしていて、うるさいし車が危ない。
	50歳代	自治会活動として子供の遊び場となる公園の清掃を行っているが、小中学校への車の送迎、停車が多く、歩いている子や遊んでいる子どもが危ない。小中学校へは大雨の日等を除いて、送迎はやめてほしい。
	75歳以上	地域の人口増加の為、企業誘致などについては努力が足りない。他県町村も必死で取り組んでおり、優秀な人材と規模を伴った組織づくりを行い長期的な取り組みが必要です。 ①他県、他市などの取り組みデータはどのくらいもって取り組んでいますか。具体的な調査はできていますか？ ②地域的に不利な点、有利な点を分析し、広く知恵を求めると効果的な仕掛けを行っていますか。 ③只々時間をかけてやっているだけなような気がします。不退転の気持ち、覚悟なき組織はそれなりの成果しか上がらない。

地域	年齢	内容
東長崎地区	30歳代	長崎市は家賃が高く、高齢者が多く、給料が安いので若者が減っている。都会のような通勤ラッシュやストレスは少ないはずなので、その点は魅力はあるが給料を上げたりイベントを増やしたり、若者を呼び込む政策をとって人間が増えればもっと活気のある町になると思います。
		現在住居の町は住みやすく子供が多い地域なので選んでよかったと思っています。我が家は共働きの為、自治会等自由に動ける時間が少ないのが悩みです。ただ、子供達が楽しめる、活躍できる行事等情報をもっと得やすくなると参加しやすいですし、話し合いやお手伝い等出来たらなと感じます。子供達が楽しんでくれるのであれば親は頑張りたいです。
		長崎市自体に遊びに行ける所がない。県外に行かなければテーマパーク等がない。
	40歳代	住民主体の地域におけるまちづくりに関して、具体的な内容が分かりません。どのようなメリット、デメリット（例えば災害時に支援物資が届きやすくなる、や奥まった場所まで乗り合いバスが行けるようになる等）があるか分からないため書きようがないですが、住民主体という所に異議を感じます。
	50歳代	自治会に加入していますが加入している者にだけ負担がありやめたいとも考えています。近所でもやめたいと声を聴くのでそうになってしまうまちづくりになれば良いと思います。
		全てにおいて”高齢者”と”子育て世代”etcを中心に考えられているような感じで、「子供のいない中高年」は肩身が狭いと思ってしまう。例えば婦人会でも、「夫がいるorいない」「子供がいるorいない」
		どの立場の方も参加しやすいような環境を作ってもらともっと楽な気持ちで「参加してみよう～」という前向きな気持ちになれると思います。
		東長崎地区に住んでいるが、同じ長崎市民であるのに、中心部に比べると地域的な格差を感じる。高齢化社会が進む中、地域に愛着を感じるには道路、店、病院など不便を感じても簡単にはよそに移れない人も安心できるようなまちづくりを整えてほしいと思う。
		戸町地区は自治会が活発で、いろんな行事に参加していますが、これから若い世代になると（アパートや住宅が増え、若い人が増えている。自治会に入っていない家庭が増えている。）自治会の参加も減り、近所付き合いがなくなると心配です。子供から大人、老人まで住みやすい環境になってほしいです。（交通の便が悪いです。）
		一人暮らしの高齢者、自宅ばかり居ず外で集えるような場所、集会などが有れば良いと思う。私たちが50になり長崎も若者が流出（他県）し高齢者ばかりの街になっていき元気がなくなるのは寂しい。長崎の魅力が無くなる。
子供が小学生の頃には、学校や子供会の行事と一緒に参加し地域と触れ合える機会もありましたが、子供が成長した現在はそのような機会が無くなりました。地域の子供たちのために何かできればと思います。		
住みやすく明るい町にするために、暗い町に電灯を増やし、夜でも危なくないようにしてほしい。高齢者の散歩にも危険だと思う。		
60～64歳	道路周辺の雑草はどこがきれいにするのでしょうか？地域？行政？多額の費用をかけてせつかく立派な道路や橋がかかってもその後の管理が出来ていないとみすぼらしく見えます。（矢上大橋周辺の道路など）「きれいな長崎」を目指してほしいです。	
65～74歳	自治会の班長制が苦になります。班長をしない人もいます。なぜ出来ないのか、班の皆さんにちゃんと理由を言うべきです。自治会の催しものには殆ど参加しません。苦手です。	
	①これからの少子高齢化の問題を考えると、地域の事は自分たちで決めていくという取り組みは大変良いと思います。②その担い手は、「人」ですから、人をどうやって参画させその活動を継続させていくかという事も重要と思われま。③地域の活動を行うにも費用が必要になりますので、行政はそのことを考えてほしいと思います。	
	若い人の意見を取り入れる自治会に、また色々活動が多すぎ。本来の仕事に支障が出る。	

東長崎地区	65～74歳	市役所の周囲など（中心部）は花を美しく植えていますが、矢上など遠方になると分離帯などは草が生えています。同じ市民です。どこにでも美しい花はほしいものです。街中だけ美しくても市全体が美しくなるものではないと思います。税金は皆支払ってます。
	75歳以上	<p>この地域に引っ越してきてから、民生委員が誰も知らない。連絡先も知らない。年寄りがいても民生委員の方が様子を見に来ることもない。そんな地域で住民主体の地域におけるまちづくりができるとは思わない。</p> <p>高齢者同士が集まる所が少ないので、増やしてもらいたい。ケアに行っていない、そこそこ元気な高齢者が行く所がない。</p> <p>私も後期高齢者になりまして、自治会や老人会の会合、グラウンドゴルフなど参加しております。住民のみなさんが一体となって参加される事をのぞみます。大変良い事だと思っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶は自分から先にすると返ってくると思う。 ・行事やイベント等自分が行かないと賑わいは楽しめないと思い頑張って出かけるようにしているけど、年毎に一緒に行ける人が少なくなっているのが現実です。

地域	年齢	内容
土井首地区	20歳代以下	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯が少ないので、冬の朝夕は暗いです。もう少し街灯を増やして下さい。 ・子供たちが遊べるような公園が江川公園しかなく、すぐに近所の子と遊べないです。遊具は少なくていいので、走り回れるくらいの広場を作ってほしいです。
	40歳代	歩いて行ける内科医が近所にもう少しほしい。総合病院も南部地域はみなとメディカル、上戸町、長崎記念病院と北部地区に比べ少なく感じます。
		長崎市南部は公園がちらほらあるが、北部の方に比べるとちょっとさみしい公園かなと思う。「恐竜博物館」ではなく、諫早市にある「山茶花高原」の様なアトラクションもあるパークとかの方が良かったと思う。せっかくお金を使うなら長崎市にお金を落としてもらって地域の活性化につなげられればと思う。大きな建物がこれから先増える予定みたいだが、子供やお年寄りに優しい街づくりを忘れず歴史ある長崎市を保ってほしい。
	50歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会では班長が加入件数内で順次回ってくることになると思うが、高齢世帯には頼めないとすると若年層への負担がこれからどんどん増えていき、加入したがるのではないのでしょうかと思われる。 ・災害の頻度が高まる中、日頃から地域内で助け合う仕組みを作っておく必要があると感じる。
		長崎市南部の交通（道路渋滞）の改善
		地域コミュニティ連絡協議会については、主旨や取り組みを市広報誌、メディアなど多く広めてほしい。人口減少、高齢化に伴い残るマンパワーの団結は不可欠。
	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ・近所で自治会を脱退する人が多く、役員になった時の負担もありますが、町内清掃などは自治会に入っていない方も参加してほしいと思います。 ・地域に参加すると深く付き合うのが苦手な参加するのが嫌になってしまう。
<ul style="list-style-type: none"> ・道幅が狭く、車が通ると立ち止まらなるといけないし対向車が来るとお互いにバックせずけんか（口）している所を見かけるので、安全面に配慮してほしい。スピード出してくるし、バイクも多い為交通安全に気を付けて頂きたい。 ・外灯が少なく、暗くなると怖い路地も多い為、色々な意味で心配。 		
65～74歳	地区が国道を基準に上の地区、下の地区で殆ど坂道なので足が悪くなると生活しにくい。食料品を売る店がないので、買い物に困る。	
	自治会加入者が減少しており、公園の清掃等への参加人数が非常に少ない。半強制的に加入できるようになれば良いと思います。	
75歳以上	災害の時、避難場所が公民館だけでは少ない。学校は遠い。	

深堀地区該当なし

地域	年齢	内容
香焼地区	40歳代	住民主体のまちづくりと言っても、できる範囲に限られます。衣食住及び施設関連、地域（各小学校区）によっては、徒歩圏内で買物等に行けるところが少なくなっているのではないのでしょうか。予算の使い方も中央、目立つ所への配布が多いように感じます。今現在の流れでは長崎市自体の活力が乏しくなる気配ですので、役所、民間、地元住民が一体となって地域活性出来るようにまずは下地作りが必要だと思いました。以上です。
	50歳代	地域自治会の運営は高齢者の多い地域ではマンパワー不足で難しい。現に私の住んでいる地区の自治会は高齢者独居が多く、自治会で取り組む清掃作業なども少数の同じ方になっており負担が多い。又、自治会の運営も活動できる方が少なく、役員のなり手がいないのが現状。地域の活動も地区単位となっている事が多い町なので地域（町）の中でも過疎化してしまう地区がある。こういう所へは行政からの何らかのサポートがあればと思う事多々あります。

伊王島地区・高島地区該当なし

地域	年齢	内容
野母崎地区	40歳代	個人が畑や庭で草木を燃やすことで出る煙に悩まされているので、長崎市としてどうかしてほしい。健康に影響があるので。行政に連絡しても取り扱ってくれない。市はどう考えているのか考え直してほしい。
	75歳以上	この町に50数年ぶりに帰ってきましたが、若い人や子供さんが少ないのは淋しいですね。

地域	年齢	内容
三和地区	40歳代	バスの本数も少なく、高齢者が病院、買い物に行くのに困っています。商店もない。同じく困っています。一度この地域に住んでみてください。自宅まで車が入らない、救急車も入らない場所もあります。アンケートも必要かもしれませんが、実際目で見て場所を確認してみてもどうですか。
	50歳代	団地内に商店が無くなり、住民と顔を合わせる機会が減った。公園も遊具がなく、子供が遊ぶ場所ではないような気がする。
		自治会、イベント等で他から転入してきた人に対して優しく受け入れる雰囲気があれば良いと思う。ペーロン、運動会など参加しますが、打ち上げなどは居場所がなくなることが多々ありましたので今では参加しません。これも風土なのでここで書いても仕方ないことです。
	60～64歳	どこの地域もそうですが、子供が少ないです。旧三和町ですが、団地ができた時期は子供も多く学校も活気にあふれてました。小学校の存続も危ぶまれています。小学校はその町の文化です。若い人が生れ育った場所に戻って来てくれるよう職場や環境を期待しています。
		地域での活動の主たる人達は高齢者であり、子育て世代も生活のためには働かなければならない。また、子育てが終わってこれからと思っても、皆次は親の介護が待っている状況である。子供が全員親の側（近所、市内、県内）ならばまだ良いが、県外で仕事をし生活をしている子どもはなかなか親の介護に手を尽くせない。年金額も少ない今、どんなに身体がたらくてもヘルパーさん達にお願いすることもままならない。近所との付き合いも減少する中頼るのはやはり身内であるが、その身内も生活が忙しいとなるとどんなに年を取っても自力で頑張るしかないし行政も弱者を切り捨てようとする様子である。なんだか子供の教育にも年寄りにも冷たい時代です。
65～74歳	自治会に若い家庭が当たり前のように入会しないのが…。私の時代にはすぐに入会しなくてはと思っていました。子供達も公園で遊ばせてもらうから、ある程度の協力をと心していましたが、なぜ？と思うのは私個人だけ…。	
75歳以上	為石地区に商店街を作してほしい。85歳高齢者、買い物に不便です。よろしく。	

地域	年齢	内容
三重地区	20歳代以下	ペーロン等地域の人達が集まってできる事をする。ペーロンを盛り上げる、なくさない。お願いします。子供たちの代まで。
	30歳代	最近、豊洋台に引っ越してきたばかりなのですが、公園の整備が整ってなくて残念でした。草が伸び放題で公園に入るのもためらいがありました。近所に多くの子どもがいるのに遊具も少ないのでせっかくの土地がもったいないなと思いました。また、道路の端に植えてある木が枯れていたり、町の印象がとても寂しいです。改善するにはどうしたらいいのか、自治体でする事なのか、行政がサポートしてくれるのか、住民の声を聞いてくれる場がほしいなと思っています。 自治会に入りたいと思います。
	40歳代	地域的にはとても満足していますが、近所付き合いなど少し少ないように感じます。挨拶しても返事を返さないような家族います。あわせてその子供たちも全く挨拶をしても無視する等とても感じが悪く、地域の掃除などにも参加せず本当に困っています。気にしないようにしていますが、他の方々も同じ様に思っています。
	65～74歳	自治会に入っていない人も多いと聞きます。班長や自治会役員など当番で回ってくると子育て世帯には大変だと思います。自治会に入ることにより地域とのつながりもでき、良いまち作りができる要素もあると思います。班長や役員の負担が少なく自治会に入りやすい環境を整えてもらえればと思います。
		家ではお隣の方とトラブルがあり、それがトラウマでなかなか積極的に近所付き合いができない。 町の人々が気軽に寄ってお茶したり話をしたりできる場所があると良いと思っています。
75歳以上	長崎は観光地というのに、ゴミや道路脇の雑草等多く見受けます。特に稲佐山やかきどまり運動公園等の道の荒れ方には恥ずかしいものがあります。県内外や外国の方も多く来られますので、シルバーボランティア等の方へ依頼して景観に配慮して頂きたいと思っています。 現在は地域の方との交流が一般的によくいっている。よく知っている人が多くて、親戚もいるので地域の人との関係が上手くいっている。	

地域	年齢	内容
外海地区	40歳代	湿地公園か黒崎地区公民館に子供が遊べる公園を作ってほしい。子供が遊べる場所がありません。よろしくお願いします。このままでは、子供の数がますます減少していくと思うので、子どもを産んで育てやすい環境にしてほしいと思います。

地域	年齢	内容
琴海地区	30歳代	税金をもっと有効活用して下さい。
	40歳代	コミュニティカフェなど気軽にふつうに集まっている所があれば。村松の行政センターなどいい条件と思う。 自分の地区では地域行事でも、地域とのかかわりにおいても、自治会の役員にならなければほぼ関わることがない。(参加する人がいないので、半強制的に役員が参加)昔と違い近所とも付き合いが少なく、子供会もないところが多い。もっと分かりやすく、参加しやすく、若い世代にも必要性が伝われば良いと思います。
		50歳代

琴海地区	50歳代	中には途中で帰られた自治会幹部もいた。そもそも自治会等の存続、維持だけでも危ういのさらにハードルの高い「協議会」など運営、上手くいくだろうか？趣旨はよくわかるが、脆弱な組織が無理をして新たな組織を作って果たして上手くいくだろうか？性急な協議会設置は逆に住民同志に禍根を生むことになると思う。まずは既存の組織継続にマンパワーを注力すべきと思う。
	75歳以上	これから高齢者が多くなり、病院や買い物とかの足が不便になるので、車の便が良くなると助かると思う。

地域	年齢	内容
地区不明	20歳代以下	もうすぐ子供が生まれるので、子供がより住みやすい地域にしてほしい。人通りの少ない公園が多いので、危なくないようにぎわった所にしてほしい。他県から引っ越してきたばかりで、何がどこにあるのか、地域の取り組み等全く分からないので引っ越ししてきた人には「こういうのがありますよー。」みたいなのが知れるようにしてほしい。
		長崎市はインターネットでの情報が少ないと思います。選挙の候補者についても検索しても分からず、困りました。情報発信があると助かります。
	30歳代	概ね不満はない。子育て、福祉に限らず（偏らず）市民に分配する行政でいて欲しい。生活保護は否定しないが、納税者に不利益であってはならないと思う。
	40歳代	子供のいない世帯（高齢者は除く）でも住みやすい地域になってほしい。
		子どもに自活できる知識を教えてほしい。お米の洗い方、ご飯の炊き方、洗濯の仕方、昔ならお手伝いで当たり前のように得ていた知識です。引っ越ししたら手続きは？届けは？親が亡くなったら？知らないから親に頼って子供は引きこもり。ニュースになるまで誰がいたか分からないとか…。 子ども食堂で子供に食事を与えるのはいいとして、その食事がどうやって出来るのかなぜ教えないのだろうか。こはんの炊き方だけでも知っていれば生米食べて飢えをしのごともなかったろうに。
	50歳代	地域との交流もなく生活してきているので、老後が心配です。
	75歳以上	お疲れ様です。長崎市と私たち市民が明るく楽しく過ごせる長崎市になります様に。ありがとうございます。
86歳になって主人の介護で手一杯で、意見も要望もありません。		
①乗り合いバス（小さいバスで良い）朝一通り時間が決まっていたら利用するようになると思う。帰りの時間も決定していたら良いと思う。高齢者でも乗り降りしやすい事。②近くに食堂がない。前はあったが高齢でやめられた。		
不明	長崎平和マラソンの成功が楽しみです。	